

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ

⇒総合計画 P.32

政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
施 策	1	地域文化の継承・発展
主要施策	( 1 )	市民文化の創造の促進

■主要施策の所管

部等の名称	教育委員会	企画部		
-------	-------	-----	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	作品発表の機会や鑑賞の場を提供することにより、文化や芸術を支える人材が育つとともに市民の意識が高まって、創造性に満ちた地域社会が形成されています。また、歴史、伝統、民俗、行事などの文化財を地域で守り、活用しながら次代へ継承されています。
---------	--

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	芸術・文化施設の重要性（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる芸術・文化に関する施設を重要だと感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	51.8	—	—	56.0	—	—	60.0	
目標値達成率								—
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 2】

指 標	公募美術展の応募作品数（単位：点）							
指標の考え方	市民と近隣市民の文化度							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	411	413	414	416	417	419	420	
目標値達成率		99.0%	91.1%					B
（結果の分析）	19年度から伸びてきた現状の数字を維持することは、困難で、横ばいはほぼ達成と考えている。							

【指標 3】

指 標	文化財指定数（単位：件）							
指標の考え方	市の文化財の保全数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	79	83	86	90	93	97	100	
目標値達成率		102.4%	108.1%					A
（結果の分析）	地域での文化財発掘の調べが順調に活動でき、磨崖仏等指定に値する物が多く発見できた。							

【指標 4】

指 標	資料館等への来場者数（単位：人）							
指標の考え方	地域文化資料の市民への公開							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	1,524	1,570	1,616	1,662	1,708	1,754	1,800	
目標値達成率		96.8%	94.2%					B
（結果の分析）	特別なイベントが組めなかった。26年度からは対応し、集客に努めたい。							

【指標 5】

指 標	文化遺産の啓蒙・啓発活動（回）							
指標の考え方	文化遺産の市民への啓蒙・啓発活動							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	8	8	9	9	9	10	10	
目標値達成率		100.0%	155.6%					A
（結果の分析）	これからも意欲をもって取り組んでいきたい。							

＜評価区分＞ A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	I 『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
	施 策	1 地域文化の継承・発展
	主要施策	(1) 市民文化の創造の促進
	市の取組	① 文化創造の場や機会の提供

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 文化創造の場や機会の提供
取組方針	<p>広く市民に、文化・芸術のすばらしさや地域でこれらを支える人材を育成することの大切さを理解してもらうため、多様な文化、芸術に触れる機会や発表の場を提供するとともに、地域での文化芸術活動に取り組む個人やグループ、団体を支援していきます。</p>

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		28,973	27,969	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	4,386	5,636	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	24,587	22,333	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		728.7	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	加東手づくり文庫作成事業					実績・評価	
	所 管 課	企画政策課					鉄道をテーマに359点の応募があり、目標を達成している。	
	事 業 概 要	市民自ら執筆した作品を募集し、1冊の本として発行						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	891	0				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 応募作品数（点） 200 359	
	国・県							
	起 債						評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 公募美術展の応募作品数（点） 414 377	
	そ の 他							
合計	891	0	0	0	0			
2	事務事業の名称	文化祭・美術展事業					実績・評価	
	所 管 課	生涯学習課					公募美術展公募点数は377点と若干減ってはいるが一時的な変動であって、ほぼ達成していると評価する。	
	事 業 概 要	文化祭の開催による市民の発表機会の提供や公募美術展の開催による地域文化の高揚						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	2,649	2,903				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 公募美術展の応募作品数（点） 414 377	
	国・県							
	起 債						評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 公募美術展の応募作品数（点） 414 377	
	そ の 他	187	150					
合計	2,836	3,053	0	0	0			

3	事務事業の名称	文化振興事業					実績・評価
	所管課	生涯学習課					普及事業、育成事業を実施し、市民並びに行政と連携しつつ、文化振興の拠点として、芸術文化の更なる振興が図れた。振興・普及事業として12事業31講演、育成事業として7事業5教室28講演を実施し多様な年齢層で普及、育成が図れた。
	事業概要	文化振興のための公益財団法人加東文化振興財団への委託					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標 (H25)
	一般財源	751	2,423				
	国・県起債						指標名
	その他	24,400	22,099				数値 (上段: 目標、下段: 実績)
合計	25,151	24,522	0	0	0		
4	事務事業の名称	伝の助かるた大会					実績・評価
	所管課	生涯学習課					ふるさとの貴重な歴史、伝統文化、人々の温かさ、公衆道徳を次代を担う子供たちに継承すべく、保護者をも含めたグループ参加を呼びかけ53組、208人参加の大会になった。家族、友達のきずなが図れる大会に定着しつつある。
	事業概要	加東伝の助かるたの普及・利活用					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標 (H25)
	一般財源	95	117				
	国・県起債						指標名
	その他						数値 (上段: 目標、下段: 実績)
合計	95	117	0	0	0		
5	事務事業の名称	成人学習事業					実績・評価
	所管課	生涯学習課					平成25年度には実施できなかったが、平成26年度から、公民館に来る機会が少ない青年、壮年男女を主な対象者にした新たな講座の実施
	事業概要	公民館に来る機会が少ない青年、壮年男女を主な対象者にした新たな講座の実施					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標 (H25)
	一般財源	0	193				
	国・県起債						指標名
	その他		84				数値 (上段: 目標、下段: 実績)
合計	0	277	0	0	0		

後期基本計画の 政策体系	政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
	施 策	1	地域文化の継承・発展
	主要施策	(1)	市民文化の創造の促進
	市の取組	②	文化交流の推進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	② 文化交流の推進
取組方針	文化・芸術の発表の場を通じて市民をはじめとした交流を促し、互いに刺激し合うことで創造活動への意欲を高めるなど、文化・芸術を人々の共感を育み活力を向上させる新たな「ちから」として活用していきます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		222	200	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	222	200	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		5.6	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	ギャラリー活用事業(収蔵品展等)					実績・評価	
	所 管 課	生涯学習課					滝野図書館2階 ギャラリー「伝」を活用し、細川勝先生(社地区出身)の作品展を開催。8日間で1,308人来場。多くの市民に見ていただけた上に、寄贈者の思いにも応えられた。	
事 業 概 要	加東市に関わる芸術家又は関係者から寄贈していただいた作品を市民の方々に見ていただく機会を設ける。							
(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標 (H25)		
一般財源	222	200				指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)	
国・県								
起 債								
そ の 他								
合計	222	200	0	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
	施 策	1	地域文化の継承・発展
	主要施策	(1)	市民文化の創造の促進
	市の取組	③	文化遺産の保存と活用

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	③ 文化遺産の保存と活用
取組方針	先人の残した貴重な歴史文化遺産の価値や意義を明らかにし、次代に適切に継承していきます。さらに、郷土への愛着や誇りを醸成するために、市民に広く公開するなど、有効に活用していきます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		2,126	3,446	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	2,098	3,416	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	28	30	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		53.5	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	歴史民俗資料館管理運営事業					実績・評価
	所 管 課	生涯学習課					入場者数1,522人と目標数値からは減になったが、入館者は3年間ほぼ変動は無い 関西広域連合節電キャンペーン参加による夏休み期間無料開放並びにイベントの開催などで集客に努めたい。
	事 業 概 要	地域文化、歴史、伝統など先代が残した文化財を地域で守り活用しながら、次世代に継承する。					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 資料館等への来場者数（人） 1,616 1,522
	一般財源	738	1,048				
	国・県						
	起 債						
そ の 他	28	30					
合計	766	1,078	0	0	0		
2	事務事業の名称	図書館主催事業					実績・評価
	所 管 課	中央図書館					坂本遼の生家及び詩碑の案内看板を設置した。県道沿いに設置したため、通行中によく目にとまり、効果があったと思われる。
	事 業 概 要	郷土の詩人坂本遼生誕110年にあたり、坂本遼文学を紹介する資料展示及び講演会を実施					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績）
	一般財源	151	265				
	国・県						
	起 債						
そ の 他							
合計	151	265	0	0	0		

3	事務事業の名称	文化財保護対策事業(臨時政策経費)					実績・評価	
	所管課	生涯学習課					秋津富士山頂に位置する古墳の墳丘土の流出、崩落の危険に対し安全面を考慮し石室入り口に門扉を設置した、また道標で転倒・破損物件7件を修理・再建し文化財の存在、場所等、市内外の人々及び観光者に周知できた。	
	事業概要	文化財の収集・整理事業等の実施、無形文化財の保存に対する支援、後継者の育成						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	1,209	2,103				評価指標 (H25)	
	国・県						指標名	数値(上段:目標、 下段:実績)
	起債							
	その他							
	合計	1,209	2,103	0	0	0		

■総合分析及び自己評価（1次評価）

<b>【評価、現状・課題認識】</b>	
<p>文化祭の開催や加東文化振興財団とのタイアップによる文化振興事業により、広く市民に多様な文化、芸術に触れる機会や発表の場を提供するとともに、文化芸術活動に取り組むことができた。また、先人の残した貴重な歴史文化遺産の保存継承についても、修理、再建等を通じて適切に実施することができた。</p> <p>庁舎統合により、秋のフェスティバルが新庁舎周辺のみで開催されるため、文化祭、文化連盟祭の開催場所・開催方法の検討が必要である。また、埋蔵文化財資料の保管する施設の確保が課題となっている。</p>	
<b>【改善策】</b>	
<p>文化祭については、新庁舎周辺で秋のフェスティバルと同時開催し、集客に努める必要がある。埋蔵文化財の保管については、旧滝野庁舎倉庫の一時的な活用をしているが、資料の活用や適正な長期保護を考えた新たな収蔵庫について検討していく必要がある。</p>	
<b>1次評価</b>	<b>B</b>

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

<b>【主要施策推進に対する意見】</b>	
<b>【改善すべき点】</b>	
<b>2次評価</b>	

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.34

政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
施 策	2	国際交流の推進
主要施策	( 1 )	国際化施策の推進

■主要施策の所管

部等の名称	企画部	教育委員会		
-------	-----	-------	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	地域の独自性を活かした国際交流事業によって、豊かな国際感覚を持った市民が増え、多文化共生のまちになっています。
---------	---

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	国際交流施策の重要性（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる国際交流を通じたまちづくりや交流機会の確保を重要だと感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	45.5	—	—	47.8	—	—	50.0	
目標値達成率								—
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 2】

指 標	オリンピア市との行政情報交換数（単位：テーマ）							
指標の考え方	情報を交換したテーマ数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	—	—	1	2	3	4	5	
目標値達成率			100.0%					A
（結果の分析）	現地の学校の視察を行うことにより、教育分野における交流を図った。							

【指標 3】

指 標	外国人市民のための生活ハンドブックの作成（単位：カ国語）							
指標の考え方	生活ハンドブックが対応する外国語の数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	—	—	1	2	2	3	3	
目標値達成率			100.0%					A
（結果の分析）	中国語版の「加東市外国語生活ガイドブック」を作成し、市内在住中国人の生活利便性の向上を図った。							

【指標 4】

指 標	オリンピア市の学校との交流（単位：校）							
指標の考え方	オリンピア市の中学校と交流する市内の学校の数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	—	—	0	1	2	3	3	
目標値達成率			—					—
（結果の分析）	平成26年度から取り組む事業としている。							

【指標 5】

指 標	国際理解の推進（単位：人）							
指標の考え方	姉妹都市や在住外国人と交流した市民の数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	466	480	519	560	560	650	650	
目標値達成率		100.0%	108.1%					A
（結果の分析）	年々増加傾向にあるが、今後も在住外国人と地域との交流機会を増やしていく必要がある。							

<評価区分> A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	I 『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
	施 策	2 国際交流の推進
	主要施策	(1) 国際化施策の推進
	市の取組	① 行政の国際化の推進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 行政の国際化の推進
取組方針	都市計画や環境施策、安全・安心のまちづくりについての姉妹都市との情報交換など、市民交流から一歩進んだ行政レベルでの交流に取り組み、市の国際化を進めます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）	財源内訳	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		0.0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

		事務事業の名称					実績・評価	
1	事務事業の名称	加東市親善使節団オリンピック市派遣					現地の学校の視察を行うことにより、教育分野における交流を図ることができた。	
	所 管 課	企画政策課						
	事 業 概 要	教育長及び加東市国際交流協会員による使節団がオリンピック市を訪問し、教育現場等を視察						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	0	0				評価指標（H25）	
	国・県							
	起 債						指標名	数値（上段：目標、 下段：実績）
	その他							
合計	0	0	0	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
	施 策	2	国際交流の推進
	主要施策	(1)	国際化施策の推進
	市の取組	②	国際理解の推進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	② 国際理解の推進
取組方針	姉妹都市との交換留学事業や学校間交流、また外国人留学生人材バンク制度などを通じた異文化交流を継続し、学生や市民の国際理解を推進します。また、外国人市民が安心して生活できるように、多言語で各種の情報を提供します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		2,724	4,970	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	2,724	2,970	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	2,000	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		68.5	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	国際交流事業					実績・評価
	所 管 課	企画政策課					国際交流協会との連携により、計画どおりに事業を実施できた。これらの事業の実施により、市民と姉妹都市オリンピック市民や外国人留学生との交流を深めるとともに、市民の国際理解が推進できた。
	事 業 概 要	国際交流協会と連携し、姉妹都市や外国人留学生との交流を通じ、市民の異文化理解を推進					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	2,724	2,970				<b>評価指標（H25）</b> 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 実施事業数（交換留学生派遣、韓国語講座、国際理解教室等）（事業） 11 11
	国・県						
	起 債						
そ の 他		2,000					
合計	2,724	4,970	0	0	0		
2	事務事業の名称	外国語生活ガイドブック発行事業					実績・評価
	所 管 課	企画政策課					中国語版の生活ハンドブックを発行し、市内在住外国人のうち最も多い中国人の方の生活をサポートすることができた。
	事 業 概 要	外国語生活ガイドブックの発行					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源						<b>評価指標（H25）</b> 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 外国語生活ガイドブックが対応する外国語の数（カ国語） 1 1
	国・県						
	起 債						
そ の 他							
合計	0	0	0	0	0		

■総合分析及び自己評価（1次評価）

<b>【評価、現状・課題認識】</b>			
計画に基づく取組が実施できており、その成果も得られている。 平成26年度以降についても、十分な成果が得られるよう取り組んでいく。			
<b>【改善策】</b>			
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="background-color: #c8e6c9; padding: 5px;">1次評価</td> <td style="padding: 5px;">A</td> </tr> </table>	1次評価	A
1次評価	A		

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

<b>【主要施策推進に対する意見】</b>			
<b>【改善すべき点】</b>			
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="background-color: #c8e6c9; padding: 5px;">2次評価</td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> </table>	2次評価	
2次評価			

<評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ

⇒総合計画 P.36

政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
施 策	3	学校教育の充実
主要施策	( 1 )	心の教育の推進

■主要施策の所管

部等の名称	教育委員会			
-------	-------	--	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	集団活動や地域の大人との交流、自然とのふれあいなどを通して、規範意識、信頼感や自信などの自尊感情、他者への思いやりや感動する心など、豊かな人間性が育まれています。
---------	---

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	人権・道徳・体験学習などの満足度（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる小・中学校における人権・道徳・体験学習などの充実について満足と感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	74.9	—	—	77.5	—	—	80.0	
目標値達成率								—
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 2】

指 標	環境体験事業活動時間数（単位：時間）							
指標の考え方	自然への興味・関心、地域の自然を大切にすることを高めるための授業時間数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	72	74	77	79	81	84	86	
目標値達成率		95.9%	97.4%					B
（結果の分析）	地域の人材・施設等を活用して、地域の特性を踏まえた環境教育を推進することができた。							

【指標 3】

指 標	トライやる・ウィーク受入事業所数（単位：事業所）							
指標の考え方	中学生が様々な体験活動を地域で行う機会を提供する事業所数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	122	123	125	126	127	129	130	
目標値達成率		109.8%	103.2%					A
（結果の分析）	各校のトライやる・ウィーク推進委員会が中心となって、受入事業所の開拓を推進することができた。							



<評価区分> A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
	施 策	3	学校教育の充実
	主要施策	(1)	心の教育の推進
	市の取組	①	体験活動の充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 体験活動の充実
取組方針	環境体験事業と自然学校とを系統的な学びとして充実するとともに、新しい事業所を開拓するなど、トライやる・ウィークを推進し、自然に対する畏敬の念や共に生きる心、感謝の心を育みます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		11,008	11,579	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	5,535	6,024	0	0	0
	国・県	5,473	5,555	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		276.9	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	小学校体験活動事業					実績・評価
	所 管 課	各小学校					環境体験事業に全小学校3年生、加東遺産めぐりに全小学校4年生、自然学校に全小学校5年生が参加。命の大切さやつながり、自然への畏敬の念や思いやりの心、地域の伝統や文化を受け継ぐことの大切さを実感させることができた。
	事 業 概 要	小学生による体験活動の実施（環境体験事業、加東遺産めぐり、自然学校）					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）
	一般財源	4,043	4,395				
	国・県	3,823	4,055				指標名 数値（上段：目標、下段：実績）
	起 債						
合計	7,866	8,450	0	0	0		
2	事務事業の名称	トライやる・ウィーク推進事業					実績・評価
	所 管 課	各中学校					全中学校2年生が自ら事業所を選択し、参加した。地域の事業所等での活動を通して、地域とのつながり、学ぶことや働くことについて考える機会となった。また、これまでの生活を見直し、将来を考える機会ともなった。
	事 業 概 要	中学生によるトライやる・ウィークの実施					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）
	一般財源	1,492	1,629				
	国・県	1,650	1,500				指標名 数値（上段：目標、下段：実績）
	起 債						
合計	3,142	3,129	0	0	0	参加生徒の充実度（事後アンケートより）（%） 90.00 92.09	

後期基本計画の 政策体系	政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
	施 策	3	学校教育の充実
	主要施策	(1)	心の教育の推進
	市の取組	②	道徳教育の推進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	② 道徳教育の推進
取組方針	道徳教育推進教師を中心とした指導体制を確立し、心に響く道徳の授業を展開します。また、兵庫版道徳教育副読本、文部科学省「私たちの道徳」などを活用した授業を公開し、保護者や地域に発信します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		0	0	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	0	0	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		0.0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	心に響く道徳教育の充実					実績・評価	
	所 管 課	学校教育課					年間を通して全小中学校で道徳教育推進教師を中心として校内研修を繰り返し実施した。また、兵庫版道徳教育副読本等を活用した授業を保護者や地域に公開し、連携して児童生徒の豊かな心を育成を図るよう啓発することができた。	
事 業 概 要	小中学校における道徳教育の推進							
(決算額)		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）	
一般財源							指標名	数値（上段：目標、下段：実績）
国・県								
起 債							道徳の授業を公開した	12
そ の 他							学校数（校）	12
合計		0	0	0	0	0		

■総合分析及び自己評価（1次評価）

<b>【評価、現状・課題認識】</b>	
<p>「兵庫版道徳教育副読本」を年間指導計画に位置づけるとともに、指導案やその資料を保存しながら、指導内容や指導方法を工夫する取組を継続することで、授業を充実させることができた。今後は、家庭や地域の人々の理解を得ながら道徳教育を一層推進する必要がある。</p> <p>「環境体験事業」は、総合的な学習の時間や理科の時間を中心に実施し、命の大切さ、命のつながり等を実感させることができた。また、「自然学校」では、海での活動を通して、自然への畏敬の念や他者を思いやる心を醸成することができた。しかし、「加東遺産めぐりの旅」については、その取り組みが形骸化しており、「わたしたちのふるさと加東市（中学校版）」については定期的な教材の再編集が望まれる。</p> <p>「トライやる・ウィーク」では、生徒にとって学ぶこと、働くことの意義について考える機会になり、これまでの生活を見直し、将来を考える機会になった。</p>	
<b>【改善策】</b>	
<p>道徳教育の充実のためには、学校と家庭地域が一体となって児童生徒に向き合うことが必要である。そのためには、「兵庫版道徳教育副読本」や「私たちの道徳」を活用する場として、学校オープン等で公開授業を行い、家庭・地域の人々の理解を得ながら道徳教育を推進する必要がある。</p> <p>平成27年度に実施される中学校の教科書改訂に伴い、「わたしたちのふるさと加東市（中学校版）」の再編集に取り組む。また、子どもたちを伝統的な地域の行事などに積極的に参加させ、加東市の遺産や文化財に触れる機会を設ける必要がある。</p>	
<b>1次評価</b>	B

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

<b>【主要施策推進に対する意見】</b>	
<b>【改善すべき点】</b>	
<b>2次評価</b>	

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ

⇒総合計画 P.38

政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
施 策	3	学校教育の充実
主要施策	( 2 )	学校教育の充実

■主要施策の所管

部等の名称	教育委員会			
-------	-------	--	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	子どもたちの個性や能力を伸ばし、確かな学力、豊かな心、健やかな身体をバランスよく備えた子どもたちが育っています。 また、子どもたちが学校で安全・安心に学習・生活できる環境が整っています。
---------	--

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	基礎学力習得と社会への適応能力向上の満足度（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる生徒の基礎学力の習得と社会への適応能力の向上について満足と感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 73.5	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 80.0	評価
数 値	67.0							—
目標値達成率								
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 2】

指 標	A L T の授業の満足度（単位：％）							
指標の考え方	児童・生徒へのアンケートなどによるA L T の授業の満足度							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 86.3	H25年度 86.3	H26年度 86.3	H27年度 86.3	H28年度 86.3	H29年度 86.3	評価
数 値	86.3	77.1	83.5					B
目標値達成率		89.3%	96.8%					
（結果の分析）	中学校での直接雇用が実施され（東条中、滝野中）、年間を通じてALTの指導を受けることができるようになったため、中学生の評価が高まった。							

【指標 3】

指 標	部活動外部指導者から指導を受けた生徒数（単位：人）							
指標の考え方	運動部活動の推進							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 135	H25年度 135	H26年度 135	H27年度 135	H28年度 135	H29年度 135	評価
数 値	135	108	142					A
目標値達成率		80.0%	105.2%					
（結果の分析）	所属する部活動の選択は、生徒の自主性を重視しているため、当該所属部員数が前年度より増加した。							



＜評価区分＞ A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
	施 策	3	学校教育の充実
	主要施策	(2)	学校教育の充実
	市の取組	①	国際化に対応した教育の推進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	①	国際化に対応した教育の推進
取組方針	A L T を有効に活用して、外国語活動・英語科における小・中学校の連携、教員の指導力の向上、年間カリキュラムの工夫改善などに取り組み、子どもたちのコミュニケーション能力を向上し、特色ある外国語教育を構築します。さらに、市独自のライセンス制度の導入を検討します。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		18,492	21,131	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	18,492	21,131	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		465.1	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	語学（英語）指導員派遣事業					実績・評価	
	所 管 課	学校教育課					直接雇用により（東条中、滝野中）中学校では、年間を通じてALTの指導が受けられるようになった。そのため、ALTの授業に対する中学生の満足度（発音が参考になる、わかりやすい等）が高まった。	
事 業 概 要	小学校に2名、各中学校に1名ずつA L T を配置や独自の「英会話ライセンス制度」の検討							
(決算額)		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）	
一般財源		18,492	21,131				指標名 ALTの授業への満足度 （発音・わかりやすさ） (%)	数値（上段：目標、 下段：実績） 発音の理解:85 わかりやすさ:65 発音の理解:89 わかりやすさ:70
国・県								
起 債								
そ の 他								
合計		18,492	21,131	0	0	0		

後期基本計画の 政策体系	政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
	施 策	3	学校教育の充実
	主要施策	(2)	学校教育の充実
	市の取組	②	個を生かす学習指導の充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	② 個を生かす学習指導の充実
取組方針	<p>新学習システムの推進や、学習チューターによる学習補助の充実などにより個に応じた指導を進め、学力向上に取り組みます。また、電子黒板やデジタル教科書などのICT機器・教材の充実を進め、これらを有効に活用した授業を目指すとともに、各校のICT教育を支援する体制を整えます。</p>

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		2,087	2,340	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	2,087	2,340	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		52.5	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

No.	事務事業の名称		実績・評価				
	所 管 課	事業概要					
1	教育指導事業（学習チューター派遣事業）		実績・評価				
	所 管 課	学校教育課	市立学校（園）に52名の学習チューターを配置することで、学習上のつまづきの解消や学習意欲の向上につながった。				
	事業概要		兵教大の大学生等の協力による児童・生徒へのきめ細かな指導				
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	1,191	1,261				
	国・県						
2	教育指導事業（児童・生徒の考える力を高める授業実践事業）		実績・評価				
	所 管 課	学校教育課	全小中学校において、大学教授等を講師として招聘し（計19名）子どもの考える力を高める授業づくりに向け、校内研修を実施した。日頃の授業づくりを振り返り、より効果的な授業づくりに向けた意識と授業技術の向上を図った。				
	事業概要		子どもの考える力を高める授業づくりのための校内研修会へ大学教授等を講師として招へい				
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	340	340				
	国・県						
		評価指標（H25）					
		指標名		数値（上段：目標、下段：実績）			
		学習チューター活動総数（回）		720			
		合計		704			
		評価指標（H25）					
		指標名		数値（上段：目標、下段：実績）			
		大学教授等講師招聘数（人）		17			
		合計		19			

3	事務事業の名称		教育指導事業（加東「スタディライフ」の実施事業）			実績・評価					
	所管課		学校教育課			長期休業中に、学校の図書室等に自主学習室を設置し、児童生徒の自主的な学習の場を提供した（小学校3人、中学校3人）。小学生62人、中学生92人が登録し、指導員や指導補助員の支援を受け、熱心に自主学習に取り組んだ。					
	事業概要		教員OBや教員志望の大学院生を指導員として配置した「自主学習室」の開設								
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度			H29年度			
	一般財源	556	739				<b>評価指標（H25）</b> <table border="1"> <tr> <td>指標名</td> <td>数値（上段：目標、下段：実績）</td> </tr> <tr> <td>小学生（5,6年生）、中学生（3年生）の参加率（%）</td> <td>10 小学校13 中学校25</td> </tr> </table>	指標名	数値（上段：目標、下段：実績）	小学生（5,6年生）、中学生（3年生）の参加率（%）	10 小学校13 中学校25
	指標名	数値（上段：目標、下段：実績）									
	小学生（5,6年生）、中学生（3年生）の参加率（%）	10 小学校13 中学校25									
	国・県										
	起債										
	その他										
合計	556	739	0	0	0						

後期基本計画の政策体系	政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
	施 策	3	学校教育の充実
	主要施策	(2)	学校教育の充実
	市の取組	③	いじめ等に対応する校内体制の整備

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	③	いじめ等に対応する校内体制の整備
取組方針	いじめは人権・命にかかわる重大な問題と捉え、いじめに関する実態調査を行い、問題の早期発見に取り組むとともに、ネット見守り隊での活動を充実し、子どもたちがネット被害に遭わないよう保護者への啓発に努めます。また、一人ひとりの児童・生徒が楽しい学校生活を送れる集団づくりを目指します。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		3,354	4,116	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	3,354	4,116	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		84.4	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	教育指導事業（児童生徒の理解促進事業）					実績・評価	
	所 管 課	学校教育課					hyper-QU、QUテストを小学校4年生以上の全ての児童生徒に年2回実施。その上で、大学教授等専門家を招聘し、夏季教職員研修、担当者研修及び校内事例検討会（9校計11回）を開催。不登校やいじめの未然防止、早期発見・早期対応の具体的な手立てにつなげた。	
1	事 業 概 要	学級集団の状態を把握するためのhyper-QU、QUテストの実施と、事例検討会の開催					評価指標（H25）	
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	指標名	数値（上段：目標、下段：実績）
	一般財源	1,699	2,138				事例検討会等関係研修会の開催数（回）	14
	国・県							18
	起 債							
	そ の 他							
合計	1,699	2,138	0	0	0			
2	事務事業の名称	不登校対策事業					実績・評価	
2	所 管 課	学校教育課					適応指導教室において指導員（2人）、指導補助員（5人）を配置し、不登校児童生徒（6人）に対し、学校復帰を目指して基礎的な学習指導、教育相談等を実施した。ときどき登校できたり（3人）、給食時や放課後に学校に登校できるようになっている（2人）。	
	事 業 概 要	学校への復帰を目指した適応教室での児童・生徒に対する指導や教育相談の実施					評価指標（H25）	
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	指標名	数値（上段：目標、下段：実績）
	一般財源	1,655	1,978				適応指導教室から学校への復帰割合（放課後登校等も含む。）（%）	50
	国・県							83
	起 債							
そ の 他								
合計	1,655	1,978	0	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
	施 策	3	学校教育の充実
	主要施策	(2)	学校教育の充実
	市の取組	④	体育・運動能力の向上、食育の推進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	④	体育・運動能力の向上、食育の推進
取組方針	運動部活動に専門的指導力がある外部指導者を招へいし、計画的かつ効果的に運動部活動を支援します。また、食育では、児童・生徒の望ましい食習慣を形成するために栄養教諭を中心に研究を進め、子どもたちの発達段階に応じた指導に努めます。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		14,697	5,213	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	7,697	5,213	0	0	0
	国・県	7,000	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		369.6	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	教育指導事業（運動部活動外部指導者派遣事業）					実績・評価 社中（2人）、滝野中（1人）、東条中（2人）に外部指導者をそれぞれ配置した。専門的・的確な技術指導により、安全性と活動意欲を高め、生徒の技術面や体力の向上を図ることができた。
	所 管 課	学校教育課					
	事 業 概 要	中学校の運動部活動に専門的な指導力を有する指導者の配置による部活動の活性化					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25） 指標名 対象運動部所属部員数（人）
	一般財源	938	798				
	国・県						142
	起 債						
合計	938	798	0	0	0		
2	事務事業の名称	楽しみのある学校給食特別メニューの実施事業					実績・評価 季節感のある苺や桃、野菜などの食材を取り入れた行事食など特別メニューの献立を月1回提供。給食への興味・関心をより一層高めることができた。
	所 管 課	学校給食センター					
	事 業 概 要	献立内容を多様にして魅力ある美味しい学校給食の充実を図る					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績）
	一般財源	1,913	1,883				
	国・県						
	起 債						
合計	1,913	1,883	0	0	0		

3	事務事業の名称		学校給食センター施設管理運営事業				実績・評価	
	所管課		学校給食センター				旧年式の給食配送車（1台）及び老朽化したフードカッター（1台）の更新と経年劣化したボイラー修理など施設関係や厨房機器等の修繕を行い、安全な配送運行や作業効率の向上など安定した給食運営を図ることができた。	
	事業概要		安定した給食運営を図るため調理機器・施設関係の整備と修理					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	4,846	2,532				評価指標（H25）	
	国・県	7,000					指標名	数値（上段：目標、 下段：実績）
	起債							
	その他							
	合計	11,846	2,532	0	0	0		

後期基本計画の 政策体系	政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
	施 策	3	学校教育の充実
	主要施策	(2)	学校教育の充実
	市の取組	⑤	教育環境の整備・充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	⑤	教育環境の整備・充実
取組方針	老朽化する施設の改修やトイレの洋式化など教育環境を計画的に充実し、効率的に維持管理するとともに、太陽光発電設備の設置について検討していきます。また、空調設備の適正な温度管理に努め、良好な学習環境を確保します。さらに、非構造部材の点検・耐震化により安全を確保するなど防災機能強化事業を検討します。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		198,604	440,779	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	56,707	96,539	0	0	0
	国・県	9,797	93,240	0	0	0
	起 債	132,100	251,000	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		4,994.9	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	教育振興事務事業					実績・評価
	所 管 課	教育総務課					平成25年度計画分 三草小学校、滝野東小学校、滝野南 小学校3校の教育用及び校務用パソ コンの更新を実施
	事 業 概 要	教育・校務用コンピュータ更新事業					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	9,996	1,518				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、 下段：実績）
	国・県						
	起 債						
そ の 他							
合計	9,996	1,518	0	0	0		

  

2	事務事業の名称	教育振興事務事業					実績・評価
	所 管 課	教育総務課					年次計画に従って平成25年度分の楽 器の購入を実施 小学校：アコデ`イオン7、ルガソ7、木琴2、鉄 琴2 電子ピアノ1、ティンパニ1、ウッド`ブ`ロック3他 中学校：クリネット2、ティンパニ2、チューバ 1、トロンボーン1、ス`ザ`フォン1
	事 業 概 要	小学校及び中学校吹奏楽部の楽器の整備					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	4,928	4,789				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、 下段：実績）
	国・県						
	起 債						
そ の 他							
合計	4,928	4,789	0	0	0		

3	事務事業の名称	教育振興事務事業					実績・評価
	所管課	教育総務課					平成25年度計画分 60型及び70型大型電子黒板を導入 60型 3台（三草小2、市教委1） 70型10台（滝野東小2、滝野南小1、社中3、滝野中2、東条中2）
	事業概要	小学校及び中学校の電子黒板の充実					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	1,385	1,115				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、 下段：実績）
	国・県						
	起債						
その他							
合計	1,385	1,115	0	0	0		
4	事務事業の名称	小学校施設整備事業					実績・評価
	所管課	教育総務課					年次計画に基づき、平成25年度分 非構造部材の耐震化、滝野東小学校 洋式化工事の調査及び設計を完了。 その他老朽化している施設の改修を 行った。
	事業概要	小学校トイレ洋式化 など					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	29,064	32,959				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、 下段：実績）
	国・県		73,416				
	起債	50,000	195,200				
その他							
合計	79,064	301,575	0	0	0		
5	事務事業の名称	中学校施設整備事業					実績・評価
	所管課	教育総務課					年次計画に基づき、平成25年度分 東条中学校バリアフリー化工事を完 了。また、被構造部材の耐震化のた め、設計完了。その他老朽化してい る施設の改修を行った。
	事業概要	東条中学校バリアフリー化工事 など					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	10,257	8,300				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、 下段：実績）
	国・県	9,797	19,824				
	起債	82,100	55,800				
その他							
合計	102,154	83,924	0	0	0		
6	事務事業の名称	教育委員会事務局事業					実績・評価
	所管課	教育総務課					平成26年度の買収に向けて、 買収予定地の土地鑑定及び測量を行 い、ともに完了した。
	事業概要	東条東小学校の借地を解消するための運動場 用地の買収					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	1,077	47,858				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、 下段：実績）
	国・県						
	起債						
その他							
合計	1,077	47,858	0	0	0		

後期基本計画の 政策体系	政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
	施 策	3	学校教育の充実
	主要施策	(2)	学校教育の充実
	市の取組	⑥	特別支援教育の充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	⑥	特別支援教育の充実
取組方針	障害のある子どもたち一人ひとりのニーズに応じた、適切な教育的支援を目指します。また、サポートファイルを有効に活用するなど、福祉担当部署をはじめ関係部署との連携を密にし、「幼児期から就労まで」の生涯を見通した支援体制（インクルーシブ体制）を構築します。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		4,934	7,001	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	0	0	0	0	0
	国・県	4,934	7,001	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		124.1	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	インクルーシブ教育システム構築事業					実績・評価	
	所 管 課	学校教育課						派遣型教育相談を3校において、のべ6回実施し、課題解決に寄与することができた。
	事 業 概 要	障害者を総合的に支援する「特別支援センター」の調査研究と派遣型教育相談事業の実施						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）	
	一般財源							
	国・県	4,934	7,001					
	起 債							
そ の 他								
合計	4,934	7,001	0	0	0	指標名	数値（上段：目標、下段：実績）	
2	事務事業の名称						実績・評価	
	所 管 課							
	事 業 概 要							
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）	
	一般財源							
	国・県							
	起 債							
そ の 他								
合計	0	0	0	0	0	指標名	数値（上段：目標、下段：実績）	

■総合分析及び自己評価（1次評価）

【評価、現状・課題認識】	
<p>本年度は、「かとう夢プラン」を重点的に取り組んだ。                  児童生徒理解を一層充実させるため、「児童生徒の理解促進事業」（hyperQU、QUにより学級集団の状態を把握し、それを活用することで、いじめ問題への対応や不登校児童生徒への支援に活用）を実施した。また、長期休業中を利用して、学校の教室等へ教員OB等を指導員として配置した「自主学習室」を開設することで、児童生徒の自主的な学習意欲を向上させることができた。さらに、「インクルーシブ教育システム構築事業」では、社地区（社小学校を中心）において、教育内容・方法、支援体制、施設・設備などの合理的な配慮の観点を踏まえ、連続性のある多様な学びの場を提供することができた。                  学校施設面では、トイレの洋式化工事を行うなど教育環境の改善を計画的に進めているところであり、さらに、非構造部材の点検・耐震化の設計が完了し、26年度より順次工事を行い、防災機能の向上を含め良好な学習環境の確保に努めている。なお、太陽光発電設備の設置については、防災機能強化として有効であるが、現段階では、その設置及び維持管理費用が高額になることから、引き続き事業を検討する。                  また、給食センターでは、月1回の「楽しみのある学校給食特別メニュー」の実施により、給食への興味・関心をより一層高めることができた。今後は、これらの事業を計画的に発展させることが課題である。</p>	
【改善策】	
<p>「児童生徒の理解促進事業」では、hyperQU及びQUの著者である早稲田大学教授 河村 茂雄 氏 を講師に招へいし、研修を実施することで、教員がアンケートの活用方法を十分理解する。あわせて、具体的な事例検討を昨年度未実施の全ての学校で実施するなど、すぐに教育実践に活かせるようにする。また、「児童生徒の理解促進事業」では、平成26年度に小学校6校（前年度3校）、中学校3校（前年度と同じ）で実施し、平成27年度に全小中学校で実施を目指し、児童生徒の自主的な学習意欲に応える事業とする。                  さらに、「インクルーシブ教育システム構築事業」では、研究指定校を社小学校に加えて、三草小学校に拡大するとともに、「特別支援教育」に関する研修会を年間5回実施（内、1回は一般市民に公開実施）し、教職員に求められる基本的な資質能力の向上を図る。                  防災機能としての太陽光発電設備については、災害時、停電時の機能に期待するところであるが、現段階では蓄電池（5年毎に交換要）の能力や設置する場合に校舎の補強工事の検討などが必要となる。ただ、環境に与える影響はほとんどなく、その有効性もある中、費用対効果を含めて検討することとしたい。</p>	
1次評価	B

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

【主要施策推進に対する意見】	
【改善すべき点】	
2次評価	

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P. 40

政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
施 策	4	生涯学習の充実
主要施策	( 1 )	生涯学習を支える基盤整備

■主要施策の所管

部等の名称	教育委員会		
-------	-------	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	魅力ある成人学習の環境が整い、市民一人ひとりの豊かな心や人間力が育まれ、誰もが生きがいを持って地域社会に参画する生涯学習社会が形成されています。
---------	--

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	生涯学習活動の支援の重要性（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる生涯学習活動の支援を重要だと感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	67.8			74.0			80.0	
目標値達成率								—
(結果の分析)	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 2】

指 標	講師・補助員にボランティアとして参加する市民の割合（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる市民が生涯学習などの講座で、講師・補助員にボランティアとして参加する市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	13.9			17.0			20.0	
目標値達成率								—
(結果の分析)	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 3】

指 標	サークル届出数（単位：団体）							
指標の考え方	公民館、コミュニティセンター登録数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	118	120	120	124	126	128	130	
目標値達成率		100.0%	98.3%					B
(結果の分析)	発表の場や機会を提供し続けることにより、自主的な文化サークル活動が活気づいている。							

【指標 4】

指 標	図書館利用実人数（単位：人）							
指標の考え方	図書館を利用した市民の数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	9,723	9,535	8,149	9,812	9,841	9,871	9,900	
目標値達成率		97.8%	83.3%					B
(結果の分析)	前年度に引き続き、実利用者が減少している。新規の利用者の開拓が必要。そのため、子どもを対象とする「はじめてであう絵本」、「おでかけ図書館」、「おとどけ図書館」の各事業に加え、「読書推進活動事業」を新たに展開している。							


＜評価区分＞ A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の政策体系	政策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
	施策	4	生涯学習の充実
	主要施策	(1)	生涯学習を支える基盤整備
	市の取組	①	学習環境の充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 学習環境の充実
取組方針	社会教育施設それぞれの役割を明確にするとともに効率的に管理運営しながら、市民の生涯学習に対する多様なニーズに応えていきます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総事業費（千円）		52,599	64,812	0	0	0
財源内訳	一般財源	50,346	62,713	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	その他	2,253	2,099	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		1,322.9	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	文化会館整備事業					実績・評価
	所管課	生涯学習課					やしろ国際学習塾の舞台照明設備の老朽化に伴い機器の更新、また調光室、音響室・練習室の空調機の更新を行い、トラブルを未然に防止することができた。
	事業概要	施設の老朽化に伴う建物、機器の修繕、更新を実施し安全対策を講じた維持管理を実施する。					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	15,773	14,481				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績）
	国・県						
	起債						
その他							
合計	15,773	14,481	0	0	0		

  

2	事務事業の名称	公民館維持管理事業					実績・評価
	所管課	生涯学習課					消防設備機器更新、誘導灯電池交換、自動ドア修繕等安全対策を行った。老朽化した建物、設備等を更新、修繕を行いながら安全対策に努めた。
	事業概要	3館公民館の円滑な運営のための施設維持管理					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	13,835	17,899				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績）
	国・県						
	起債						
その他	1,456	1,830					
合計	15,291	19,729	0	0	0		

3	事務事業の名称	明治館管理運営事業					実績・評価
	所 管 課	生涯学習課					明治館石積復旧工事実施設計業務を委託し適正な工法での設計が出来た。
	事 業 概 要	明治館石積復旧工事他					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	2,910	15,928				評価指標 (H25)
	国・県						
	起 債						数値 (上段: 目標、 下段: 実績)
合計	2,910	15,928	0	0	0		
4	事務事業の名称	図書館施設維持管理事業					実績・評価
	所 管 課	中央図書館					中央図書館では多目的トイレベビーシート取付工事等を実施し、親子連れにもやさしい環境づくりに努めた。滝野図書館では屋上防水補修工事を実施し、市民が安心して利用できる施設維持に努めた。
	事 業 概 要	中央図書館と滝野図書館 (複合施設) の適正な維持管理					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	17,828	14,405				評価指標 (H25)
	国・県						
	起 債						数値 (上段: 目標、 下段: 実績)
合計	18,625	14,674	0	0	0		

後期基本計画の 政策体系	政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
	施 策	4	生涯学習の充実
	主要施策	(1)	生涯学習を支える基盤整備
	市の取組	②	学習機会の充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	②	学習機会の充実
取組方針	生涯を通じて誰もが学習できる場と機会を設け、学習した成果を地域社会に活かせる仕組みづくりに取り組むとともに、地域活動の担い手となるグループや人材育成に努めます。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		7,493	8,656	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	4,698	5,994	0	0	0
	国・県	1,740	1,390	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	1,055	1,272	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		188.5	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	高齢者大学事業					実績・評価
	所 管 課	生涯学習課					
	事 業 概 要	高齢者の生きがいがいくりと学習機会を提供する高齢者大学の開講					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	開講式を皮切りに、合同講座5回、各教室講座5回およびクラブ活動を実施し高齢者が積極的に人間関係を作り基礎的な能力を身に着ける機会が提供できた。
	一般財源	700	1,467				
	国・県						
	起 債						
そ の 他							
合計	700	1,467	0	0	0		
		評価指標（H25）					
		指標名 数値（上段：目標、下段：実績）					
2	事務事業の名称	小学生チャレンジスクール					実績・評価
	所 管 課	生涯学習課					
	事 業 概 要	学校以外での様々な学びの場としての製作活動や野外活動等の体験学習の機会の提供					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	17事業33回実施し延べ1,007人がチャレンジスクールを体験した。夏休み、冬休み期間は特に応募人員を超える申込みがあった。貴重な経験を通して心身共に成長がみられた。
	一般財源	1,419	1,902				
	国・県						
	起 債						
そ の 他	1,055	1,272					
合計	2,474	3,174	0	0	0		
		評価指標（H25）					
		指標名 数値（上段：目標、下段：実績）					

3	事務事業の名称		地域子ども教室				実績・評価	
	所 管 課		生涯学習課				小学校区9教室13会場で実施し、幼児、子ども合わせて7,443人の参加があった、指導者も1,611人、学生ボランティア382人と地域住民の参画により共に子どもたちを見守り、勉強、あそびを行った。	
	事 業 概 要		市内の各地域において、地域住民の参画と協働により開催					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	2,579	2,625				評価指標 (H25)	
	国・県	1,740	1,390				指標名	数値 (上段：目標、 下段：実績)
	起 債							
	そ の 他							
	合計	4,319	4,015	0	0	0		

後期基本計画の政策体系	政策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
	施策	4	生涯学習の充実
	主要施策	(1)	生涯学習を支える基盤整備
	市の取組	③	図書館サービスの充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	③ 図書館サービスの充実
取組方針	開館日の拡大などにより、誰もが利用しやすく、暮らしに役立つ図書館運営に努めます。また、「はじめてであう絵本」や「おとどけ図書館」「おでかけ図書館」などにより、若い世代や若年層の図書館利用を働きかけ、実利用者の増加に取り組みます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総事業費（千円）		31,676	32,149	0	0	0
財源内訳	一般財源	30,208	32,147	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	その他	1,468	2	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		796.7	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	図書館運営事業					実績・評価
	所管課	中央図書館					おとどけ図書館 市立9小学校×8回 おでかけ図書館 市立9小学校×1回 はじめてであう絵本 12回 いずれも計画どおり実施できた。小学生には図書に触れる機会を提供でき、読書活動の向上にもつながった。
	事業概要	おとどけ図書館、おでかけ図書館、はじめての絵本の実施					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	1,839	2,098				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績）
	国・県						
	起債						
その他							
合計	1,839	2,098	0	0	0		

  

2	事務事業の名称	図書館充実事業					実績・評価
	所管課	中央図書館					資料提供の充実を図るため、各館ごとに利用実態に見合った資料を収集し、市民の資料要求に応えた。 ・図書の購入 13,161冊 ・雑誌 4,820冊 ・その他の資料の購入
	事業概要	図書館利用者の状況や欲求に合致した図書の購入					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	28,369	30,049				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績）
	国・県						
	起債						
その他	1,468	2					
合計	29,837	30,051	0	0	0		

■総合分析及び自己評価（1次評価）

<b>【評価、現状・課題認識】</b>	
<p>安全対策を視野に入れ、図書館を含め、生涯学習施設それぞれを適切に維持管理することができた。しかし、いずれの施設も老朽化してきており、安全かつ安心して利用していただくためには計画的な修繕・改修が不可欠である。また、市民の生涯学習に対する多様なニーズに応えるため、高齢者大学や小学生チャレンジ教室等を通じて、多数の市民の参加により、学習機会を設けることができた。図書館においても、「おとどけ図書館」「おでかけ図書館」「はじめてであう絵本」等の事業を計画どおりに実施し、低年齢層の利用者開拓に努めた。また、利用者の要望に応え、利用実態に合わせた資料の収集を行い、魅力ある蔵書の整備・充実を図った結果、4万人未満の市において貸出密度8年連続日本一となったものの利用者数及び貸出冊数が減少傾向にある。ただ、多くの生涯学習施設の今後の維持管理については、老朽化した施設の修繕をどのように行うべきか、公共施設適正化計画の中で、見直しが必要となっている。</p>	
<b>【改善策】</b>	
<p>生涯学習施設の維持管理については、3か年計画に計上し、「安全・安心」を最優先に取り組むこととする。また、図書館においては、若年層の利用者増を図るため、読書推進活動事業(利用者参加型事業)を計画的に実施するとともに、魅力ある蔵書の整備・充実のため、利用者の要望に応え、利用実態に合わせた資料の収集を行う。さらに、インターネット用パソコンの更新やウェブでの予約サービスにより、利用者の増を図る。</p>	
<b>1次評価</b>	B

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

<b>【主要施策推進に対する意見】</b>	
<b>【改善すべき点】</b>	
<b>2次評価</b>	

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ

⇒総合計画 P.42

政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
施 策	5	スポーツ・レクリエーションの推進
主要施策	( 1 )	生涯スポーツ・レクリエーションの推進

■主要施策の所管

部等の名称	教育委員会			
-------	-------	--	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	誰もがそれぞれの年齢や体力に応じて、いつでも、どこでも、気軽にスポーツを楽しむとともに、スポーツを通して市民相互の理解や親睦が深められています。
---------	--

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	スポーツ活動支援の重要性（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによるスポーツ活動の支援を重要だと感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 70.0	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 75.0	評価
数 値	64.8							—
目標値達成率								—
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 2】

指 標	新スポーツの指導回数（単位：回）							
指標の考え方	新スポーツの研修会受講者による指導回数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 4	H25年度 5	H26年度 5	H27年度 5	H28年度 6	H29年度 6	評価
数 値	4	4	5					A
目標値達成率		100.0%	100.0%					A
（結果の分析）	スポーツ推進委員の積極的な活動をこれからも指導、支援していきたい。							

【指標 3】

指 標	スポーツ賞表彰数（単位：人）							
指標の考え方	競技会で優秀な成績を収めたり、スポーツ振興に功績のある人数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 108	H25年度 111	H26年度 113	H27年度 115	H28年度 118	H29年度 120	評価
数 値	106	83	119					A
目標値達成率		76.9%	107.2%					A
（結果の分析）	個人、団体共に功績者が多くあり表彰が増えた。							

【指標 4】

指 標	体育施設の利用者数（単位：人）							
指標の考え方	日頃から体育施設を利用し、スポーツに親しんでいる延数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 323,834	H25年度 325,667	H26年度 327,501	H27年度 329,334	H28年度 331,167	H29年度 333,000	評価
数 値	322,001	362,109	323,033					B
目標値達成率		111.8%	99.2%					B
（結果の分析）	利用者数の減については、団体利用者の減及び気象状況等の影響で一過性と判断する。							

【指標 5】

指 標	スポーツ推進委員数（単位：人）							
指標の考え方	スポーツ指導者数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 34	H25年度 36	H26年度 37	H27年度 39	H28年度 41	H29年度 43	評価
数 値	32	31	29					B
目標値達成率		91.2%	80.6%					B
（結果の分析）	今後も、より熱意をもって、適切な委員活動が続けられる人の確保に努める。							

<評価区分> A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
	施 策	5	スポーツ・レクリエーションの推進
	主要施策	(1)	生涯スポーツ・レクリエーションの推進
	市の取組	①	生涯スポーツ・レクリエーションの推進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 生涯スポーツ・レクリエーションの推進
取組方針	市民の健康・体力づくりや、スポーツを通して市民相互の理解や親睦が深められるよう、地区対抗や異世代交流のスポーツ大会の実施をはじめ、様々なスポーツの機会を提供します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		4,188	4,793	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	4,188	4,793	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		105.3	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	スポーツ賞・賞賜金事業					実績・評価
	所 管 課	生涯学習課					加東市民で構成する団体、個人に対し優秀な成績を収めた貢献者を表彰（個人16名・団体2組）した。スポーツの振興と競技レベルの向上に対し、今後も加東市民の誇り、励みとなることを期待する。
	事 業 概 要	スポーツの振興と競技レベルの向上を目的としたスポーツ振興貢献者に対する表彰					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	408	430				
	国・県						
	起 債						
そ の 他							
合計	408	430	0	0	0		
		評価指標（H25）					
		指標名					数値（上段：目標、下段：実績）
2	事務事業の名称	社会体育事業（加東伝の助マラソン大会）					実績・評価
	所 管 課	生涯学習課					大会会場を播磨中央公園に移し競技種目37部門 申込者2,221人の規模で実施した。会場を公園内移したことで交通面での安全が確保できた。
	事 業 概 要	市体育協会等を核とした実行委員会制で実施					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	2,961	3,200				
	国・県						
	起 債						
そ の 他							
合計	2,961	3,200	0	0	0		
		評価指標（H25）					
		指標名					数値（上段：目標、下段：実績）

3	事務事業の名称	社会体育事業					実績・評価
	所 管 課	生涯学習課					心身の健康、地域の親睦、異年齢層の交流、健康維持と体力づくりが図れ有意義な大会となった。
	事 業 概 要	地区親善ソフトボール・バレーボール大会、グラウンドゴルフ大会等の開催					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	819	1,073				評価指標 (H25)
	国・県						
	起 債						数値 (上段: 目標、下段: 実績)
合計	819	1,073	0	0	0		
4	事務事業の名称	社会体育事業 (加東市パークゴルフ大会)					実績・評価
	所 管 課	生涯学習課					パークゴルフ場の整備、料金有料化に伴い26年度より実施
	事 業 概 要	加東市パークゴルフ大会の開催					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源		90				評価指標 (H25)
	国・県						
	起 債						数値 (上段: 目標、下段: 実績)
合計	0	90	0	0	0		

後期基本計画の 政策体系	政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
	施 策	5	スポーツ・レクリエーションの推進
	主要施策	(1)	生涯スポーツ・レクリエーションの推進
	市の取組	②	グループや人材の育成と指導体制の充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	②	グループや人材の育成と指導体制の充実
取組方針	スポーツ振興と市民のスポーツ技術を向上させるため、スポーツ組織と連携しながら、指導者養成会や実技指導会などを定期的を開催し、スポーツに関する人材の育成に取り組みます。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		23	55	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	23	55	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		0.6	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	スポーツクラブ21推進委員会					実績・評価	
	所 管 課	生涯学習課					スポーツクラブ21連絡協議会の開催等支援。平成26年度は新たにスポーツクラブ21たきのを設立し、更なる地域に根ざしたスポーツクラブを育成する。	
事 業 概 要	地域住民が主体となったスポーツクラブ21の活動に対する支援							
(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）		
一般財源	23	55				指標名	数値（上段：目標、下段：実績）	
国・県								
起 債								
そ の 他								
合計	23	55	0	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
	施 策	5	スポーツ・レクリエーションの推進
	主要施策	(1)	生涯スポーツ・レクリエーションの推進
	市の取組	③	スポーツ施設などの整備・充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	③	スポーツ施設などの整備・充実
取組方針	計画的にスポーツ施設の機能を維持・充実する一方で、効率的な運営や費用対効果の観点から、施設の統廃合や指定管理者制度の導入を検討していきます。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		56,624	65,394	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	43,181	50,665	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	13,443	14,729	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		1,424.1	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	体育施設管理事業					実績・評価				
	所 管 課	生涯学習課					屋内体育施設の天井部分の耐震診断及び緊急性のある施設は補修を行い利用者の安全を最優先で図った。診断結果を基に耐震工法等検討し施設の安全性の確保に努める。				
事 業 概 要	6体育館、8グラウンド、野外活動センターの施設管理										
(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	指標名			数値（上段：目標、下段：実績）		
一般財源	43,181	43,457									
国・県											
起 債											
そ の 他	13,443	13,229									
合計	56,624	56,686	0	0	0						
2	事務事業の名称	体育施設管理事業（夕日ヶ丘公園パークゴルフ場管理）					実績・評価				
	所 管 課	生涯学習課					26年度に整備				
	事 業 概 要	夕日ヶ丘公園パークゴルフ場の施設整備・維持管理									
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			評価指標（H25）	指標名	数値（上段：目標、下段：実績）
	一般財源	0	7,208								
	国・県										
	起 債										
そ の 他		1,500									
合計	0	8,708	0	0	0						

■総合分析及び自己評価（1次評価）

<b>【評価、現状・課題認識】</b>	
<p>地区対抗のスポーツ大会の実施や会場を播磨中央公園に移しての「加東伝の助マラソン大会」の開催などにより、様々なスポーツの機会の提供と多くの市民の参加を得るができた。また、スポーツ振興と市民のスポーツ技術を向上させるため、競技会で優秀な成績を収めた多くの市民にスポーツ賞を授与できた。また、体育施設の維持管理については、緊急性のあるものについて補修を行うことができたが、公共施設適正化の観点からの施設の統廃合が課題となっている。</p>	
<b>【改善策】</b>	
<p>多額の費用が発生する多くの体育施設の維持補修については、緊急性を考慮し、安全安心の観点で実施する。</p>	
<b>1次評価</b>	A

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

<b>【主要施策推進に対する意見】</b>	
<b>【改善すべき点】</b>	
<b>2次評価</b>	

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ

⇒総合計画 P.44

政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
施 策	6	青少年の育成
主要施策	( 1 )	青少年の健全育成

■主要施策の所管

部等の名称	教育委員会			
-------	-------	--	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	次代の担い手としての青少年が、心身ともに健康に成長し、地域や社会の関わりを自覚しつつ、自己を確立しています。
---------	--

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	青少年の健全育成などに関する取組の満足度（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる青少年の健全育成などに関する取組について満足と感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 77.2	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 80.0	評価
数 値	74.4							—
目標値達成率								—
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 2】

指 標	学校の安全対策に協力する市民の割合（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる地域子ども見守り隊や学校の安全監視など学校の安全対策に参加する市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 46	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 50	評価
数 値	42.0							—
目標値達成率								—
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 3】

指 標	青少年の健全育成などに協力する市民の割合（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる青少年の健全育成など教育に関する取組に参加する市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 31.7	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 35.0	評価
数 値	28.4							—
目標値達成率								—
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 4】

指 標	市内中学校問題行動件数（単位：件）							
指標の考え方	市内中学校での問題行動の件数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 82	H25年度 80	H26年度 79	H27年度 78	H28年度 76	H29年度 75	評価
数 値	94	63	83					B
目標値達成率		130.2%	96.4%					—
（結果の分析）	各学校で予防的・開発的な生徒指導が推進され、児童生徒の内面理解が図られた。							

【指標 5】

指 標	学校安全ボランティア参加者数（単位：人）							
指標の考え方	学校安全ボランティアに参加した市民の数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 2,503	H25年度 2,503	H26年度 2,502	H27年度 2,501	H28年度 2,501	H29年度 2,500	評価
数 値	2,504	2,562	2,510					A
目標値達成率		102.4%	100.3%					—
（結果の分析）	学校オープンや、学校ホームページ等により子どもたちの様子を情報発信したり、協力依頼を求めたりしているため、児童生徒を見守る意識が向上した。							

＜評価区分＞ A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
	施 策	6	青少年の育成
	主要施策	(1)	青少年の健全育成
	市の取組	①	少年非行の防止と環境美化

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 少年非行の防止と環境美化
取組方針	学校、PTA、補導委員会、保護司、警察などの関係機関による青少年健全育成懇談会や、補導委員会による年間を通じた補導活動、環境調査活動、学・警・業による万引き防止対策会議などの実施により、青少年の非行防止と環境浄化に取り組みます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		2,150	2,390	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	2,150	2,390	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		54.1	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

		事務事業の名称					実績・評価	
1	事務事業の名称	青少年センター運営事業					青少年補導委員会役員会や各支部青少年運営協議会等で情報交換を行い、喫緊の問題行動事案に的確に対応。また、全小中学校PTA会員や地域の補導委員が加東市ネット見守り隊の研修会に参加し、携帯電話等に関する情報モラルの向上を図ることができた。	
	所 管 課	学校教育課						
	事 業 概 要	青少年補導委員会と関係機関による青少年非行防止対策の充実						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25） 指標名 補導委員に係る各会議及び研修会等の開催数（回）	
	一般財源	2,150	2,390					
	国・県							
	起 債							
	そ の 他							
合計	2,150	2,390	0	0	0	12	12	

後期基本計画の 政策体系	政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
	施 策	6	青少年の育成
	主要施策	(1)	青少年の健全育成
	市の取組	②	ネット見守り隊活動の推進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	②	ネット見守り隊活動の推進
取組方針	小・中学校、県立社高等学校、各PTA、兵庫教育大学、警察、補導委員会、教育委員会で「ネット見守り隊」を設置し、地域を挙げてネットによる子どもたちへの被害やトラブル防止に取り組みます。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		485	548	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	75	130	0	0	0
	国・県	410	418	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		12.2	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

		事務事業の名称						実績・評価
1	事務事業の名称	ネット見守り隊活動事業					平成25年度のインターネット上のトラブルは、2件であり、早期発見・早期解決の取り組みができています。	
	所 管 課	学校教育課						
	事 業 概 要	インターネット上のルールやマナーを守る指導						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	75	130				評価指標（H25）	
	国・県	410	418					
	起 債						指標名	数値（上段：目標、 下段：実績）
	そ の 他						ネット見守り隊連絡会の開催数（回）	39
合計	485	548	0	0	0		39	

後期基本計画の 政策体系	政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
	施 策	6	青少年の育成
	主要施策	(1)	青少年の健全育成
	市の取組	③	子どもの安全とあいさつの推進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	③	子どもの安全とあいさつの推進
取組方針	学校安全ボランティア（スクールガード）として、校区ごとに「子ども見守り隊」を組織し、登下校の見守り活動とともに、あいさつによって子どもたちと顔の見える関係を築いていきます。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		0	0	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	0	0	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		0.0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	「子ども見守り隊」活動事業					実績・評価	
	所 管 課	学校教育課					あいさつを通して、子どもの社会性を育むことができた。	
	事 業 概 要	児童生徒の登下校時の見守り活動						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源							
	国・県							
	起 債							
	そ の 他							
	合計	0	0	0	0	0		
							評価指標（H25）	
						指標名	数値（上段：目標、 下段：実績）	
						「子ども見守り隊」設置校数（校）	12	
							12	

■総合分析及び自己評価（1次評価）

<b>【評価、現状・課題認識】</b>	
<p>全小中学校PTA会員や地域の補導委員が加東市ネット見守り隊の研修会に参加し、加東市内のインターネット上のトラブルは軽減されている。しかし、加東市ネット見守り隊が平成22年7月に結成されて以来、年々インターネット上のトラブルは広域化しており、近隣市町との連携した取組が必要である。</p> <p>企業の職員が通学路に自主的に立たれるなど、地域ぐるみの見守り活動が充実してきた。一方で、地域の見守り活動へ参加されている敬老会等の地域ボランティアのみなさんが、児童の見守り活動に負担を感じる人も少なくない。</p>	
<b>【改善策】</b>	
<p>次年度は、広域化したインターネット上のトラブルや犯罪行為の早期発見・早期解決に向けて、北播磨地域の市町教育委員会が警察等の関係機関とスクラムを組み、密接な行動連携を図る機会を設ける。</p> <p>児童の見守り活動への依頼には、地域ボランティアのみなさんに対して、事業の十分な周知が必要である。とりわけ、各小学校が平成25年度から実施している緊急メール配信への登録を地域ボランティアのみなさんへお願いしながら、登下校の確認や危険通報など緊密な連携を行う。また、日常的な地域ボランティアとの関係づくりに努め、登下校の見守り活動に対して、保護者・児童が感謝する心を醸成できるような取組を強化する。</p>	
<b>1次評価</b>	B

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

<b>【主要施策推進に対する意見】</b>	
<b>【改善すべき点】</b>	
<b>2次評価</b>	

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ

⇒総合計画 P. 46

政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
施 策	1	豊かな自然の保全・活用
主要施策	( 1 )	水と緑の保全と創造

■主要施策の所管

部等の名称	市民安全部	地域整備部	建設部	
-------	-------	-------	-----	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	水辺や森林が、自然とのふれあいや憩いの空間となり、公園や緑地が遊びや交流の場として利用されています。
---------	--

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	公園や緑地等の清掃活動に参加した市民の割合（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる公園や緑地等の清掃などに参加したことがある市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 69.0	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 75.0	評価
数 値	62.7	/	/	/	/	/	/	—
目標値達成率	/	/	/	/	/	/	/	/
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 2】

指 標	環境学習参加者数（単位：人）							
指標の考え方	かとう自然がっこう（森の巻、川の巻）などへの参加者数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 28	H25年度 33	H26年度 37	H27年度 41	H28年度 46	H29年度 50	評価
数 値	24	38	46	/	/	/	/	A
目標値達成率	/	135.7%	139.4%	/	/	/	/	/
（結果の分析）	教育委員会主催の小学生チャレンジスクールの講座として位置づけ、参加者を募ったため、目標を上回る結果となった。							




<評価区分> A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
	施 策	1	豊かな自然の保全・活用
	主要施策	(1)	水と緑の保全と創造
	市の取組	①	水と緑の保全と創造

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 水と緑の保全と創造
取組方針	豊かな自然環境を、市民との連携により保全し、有効活用するとともに、河川、水路、ため池、里山、自然林などの多様な生物の生息空間を守っていきます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		82	366	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	82	366	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		2.1	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

		事務事業の名称					実績・評価	
1	事務事業の名称	環境対策事業					教育委員会主催の小学生チャレンジスクールの講座として位置づけ、参加者を募ったため指標を上回る参加者となった。	
	所 管 課	生活課						
	事 業 概 要	自然体験型の環境学習事業の実施						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）	
	一般財源	82	366					
	国・県						指標名	数値（上段：目標、 下段：実績）
	起 債							
	そ の 他						環境学習参加者数（人）	33
合計	82	366	0	0	0		46	

■総合分析及び自己評価（1次評価）

<b>【評価、現状・課題認識】</b>	
<p>環境教育は、環境保全意識を高め実践活動に結びつけるために積極的に取り組んでいかなければならない。参加者は自然体験を通じて、自然の素晴らしさ、不思議さ、大切さ、そして命や生き物の尊さを実感している事業である。</p> <p>自然体験活動をする機会が親子とも少ない状況は変わっておらず本市の豊かな自然を活かした自然体験活動は、環境びとを育むためには重要な事業である。</p> <p>環境問題へ取り組む入口として自然体験型環境教育を推進するとともに、その後の活動に繋げるための環境活動情報の収集・提供の充実、活動支援方法拡充、指導者研修や学校園の環境教育研修支援の強化が必要。</p> <p>環境教育は、机上だけでなく実践することでより実感できるため実践活動を行うことは適切である。</p> <p>自然に学び、自然を楽しんだことで、自然環境や地球環境などを守る大切さや意義を理解してもらい環境を意識した行動に関心を持つようになっている。</p>	
<b>【改善策】</b>	
<p>環境びとの育成を目指して事業の更なる充実に努めていく。特に、加東エコ隊を中心に教育関係機関、事業者、環境施策推進活動団体、教育指導者等との連携を深める方向で、今後とも力を注いでいく。</p> <p>学校や地域団体とより広い協働体制で実施できるよう検討していく。</p> <p>自然体験型環境教育事業を効果的に進めるために、適正な規模と環境教育内容が必要であるので事業評価と効果測定を実施し事業内容の改善を図るとともに、適切な運営となるように結果を反映させていく。</p>	
1次評価	A

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

<b>【主要施策推進に対する意見】</b>	
<b>【改善すべき点】</b>	
2次評価	

<評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P. 48

政 策	Ⅱ 『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
施 策	2 環境にやさしい暮らしづくり
主要施策	( 1 ) 環境衛生の推進

■主要施策の所管

部等の名称	市民安全部			
-------	-------	--	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	環境美化や環境汚染に対する意識を高めるとともに、ポイ捨てや不法投棄の防止、クリーンキャンペーンに地域ぐるみで取り組んで、ごみのない美しいまちになっています。
---------	--

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	まちの清潔さ・美観の保全の満足度（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによるまちの清潔さ・美観の保全について満足と感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	56.7	—	—	63.5	—	—	70.0	
目標値達成率		—	—		—	—		—
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 2】

指 標	公害の防止の満足度（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる公害の防止について満足と感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	72.5	—	—	76.3	—	—	80.0	
目標値達成率		—	—		—	—		—
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 3】

指 標	クリーンキャンペーン参加者数（単位：人）							
指標の考え方	地区が行うクリーンキャンペーンに参加した人数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	8,638	11,688	12,043	11,319	12,213	13,106	14,000	
目標値達成率		122.6%	115.5%					A
（結果の分析）	実績報告書の提出を各地区に依頼したため、前年度より多くの活動を把握できた。							

【指標 4】

指 標	ペットのふん公害等苦情件数（単位：件）							
指標の考え方	ペットのふん公害や飼い方などの苦情案件取扱件数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	20	11	10	13	10	8	5	
目標値達成率		163.6%	150.0%					A
（結果の分析）	各地区の希望にあわせて啓発看板を配布するとともに、ごみステーションパトロールなどで、ペットの飼い方やふん害防止のちらしを配布し啓発を行ったことが件数減につながっていると考える。							


＜評価区分＞ A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
	施 策	2	環境にやさしい暮らしづくり
	主要施策	(1)	環境衛生の推進
	市の取組	①	環境美化などの推進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 環境美化などの推進
取組方針	不法投棄や野焼き、ペットのふん被害などへの対応とともに、クリーンキャンペーンの実施、ごみステーションの適切な維持管理など、地域ぐるみや団体の自主的な環境美化活動を支援します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		2,056	2,206	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	2,056	2,206	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		51.7	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

		事務事業の名称					実績・評価	
1	事務事業の名称	清掃管理事業					シルバー人材センターへ委託し、清潔で安心して利用できる公衆便所の維持管理を行った。	
	所 管 課	生活課						
	事 業 概 要	中国自動車道滝野社インター及び佐保神社前公衆便所の維持管理など						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） まちの清潔さ・美観の保全の満足度 — —	
	一般財源	1,165	1,287					
	国・県							
	起 債							
そ の 他								
合計	1,165	1,287	0	0	0			
2	事務事業の名称	廃棄物減量美化対策事業					地域によるクリーンキャンペーンの実施の促進を図るとともに、ごみ袋の支給等その活動に対する支援を実施した。環境に対する意識向上と地域美化のためには、継続して事業を行うことで大きな成果となる。	
	所 管 課	生活課						
	事 業 概 要	各地区が実施するクリーンキャンペーンの支援						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） クリーンキャンペーン参加者数（人） 10,425 12,043	
	一般財源	63	119					
	国・県							
	起 債							
そ の 他								
合計	63	119	0	0	0			

3	事務事業の名称		廃棄物減量美化対策事業				実績・評価	
	所管課		生活課				ごみ収集箱を設置する地区（自治会）に対して補助を実施。ごみ収集箱の設置により、地区（自治会）がごみステーションを衛生的に維持管理することができるとともに、ごみ収集の効率化につながった。	
	事業概要		ごみ収集箱設置に対する補助					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	828	800				評価指標（H25）	
	国・県						指標名	数値（上段：目標、 下段：実績）
	起債							
	その他							
	合計	828	800	0	0	0		

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
	施 策	2	環境にやさしい暮らしづくり
	主要施策	(1)	環境衛生の推進
	市の取組	②	衛生対策などの充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	② 衛生対策などの充実
取組方針	新たに空き家・空き地の衛生管理対策を進めるとともに、動物の飼い主の義務と責任についての啓発や狂犬病予防注射の促進により人と動物が共生するなど、衛生的で安全な地域づくりに取り組めます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		1,281	1,411	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	0	71	0	0	0
	国・県	1	1	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	1,280	1,339	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		32.2	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	犬等対策事業					実績・評価	
	所 管 課	生活課					狂犬病の予防や飼い主のマナーの向上のため、犬の登録及び予防接種、マナー向上の啓発を行った。また、動物の死体回収の迅速化等を維持継続し、安心安全清潔な生活環境の保持に努めることができた。	
(決算額)	事 業 概 要	畜犬登録、狂犬病予防集合注射の実施及び小動物の死体回収処理					評価指標（H25）	
	指標名	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	数値（上段：目標、下段：実績）	
	一般財源		71				ペットのふん公害等苦情件数（件）	
	国・県	1	1				15	
	起 債						10	
	そ の 他	1,280	1,339					
合計		1,281	1,411	0	0	0		

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
	施 策	2	環境にやさしい暮らしづくり
	主要施策	(1)	環境衛生の推進
	市の取組	③	適正な墓地環境の確保

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	③ 適正な墓地環境の確保
取組方針	墓地計画に基づいて、墓地の設置や廃止に関して、適正に指導します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		0	0	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	0	0	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		0.0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	環境対策事業					実績・評価	
	所 管 課	生活課					平成25年度においては、具体的な検討には至っていない。本市の実情に沿った適切な墓地行政を推進するため、現状の課題を把握し、適切な方向性を示すことが重要である。	
事 業 概 要	墓地のあり方を検討する							
(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			
	一般財源	0	0					
	国・県							
	起 債							
	そ の 他							
	合計	0	0	0	0	0		
							評価指標（H25）	
							指標名	数値（上段：目標、下段：実績）

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
	施 策	2	環境にやさしい暮らしづくり
	主要施策	(1)	環境衛生の推進
	市の取組	④	生活環境の保全

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	④	生活環境の保全
取組方針	公害などの未然防止のため、生活環境の状況を監視するとともに、公害発生源に対して実態調査、啓発活動、規制などを実施します。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		89,423	94,464	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	89,418	94,394	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	5	70	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		2,249.0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	環境対策事業					実績・評価	
	所 管 課	生活課					河川37地点、ため池21地点等において水質等検査を実施。公害に起因する人の健康又は生活環境に係る被害を未然に防止することを目的として公共用水域の水質を把握するために今後も継続していかなければならない事業である。調査結果を公表し、環境に関する意識啓発に努める必要がある。	
事 業 概 要	河川及びため池の水質監視等の実施							
(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）		
一般財源	5,894	6,086				指標名	数値（上段：目標、下段：実績）	
国・県						公害の防止の満足度	—	
起 債							—	
そ の 他								
合計	5,894	6,086	0	0	0			
2	事務事業の名称	環境対策事業					実績・評価	
	所 管 課	生活課					国道372号のうち、4区間において自動車騒音常時監視を実施。全国的な調査で、監視結果は、自動車騒音対策の効果等を把握し、自動車騒音公害を防止するための基礎資料となるためのもので、県から権限移譲された業務である。調査結果を公表し、環境に関する意識啓発に努める必要がある。	
事 業 概 要	自動車騒音常時監視の実施							
(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）		
一般財源	308	881				指標名	数値（上段：目標、下段：実績）	
国・県						公害の防止の満足度	—	
起 債							—	
そ の 他								
合計	308	881	0	0	0			

3	事務事業の名称		し尿処理事業				実績・評価	
	所管課		生活課				昭和29年7月1日清掃法の施行に伴い、市町村の固有事務として開始。し尿及び浄化槽汚泥の収集量は、公共下水道等の普及に伴い年々減少傾向にあるが、処理は市の固有事務であり、衛生的に快適な暮らしを支える重要な事業である。	
	事業概要		北播衛生事務組合負担金及び施設使用料					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	83,216	87,427				評価指標 (H25)	
	国・県						指標名	数値 (上段：目標、 下段：実績)
	起債							
	その他	5	70					
	合計	83,221	87,497	0	0	0		

■総合分析及び自己評価（1次評価）

<b>【評価、現状・課題認識】</b>	
<p>市域で展開されているクリーンキャンペーンは、多くの市民、事業者の参加を得て道路水路等の公共的な場所の美化が図られる。                  市民自らが環境保全活動に参加することで環境意識の向上につながるとともに、行政だけでなく、市民みんなで実施することの重要性が認識されている。                  行政が単独で実施する場合と比較すると、活動規模や費用などの面で、極めて効率的で大きな成果を挙げている。                  不法投棄防止及び不適正残土等の対策は、生活環境や自然環境を守るもので、その根絶には至っておらず、広く市民の協力が不可欠となっております。不法投棄の未然防止及び早期解決を県、警察及び自治会と連携を取りながら継続して行なっている。                  公共施設の一つである公衆トイレを、清潔で快適な環境に維持管理することは、公衆衛生上不可欠である。                  公共水域の水質、自動車騒音に関する調査は、公害に起因する人の健康又は生活環境に係る被害を未然に防止するための事業で、市が実施している。</p>	
<b>【改善策】</b>	
<p>クリーンキャンペーンなどの地域ぐるみでの取り組みは、市民の生活環境の保全と、安心・安全の確保に不可欠な事業であることから、今後も支援を継続していく。                  不法投棄の未然防止及び早期解決を今後も県、警察と連携を取りながら継続して行なっていく。                  また、市民や事業者に対する啓発活動や市民、事業者、行政が一体となったパトロール等の強化を図る。                  その施策として、県から「不法投棄防止地区」の指定を受けると、必要な箇所には県民局から不法投棄防止機材（監視カメラ、防止ネット等）の提供をうけることができるため、地区指定の申込みを各地区（自治会）に対して促す。                  公共水域水質調査、自動車騒音に関する調査は継続し、市域の環境の経年変化について把握するとともに、調査結果を公表し、環境に関する意識啓発を行う。</p>	
1次評価	A

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

<b>【主要施策推進に対する意見】</b>	
<b>【改善すべき点】</b>	
2次評価	

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.50

政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
施 策	2	環境にやさしい暮らしづくり
主要施策	( 2 )	地球環境の保全に向けた取り組みの推進

■主要施策の所管

部等の名称	市民安全部	地域整備部		
-------	-------	-------	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	市民・事業者・行政が省エネルギー、省資源などに取り組み、地球環境にやさしい持続可能な社会が構築されています。
---------	--

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標1】

指 標	太陽光発電などエネルギー施策の重要性（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによるエネルギーの節約や太陽光発電など自然エネルギーの有効活用が重要だと思う市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 85.1	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 85.1	評価
数 値	85.1	/	/	/	/	/	/	—
目標値達成率	/	/	/	/	/	/	/	/
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標2】

指 標	エコドライブ教室参加者数（単位：人）							
指標の考え方	エコドライブ教室の参加者数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 16	H25年度 17	H26年度 17	H27年度 18	H28年度 19	H29年度 20	評価
数 値	15	13	10	/	/	/	/	D
目標値達成率	/	81.3%	58.8%	/	/	/	/	/
（結果の分析）	自家用車に機器を取り付けて測定するため、参加者数を増やすためには、測定機器を確保しなければならない。							

【指標3】

指 標	住宅用太陽光発電システム設置数（単位：基）							
指標の考え方	住宅用太陽光発電システム設置基数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 188	H25年度 291	H26年度 393	H27年度 495	H28年度 598	H29年度 700	評価
数 値	86	228	295	/	/	/	/	A
目標値達成率	/	121.3%	101.4%	/	/	/	/	/
（結果の分析）	電力不足への懸念や再生可能エネルギーの買取制度の開始に伴い、再生可能エネルギーへの関心が高まり設置基数が増えたと考えられる。							



<評価区分> A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
	施 策	2	環境にやさしい暮らしづくり
	主要施策	(2)	地球環境の保全に向けた取り組みの推進
	市の取組	①	地球環境に配慮したまちづくり

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 地球環境に配慮したまちづくり
取組方針	住宅用太陽光発電の設置費用の助成や、市の施設に太陽光発電などの新エネルギーを導入することで、低炭素社会への転換に取り組みます。また、省エネルギー・省資源化を推進し、ライフスタイルをEV車をはじめとした低燃費のエコカーや省エネ家電などに転換することで、地球環境負荷の軽減に努めます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		8,375	10,962	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	4,400	5,681	0	0	0
	国・県	253	281	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	3,722	5,000	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		210.6	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	環境対策事業					実績・評価	
	所 管 課	生活課						
	事 業 概 要	太陽光発電システム設置補助						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	電力不足への懸念や再生可能エネルギーの買取制度の開始に伴い、再生可能エネルギーへの関心が高まり補助件数（設置基数）が増えたと考えられる。  評価指標（H25） 指標名 住宅用太陽光発電システム設置補助件数（件）	
	一般財源	3,723	5,000					63
	国・県							67
	起 債							
そ の 他	3,722	5,000						
合計	7,445	10,000	0	0	0			
2	事務事業の名称	環境対策事業					実績・評価	
	所 管 課	生活課						
	事 業 概 要	環境施策等推進団体活動に対する補助						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	環境基本計画は、市民・事業者・行政が連携して取り組むことを根幹にして策定しており、その推進組織である加東エコ隊への一定の関与（補助金交付）は、制度上不可欠である。  評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績）	
	一般財源	424	400					
	国・県							
	起 債							
そ の 他								
合計	424	400	0	0	0			

3	事務事業の名称		環境保全型農業直接支援事業				実績・評価	
	所管課		農林課				無農薬無化学肥料栽培の有機農業又は化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組とセットで地球温暖化防止等に効果の高い営農活動に取り組む農業者を支援した。	
	事業概要		環境保全型農業に取り組む農業者への支援					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	253	281				評価指標 (H25)	
	国・県	253	281				指標名	
	起債						数値 (上段: 目標、 下段: 実績)	
	その他						環境保全に効果の高い営農活動の普及 (支援農業者数) (農業者)	3
	合計	506	562	0	0	0	環境保全に効果の高い営農活動の普及 (支援農業者数) (農業者)	3

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
	施 策	2	環境にやさしい暮らしづくり
	主要施策	(2)	地球環境の保全に向けた取り組みの推進
	市の取組	②	環境教育・環境学習の推進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	②	環境教育・環境学習の推進
取組方針	地域と学校が共同で取り組む地域資源を活かした環境教育等の取組が行えるように、地域や各種団体などの理解と協力を得て、組織・体制づくりを進めます。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		70	327	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	70	327	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		1.8	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	環境対策事業					実績・評価	
	所 管 課	生活課					エコドライブ教室の参加者拡大を図っても、測定機器の確保が困難な状態であり、機器確保に向けた調整が必要である。	
事業概要	エコドライブ教室、環境ポスター展など環境啓発事業の実施						環境ポスター展は、小学校4～6年を対象に募集し、市文化祭に展示した。	
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）	
一般財源	70	327				指標名		
国・県						数値（上段：目標、下段：実績）		
起 債						エコドライブ教室参加者数（人）	17	
そ の 他							10	
合計	70	327	0	0	0			

■総合分析及び自己評価（1次評価）

<b>【評価、現状・課題認識】</b>
<p>地球温暖化対策について、再生可能エネルギー等の利用拡大は大きな柱になるため、住宅用太陽光発電に対する設置補助を続ける。</p> <p>事業は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」において、地方公共団体の責務として規定されている区域の温室効果ガスの排出抑制のための措置として実施している。</p> <p>本市の環境基本計画及び行動方針に基づき地球環境に配慮した交通を推進するため、地球温暖化対策として、低公害車・低燃費車の普及による排出削減、燃料消費量の少ない運転方法であるエコドライブの普及促進が有効な対策であることから、エコドライブや環境にやさしい車の導入等の取組を進めてきた。</p>
<b>【改善策】</b>
<p>平成23年度～32年度を計画期間とする「加東市環境基本計画及び行動方針」に基づき、各種施策を展開する。新エネルギー導入促進、省エネルギー等の啓発についても広報紙だけでなく、出前講座を開催するなど、温室効果ガス削減のための事業を拡大する。</p> <p>また、次世代自動車（電気自動車等）をはじめとした低燃費のエコカーの普及促進を市が率先垂範し、リードしていくため、電気自動車等の普及のため、インフラ整備、率先導入等事業の課題を細かく検証し、各事業の充実を図る。</p>

1次評価	B
------	---

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

<b>【主要施策推進に対する意見】</b>
<b>【改善すべき点】</b>

2次評価	
------	--

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.52

政 策	Ⅱ 『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
施 策	2 環境にやさしい暮らしづくり
主要施策	( 3 ) 廃棄物の減量・リサイクルの推進

■主要施策の所管

部等の名称	市民安全部			
-------	-------	--	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	市民・事業者・行政のパートナーシップにより3Rを積極的に推進し、ごみを出さない循環型のライフスタイルへの転換や事業活動が行われています。
---------	--

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標1】

指 標	ごみの減量化の取組の満足度（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる資源をリサイクルするなどごみの減量化について満足と感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 78.2	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 80.0	評価
数 値	76.4							
目標値達成率								—
(結果の分析)	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標2】

指 標	環境に配慮した取組に参加する市民の割合（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる環境に配慮した取組に参加する市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 56.2	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 60.0	評価
数 値	52.4							
目標値達成率								—
(結果の分析)	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標3】

指 標	生活系ごみ排出量（単位：g）							
指標の考え方	市民1人1日当たり生活系ごみ排出量（県下41市町ランキング H24：1位 H23：1位 H29：1位）							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	H24年度 497	H25年度 496	H26年度 494	H27年度 493	H28年度 492	H29年度 491	評価
数 値	498	476	475					
目標値達成率		104.4%	104.4%					A
(結果の分析)	各地区単位でごみ減量リサイクル懇談会（ごみステーションパトロール）を実施しており、ごみ減量と資源化に対する意識が高まってきている。25年度は速報値							

【指標4】

指 標	事業系ごみ排出量（単位：g）							
指標の考え方	市民1人1日当たり事業系ごみ排出量（県下41市町ランキング H24：21位 H23：19位 H29：10位）							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	H24年度 246	H25年度 237	H26年度 227	H27年度 218	H28年度 209	H29年度 200	評価
数 値	255	254	250					
目標値達成率		96.9%	94.8%					B
(結果の分析)	事業者に対する情報提供及び広報・啓発を強化しなければ、目標値を達成できない。25年度は速報値							

【指標5】

指 標	リサイクル率（単位：％）							
指標の考え方	ごみ排出量に対して資源化した量の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	H24年度 18.8	H25年度 19.1	H26年度 19.3	H27年度 19.6	H28年度 19.9	H29年度 20.2	評価
数 値	18.6（－）	16.6	15.1					
目標値達成率		88.3%	79.1%					C
(結果の分析)	民間による回収などにより市が取り扱うリサイクル量が減少したものである。25年度は速報値							

<評価区分> A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の政策体系	政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
	施 策	2	環境にやさしい暮らしづくり
	主要施策	(3)	廃棄物の減量・リサイクルの推進
	市の取組	①	廃棄物の減量・資源化の推進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 廃棄物の減量・資源化の推進
取組方針	不用品情報の提供やマイバッグ運動の推進、3R意識の向上などにより、市民のごみの排出を抑制します。また、ごみの分別収集を徹底するとともに、資源ごみ集団回収など市民の主体的な活動を支援し、資源化を推進します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29
不法投棄件数	職員等がパトロール時に発見した不法投棄件数に加え、市に寄せられた不法投棄（通報）件数を集計した件数	150	140	130	120	110

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		38,668	49,949	15	0	0
財 源 内 訳	一般財源	38,668	49,949	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	15	0	0
市民1人あたりコスト（円）		972.5	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	廃棄物減量美化対策事業					実績・評価
	所 管 課	生活課					19団体に奨励金を交付した。各種団体が行う年間実施回数は減っていないが、回収量が減ってきている。リサイクル率向上につながる意識啓発、情報提供など工夫が必要である。
	事 業 概 要	資源ごみ集団回収の奨励					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	2,157	3,294				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） リサイクル率（%） 19.1 ※速報値 15.1
	国・県						
	起 債						
そ の 他							
合計	2,157	3,294	0	0	0		

  

2	事務事業の名称	廃棄物減量美化対策事業					実績・評価
	所 管 課	生活課					委託により、美化パトロール及び不法投棄物の処理を行った。地域ぐるみで取り組む不法投棄防止活動を推奨するための意識啓発及び情報提供など工夫が必要である。
	事 業 概 要	ごみ減量・資源化の拡大に向けた意識啓発及び不法投棄防止対策の推進					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	1,369	2,832				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 不法投棄件数（件） 150 157
	国・県						
	起 債			15			
そ の 他							
合計	1,369	2,832	15	0	0		

3	事務事業の名称	じん芥処理事業					実績・評価								
	所管課	生活課					生活系ごみ排出量の県下41市町ランキングでは、平成25年度発表以来、1位を継続し、ごみ量も計画以上の成果がでている。 しかし、全国トップレベルの水準とはなっていないため、さらなる取り組みと、施策の工夫が必要である。								
	事業概要	生活系一般廃棄物の収集、運搬及び処理並びに分別収集によるリサイクルの推進													
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度									
	一般財源	35,142	43,823				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価指標 (H25)</th> </tr> <tr> <th>指標名</th> <th>数値 (上段:目標、下段:実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民1人当たりの生活系ごみ排出量 (g)</td> <td>496</td> </tr> <tr> <td></td> <td>475</td> </tr> </tbody> </table>	評価指標 (H25)		指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)	市民1人当たりの生活系ごみ排出量 (g)	496		475
	評価指標 (H25)														
	指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)													
市民1人当たりの生活系ごみ排出量 (g)	496														
	475														
国・県															
起債															
その他															
合計	35,142	43,823	0	0	0										
4	事務事業の名称	じん芥処理事業					実績・評価								
	所管課	生活課					抜き打ちによる展開検査を実施。今後は、更にこの取組を強化するとともに、中小企業を対象とした意識啓発、情報提供などを行う必要がある。								
	事業概要	事業系一般廃棄物の適正処理の推進													
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度									
	一般財源	0	0				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価指標 (H25)</th> </tr> <tr> <th>指標名</th> <th>数値 (上段:目標、下段:実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民1人当たりの事業系ごみ排出量 (g)</td> <td>237</td> </tr> <tr> <td></td> <td>250</td> </tr> </tbody> </table>	評価指標 (H25)		指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)	市民1人当たりの事業系ごみ排出量 (g)	237		250
	評価指標 (H25)														
	指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)													
市民1人当たりの事業系ごみ排出量 (g)	237														
	250														
国・県															
起債															
その他															
合計	0	0	0	0	0										

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
	施 策	2	環境にやさしい暮らしづくり
	主要施策	(3)	廃棄物の減量・リサイクルの推進
	市の取組	②	廃棄物処理基盤の整備と適正処理の推進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	②	廃棄物処理基盤の整備と適正処理の推進
取組方針	2つのごみ処理施設の構成市町と連携し、ごみを適切に処理するとともに、施設を適正に維持していきます。また、市の将来のごみ処理体制のあり方や埋立処分地と残土処理場の有効活用について検討します。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		229,796	197,939	15	0	0
財 源 内 訳	一般財源	229,796	197,939	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	15	0	0
市民1人あたりコスト（円）		5,779.4	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	じん芥処理事業					実績・評価
	所 管 課	生活課					平成26年度新規事業
	事 業 概 要	資源ごみ積替・保管施設整備事業					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	0	4,332				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、 下段：実績）
	国・県						
	起 債						
そ の 他							
合計	0	4,332	0	0	0		
2	事務事業の名称	じん芥処理事業					実績・評価
	所 管 課	生活課					長期的には、5市1町でのごみ処理の広域処理に向けての協議調整を進めることができた。 短期的には、小野加東環境施設事務組合に加西市が加わることになり、経費を低減することができた。
	事 業 概 要	小野加東加西環境施設事務組合と北播磨清掃事務組合のごみ処理施設運営負担金					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	225,229	185,442				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、 下段：実績）
	国・県						
	起 債			15			
そ の 他							
合計	225,229	185,442	15	0	0		

3	事務事業の名称	じん芥処理事業					実績・評価
	所管課	生活課					平成25年度に上中埋立処分地の用地を取得することができた。賃貸借に係る経費を削減することができる。
	事業概要	上中及び藪埋立処分場の管理運営					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	4,567	3,731				評価指標 (H25)
	国・県						
	起債						数値 (上段: 目標、 下段: 実績)
その他							
合計	4,567	3,731	0	0	0		
4	事務事業の名称	じん芥処理事業					実績・評価
	所管課	生活課					平成26年度新規事業
	事業概要	藪残土処理場(2次区域)整備事業・えん堤築造工事					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	0	4,434				評価指標 (H25)
	国・県						
	起債						数値 (上段: 目標、 下段: 実績)
その他							
合計	0	4,434	0	0	0		

■総合分析及び自己評価（1次評価）

<b>【評価、現状・課題認識】</b>	
<p>廃棄物処理法では、その区域内の一般廃棄物の減量に努めることが定められており、国が策定する「基本的な方針」においては、全国的なごみの減量化目標を掲げてその推進が強く求められている。ごみの減量について各施策を展開することは自治体としての責務である。                  平成25年3月に今後10年間を計画期間とする一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を策定し、その推進を図っている。                  各地区（自治会）を対象とした「ごみ減量リサイクル懇談会（ごみステーションパトロール）」を実施し、ごみ減量と再資源化を図っている。                  資源ごみ集団回収運動事業の奨励は、地域や子ども会、PTAなどが主体となり、ごみ減量と資源化の意識向上と回収率の向上につながり、効果的な手法であり、地域コミュニティの形成にもつながっている。                  保健衛生推進協議会との協働事業や学校園への環境教育など多角的に事業を展開している。</p>	
<b>【改善策】</b>	
<p>各地区（自治会）を対象とした「ごみ減量リサイクル懇談会（ごみステーションパトロール）」を継続実施し、市民のリサイクル意識、ごみ減量意識の向上によりごみ減量と再資源化を図る。                  一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の行動計画に沿って、ごみ減量化目標が達成できるよう、新たな施策の実施や継続施策の見直し、さらには市民に対する啓発や情報提供の強化を図っていく。                  施策の実施にあたっては、きめ細やかな市民への対応を心掛けながら、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。                  また、安全で安定的な最終処分場の管理運営を維持していく。</p>	

1次評価	A
------	---

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

<b>【主要施策推進に対する意見】</b>	
<b>【改善すべき点】</b>	

2次評価	
------	--

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.54

政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
施 策	3	交通安全・防火体制の充実
主要施策	( 1 )	交通安全対策の推進

■主要施策の所管

部等の名称	防災課	建設部		
-------	-----	-----	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	市民一人ひとりが交通ルールやマナーを守り、交通事故のない安全で安心なまちになっています。
---------	--

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	交通安全への取組に対する満足度（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる交通安全意識の普及・啓発について満足と感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 78.6	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 80.0	評価
数 値	77.2							—
目標値達成率								
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 2】

指 標	人身事故発生件数（単位：件）							
指標の考え方	人身事故の発生件数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年 基準値	(H24年) 253	H25年 242	H26年 232	H27年 221	H28年 211	H29年 200	評価
数 値	263	265	279					B
目標値達成率		95.5%	86.7%					
（結果の分析）	運転者、歩行者双方の交通安全意識の高揚が不可欠であるため、交通安全週間等の機会に更に啓発を図る。							

【指標 3】

指 標	高齢者交通安全教室参加者数（単位：人）							
指標の考え方	高齢者交通安全教室の参加実数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 557	H25年度 645	H26年度 734	H27年度 823	H28年度 911	H29年度 1000	評価
数 値	468	150	200					D
目標値達成率		26.9%	31.0%					
（結果の分析）	地域ぐるみでの取組を推進する。							



<評価区分> A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
	施 策	3	交通安全・防火体制の充実
	主要施策	(1)	交通安全対策の推進
	市の取組	①	交通安全施設の整備

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	①	交通安全施設の整備
取組方針	カーブミラーやガードレール、道路標識等を整備するとともに、交通危険箇所を改善します。また、市内小・中学校等の通学路の歩行帯を充実するなど、子どもたちだけでなく誰もが安心して通行できる道路環境を確保します。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29
カーブミラー設置数	見通しの悪い箇所にカーブミラーを設置して交通事故の発生を抑制します。	1270	1290	1310	1330	1350

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		39,345	39,267	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	9,630	39,267	0	0	0
	国・県	6,935	0	0	0	0
	起 債	22,400	0	0	0	0
	そ の 他	380	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		989.5	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	交通安全施設整備事業					実績・評価	
	所 管 課	防災課					地区要望及び通学路安全対策として47箇所にカーブミラーを設置し、見通しの悪い箇所の改善に努めた。	
	事 業 概 要	カーブミラー等の新設・維持管理						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	7,267	3,067					
	国・県						評価指標（H25）	
	起 債							指標名
	そ の 他	380					カーブミラー設置数(基)	1,270
合計	7,647	3,067	0	0	0		1,270	
2	事務事業の名称	交通安全施設整備事業					実績・評価	
	所 管 課	土木課						
	事 業 概 要	出水貝原線防護柵設置工事						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源		10,000					評価指標（H25）
	国・県						指標名	
	起 債							
	そ の 他							
合計	0	10,000	0	0	0			

3	事務事業の名称	通学路歩行帯整備事業					実績・評価
	所 管 課	土木課					東条東小学校と東条西小学校の通学路の歩行帯整備工事が完了した。これにより、市内小中学校の通学路歩行帯整備工事が全て完了した。
	事 業 概 要	指定通学路に「歩行者ゾーン」を設け、通学児童・生徒の安全を確保する。					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	1,237					評価指標 (H25)
	国・県	6,935					
	起 債	22,400					数値 (上段:目標、 下段:実績)
	そ の 他						
合計	30,572	0	0	0	0		
4	事務事業の名称	大門北野線安全施設整備事業					実績・評価
	所 管 課	土木課					大門北野線の歩行帯整備に係る詳細設計業務が完了した。
	事 業 概 要	歩行帯等安全施設整備工事					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	1,126	26,200				評価指標 (H25)
	国・県						
	起 債						数値 (上段:目標、 下段:実績)
	そ の 他						
合計	1,126	26,200	0	0	0		

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
	施 策	3	交通安全・防火体制の充実
	主要施策	(1)	交通安全対策の推進
	市の取組	②	交通安全の啓発

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	②	交通安全の啓発
取組方針	警察や交通安全協会と連携し、幼児、児童・生徒、高齢者など年齢に応じた交通安全教室や、街頭キャンペーンなどに取り組み、交通安全意識の普及・啓発に努めます。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		3,000	3,222	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	3,000	3,222	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		75.5	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

		事務事業の名称					実績・評価	
1	事務事業の名称	交通安全対策推進事業					交通安全教室の開催、街頭キャンペーン等による啓発、社交通安全協会への負担を行った。	
	所 管 課	防災課						
	事 業 概 要	交通事故防止対策（交通安全啓発活動、交通安全教室の実施等、交通安全協会負担金）						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 高齢者交通安全教室の参加実数(人) 645 200	
	一般財源	3,000	3,222					
	国・県							
	起 債							
そ の 他								
合計	3,000	3,222	0	0	0			

■総合分析及び自己評価（1次評価）

<b>【評価、現状・課題認識】</b>	
<p>平成24年末の国道372号バイパス開通に伴い、市内の主要な交通ネットワークが大きく変化したことにより、これまで地区内の生活道路であった道路が幹線への近道や抜け道となるなど交通体系の混乱により交通事故件数が増加した。交通事故による死者数も対前年比で3人増加の4名となり、平成26年度には兵庫県から交通安全重点地域に指定されている。</p> <p>また、全国的に高齢者の関連する事故及び自転車の関連する事故が増加傾向にあり、高齢者に対する交通安全意識、自転車の交通安全意識のさらなる普及啓発が必要である。</p> <p>交通安全対策の必要な箇所への対応として、市が直接実施できることは、歩道等の設置やカーブミラー・交通安全注意喚起看板の設置などに限られており、歩道の設置については、道路の拡幅を伴うため事業化が困難で、巨額の事業費を要するため、歩行帯の整備（今年度をもって市内小中学校の通学路歩行帯整備工事が完了）を進めている。信号機の設置や交通規制の強化については、兵庫県警への要望により対策を進めているが、県予算などの都合により対策の実現は極めて困難な状況となっている。</p>	
<b>【改善策】</b>	
<p>これまでから実施している交通安全教室や街頭キャンペーンに加え、高齢者を対象とした交通安全教室を積極的に進める。また、中学生や高校生を対象に通学時の指導の強化や交通事故を防止する反射材等の配布により、交通事故の抑制を図る。</p> <p>交通安全施設については、工法も含め実施できる対策を見極めた上で通学路を中心に積極的に整備を進め、交通事故の起こりにくい環境づくりに取り組む。</p> <p>信号機や交通規制の強化については、粘り強く兵庫県警への要望を継続する。</p>	
<b>1次評価</b>	B

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

<b>【主要施策推進に対する意見】</b>	
<b>【改善すべき点】</b>	
<b>2次評価</b>	

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.56

政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
施 策	3	交通安全・防火体制の充実
主要施策	( 2 )	消防・救急体制の充実

■主要施策の所管

部等の名称	防災課			
-------	-----	--	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	消防、救急・救助体制を整備し、充実することにより、市民の生命と財産が守られています。
---------	--

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標1】

指 標	消防団員数（単位：人）							
指標の考え方	消防団員数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	1,219	1,227	1,236	1,244	1,252	1,261	1,269	B
目標値達成率		99.9%	98.5%					
(結果の分析)	消防団へのアンケートを分析し、消防団の必要性、活動内容を市民にPRしていく。							

【指標2】

指 標	火災発生件数（単位：件）							
指標の考え方	火災発生件数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年 基準値	(H24年)	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	評価
数 値	30	28	27	25	23	22	20	B
目標値達成率		116.7%	93.1%					
(結果の分析)	引き続き、防災意識の向上を図る。							

【指標3】

指 標	救急出動件数（単位：件）							
指標の考え方	救急車の出動件数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年 基準値	(H24年)	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	評価
数 値	1,518	1,515	1,512	1,509	1,506	1,503	1,500	B
目標値達成率		91.7%	85.3%					
(結果の分析)	出動内容の分析を行い、適正な出動要請がされるよう、更に啓発を行う。							



＜評価区分＞ A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 -：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
	施 策	3	交通安全・防火体制の充実
	主要施策	(2)	消防・救急体制の充実
	市の取組	①	消防体制の強化

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 消防体制の強化
取組方針	消防広域化の観点から、効率的かつ効果的な消防体制を構築し、北はりま消防組合と連携して計画的に消防施設や設備、資機材を整備するとともに、研修などにより消防業務に必要な資格取得や知識・技能の向上など人材育成を推進し、消防力を強化します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		578,535	624,518	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	569,436	615,419	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	9,099	9,099	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		14,550.3	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	常備消防事業					実績・評価
	所 管 課	防災課					
	事 業 概 要	北はりま消防組合負担金（消防署建設負担分を除く。）					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	加東消防署の運営に必要な経費のほか、H26.7月からのデジタル指令台運用開始に向け、システムの整備や組合庁舎の改修等に対する費用を負担した。
	一般財源	561,492	577,054				
	国・県						
	起 債						
そ の 他	9,099	9,099					
合計	570,591	586,153	0	0	0		
							評価指標（H25）
							指標名
							数値（上段：目標、下段：実績）
2	事務事業の名称	加東消防署新消防庁舎建設事業					実績・評価
	所 管 課	防災課					
	事 業 概 要	新消防庁舎の建設					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	新消防庁舎の建設に向け、建設候補地の土地鑑定及び測量業務に着手した。
	一般財源	7,944	38,365				
	国・県						
	起 債						
そ の 他							
合計	7,944	38,365	0	0	0		
							評価指標（H25）
							指標名
							数値（上段：目標、下段：実績）

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
	施 策	3	交通安全・防火体制の充実
	主要施策	(2)	消防・救急体制の充実
	市の取組	②	救急・救助体制の強化

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	② 救急・救助体制の強化
取組方針	加東消防署では、様々な救急需要に対応するために救急救命士を養成し、心肺停止などの重篤患者の救命率を向上させます。また、心肺蘇生法やAEDの使用など、応急手当技術を市民に広く普及し、救急・救助体制を強化します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		0	0	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	0	0	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		0.0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	救急・救助体制強化					実績・評価	
	所 管 課	加東消防署					・救急救命士を1人養成した。また、認定救急救命士養成のため5人が病院実習を行い、三次救命救急センターの病院研修に8人を派遣した。 ・心肺蘇生法やAEDの使用方法などの救命講習会を62回開催し、1,543人が受講した。一般市民の心肺蘇生法の実施率は約60%で、AED使用率は約5%であった。	
事 業 概 要	救急救命士等の養成、救命講習会の実施等							
(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）		
一般財源								
国・県						指標名		
起 債								
そ の 他						数値（上段：目標、下段：実績）		
合計	0	0	0	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
	施 策	3	交通安全・防火体制の充実
	主要施策	(2)	消防・救急体制の充実
	市の取組	③	火災予防体制の強化

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	③ 火災予防体制の強化
取組方針	事業所等に対して、防火対象物及び危険物施設の事故を防止するための査察を強化するとともに、防火管理者や危険物保安監督者を通じて消防設備・危険物施設の維持管理徹底を指導します。また、住宅火災の未然防止や初期消火のために、住宅用火災警報器の設置指導や防火講習会を強化・充実します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		0	0	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	0	0	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		0.0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	火災予防体制強化					実績・評価	
	所 管 課	加東消防署					防火対象物や危険物施設の事故を防止するための査察を225件実施し、うち52件について指導を行った。また、住宅火災の未然防止や初期消火のために防火講習会を78回実施し、7,884人が参加した。	
事 業 概 要	防火対象物等の事故防止のための査察、防火講習会等の実施							
(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）		
一般財源						指標名	数値（上段：目標、下段：実績）	
国・県								
起 債								
そ の 他								
合計	0	0	0	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
	施 策	3	交通安全・防火体制の充実
	主要施策	(2)	消防・救急体制の充実
	市の取組	④	消防団の強化・充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	④ 消防団の強化・充実
取組方針	災害に迅速・的確に対応するために、常備消防及び自主防災組織との連携を深めながら、各種の訓練を実施するとともに、様々な取組により消防団員を確保し、体制を強化します。また、消火栓や防火水槽などを消防力の基準に基づき計画的に整備するとともに、情報提供システムの構築を進めます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		123,877	142,824	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	68,624	77,268	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	35,000	36,900	0	0	0
	そ の 他	20,253	28,656	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		3,115.5	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	非常備消防事業					実績・評価
	所 管 課	防災課					
	事 業 概 要	加東市消防団運営、消防団員福利厚生、訓練等の実施					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	市内で発生した火災現場に出動し、消防署の支援及び初期消火活動を行った。また、台風シーズンには水防対策に3回出動したほか、年末警戒等の警戒活動を行った。  評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 消防団員数(人) 1,236 1,218
	一般財源	58,142	62,027				
	国・県						
	起 債						
そ の 他	20,253	28,656					
合計	78,395	90,683	0	0	0		
合計	78,395	90,683	0	0	0		
2	事務事業の名称	消防施設整備事業					実績・評価
	所 管 課	防災課					
	事 業 概 要	消防車両等の更新					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	消防車両等更新計画に基づき小型動力ポンプ付積載車2台、小型動力ポンプ無積載車1台、小型動力ポンプ4台を更新した。 また、東古瀬地区内に有蓋式の防火水槽を1基設置した。  評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績）
	一般財源	1,944	2,825				
	国・県						
	起 債	35,000	36,900				
そ の 他							
合計	36,944	39,725	0	0	0		
合計	36,944	39,725	0	0	0		

3	事務事業の名称	消防施設整備事業					実績・評価	
	所管課	防災課					市内にある消火栓1,376栓の維持管理を行った。	
	事業概要	消防施設、消防水利の維持管理						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	3,866	4,479				評価指標 (H25)	
	国・県							指標名
	起債							
その他								
合計	3,866	4,479	0	0	0			
4	事務事業の名称	消防施設整備事業					実績・評価	
	所管課	防災課					48地区に対して、消防ホース、ホース格納庫など、消防機器の購入補助を行った。	
	事業概要	地区が行う消防備品、施設等に係る補助						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	4,672	7,937				評価指標 (H25)	
	国・県							指標名
	起債							
その他								
合計	4,672	7,937	0	0	0			

■総合分析及び自己評価（1次評価）

<b>【評価、現状・課題認識】</b>	
<p>社会全体が少子高齢化しており、青壮年層の減少に伴って消防団員の確保が困難になっている。地域ごとに格差があるものの団員の高齢化や、市外への就労率の上昇による昼間の消火活動人員の不足など、消防団を取り巻く状況は厳しさを増している。</p> <p>一方で、平成25年に制定された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」により、ますます地域での消防団員の役割が重要となっていることから、今後一層の組織の充実強化に取り組まなければならない。</p> <p>また、加東消防署において、救急救命士の養成、心肺蘇生法やAEDの使用の普及促進、防火対象物や危険物施設の事故を防止するための査察、住宅火災の未然防止や初期消火のための防火講習会の開催などの取組を行うことにより、救急・救助体制や火災予防体制の強化を図ることができた。</p>	
<b>【改善策】</b>	
<p>市消防団幹部と市、加東消防本部がこれからの消防団のあり方の検討を進めている。現在課題を解決するための方策を議論しており、これらの方針を固めたうえで、区長会、市内企業、女性などの代表の参画による仮称「消防団のあり方検討委員会」を設置し、多方面からの意見を集約しながら、一方で消防団の重要性にも理解を求め、機能別消防団や女性消防団の設立なども踏まえて、地域の消防力及び防災力の充実に資する検討を行う。</p>	
1次評価	B

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

<b>【主要施策推進に対する意見】</b>	
<b>【改善すべき点】</b>	
2次評価	

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ

⇒総合計画 P.58

政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
施 策	4	災害に強いまちづくり
主要施策	( 1 )	防災・減災力の強化

■主要施策の所管

部等の名称	防災課	企画部		
-------	-----	-----	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	それぞれが災害や有事に際しての役割を認識し備えることで、災害に強い安全で安心して暮らせるまちを担っています。
---------	--

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標1】

指 標	防災対策の満足度（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる地震や風水害などの防災対策について満足と感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 73.5	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 80.0	評価
数 値	67.0	/	/	/	/	/	/	—
目標値達成率	/	/	/	/	/	/	/	—
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標2】

指 標	防災を意識する市民の割合（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる災害時の備えなどを意識している市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 62.0	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 70.0	評価
数 値	54.0	/	/	/	/	/	/	—
目標値達成率	/	/	/	/	/	/	/	—
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							




<評価区分> A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
	施 策	4	災害に強いまちづくり
	主要施策	(1)	防災・減災力の強化
	市の取組	①	総合的な防災施策の推進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 総合的な防災施策の推進
取組方針	地域防災計画、水防計画、国民保護計画に基づき、想定される様々な災害に備え、迅速かつ的確に対応できる防災体制、防災施設、防災備蓄を整備、確保します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		10,927	18,865	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	10,927	18,865	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		274.8	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	災害対策事業					実績・評価
	所 管 課	防災課					
	事 業 概 要	排水ポンプパッケージ運転維持管理					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	台風シーズンに4度の配備を行い内水被害対策を講じた。
	一般財源	1,385	6,000				
	国・県						
	起 債						
そ の 他							
合計	1,385	6,000	0	0	0		
評価指標（H25）							
指標名						数値（上段：目標、下段：実績）	
2	事務事業の名称	災害対策事業					実績・評価
	所 管 課	防災課					
	事 業 概 要	防災関係システム維持管理					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	土砂災害情報相互通報システム、衛生通信ネットワーク、ひょうご防災ネットシステムなどの運用を行った。
	一般財源	3,978	5,143				
	国・県						
	起 債						
そ の 他							
合計	3,978	5,143	0	0	0		
評価指標（H25）							
指標名						数値（上段：目標、下段：実績）	

3	事務事業の名称	災害対策事業					実績・評価	
	所管課	防災課					水害による家屋浸水被害者や、火災の被害者に見舞金を給付した。	
	事業概要	災害見舞金の支給						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	240	890				評価指標 (H25)	
	国・県							指標名
	起債							
その他								
合計	240	890	0	0	0			
4	事務事業の名称	災害対策事業					実績・評価	
	所管課	防災課					災害時の通信を確保する防災無線(移動系)の運用維持を行った。	
	事業概要	防災対策機器運用維持管理等						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	758	630				評価指標 (H25)	
	国・県							指標名
	起債							
その他								
合計	758	630	0	0	0			
5	事務事業の名称	災害対策事業					実績・評価	
	所管課	防災課					震災被害想定拡大に伴い、食料、飲料水、毛布などの備蓄資材を追加購入した。	
	事業概要	防災備蓄資材購入						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	3,814	5,909				評価指標 (H25)	
	国・県							指標名
	起債							
その他								
合計	3,814	5,909	0	0	0			
6	事務事業の名称	防災資材管理事業					実績・評価	
	所管課	防災課					中央防災備蓄倉庫のほか、市内10箇所の防災備蓄倉庫の維持管理を行った。	
	事業概要	防災資材の維持管理等						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	752	293				評価指標 (H25)	
	国・県							指標名
	起債							
その他								
合計	752	293	0	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
	施 策	4	災害に強いまちづくり
	主要施策	(1)	防災・減災力の強化
	市の取組	②	防災基盤の整備・充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	② 防災基盤の整備・充実
取組方針	防災無線の整備を含め、CATV網を活用した災害時情報ネットワークの構築など、情報提供手段の統一を進めます。また、携帯電話会社の「緊急情報メール」の活用や「公共情報 commons」により市民への様々な情報提供体制を確立します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		0	93,598	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	0	84,898	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	8,700	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		0.0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	有線テレビ施設整備事業					実績・評価
	所 管 課	地域情報センター					
	事 業 概 要	滝野地域音声告知放送受信機整備					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、 下段：実績）
	一般財源	0	54,000				
	国・県						
	起 債						
そ の 他							
合計	0	54,000	0	0	0		
2	事務事業の名称	災害対策事業					実績・評価
	所 管 課	防災課					
	事 業 概 要	デジタル防災行政無線（同報系）整備					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、 下段：実績）
	一般財源	0	3,828				
	国・県						
	起 債		8,700				
そ の 他							
合計	0	12,528	0	0	0		

3	事務事業の名称	災害対策事業（防災施設等整備事業）					実績・評価
	所 管 課	防災課					
	事 業 概 要	災害対策用通信機器整備					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	0	18,498				評価指標（H25）
	国・県						
	起 債						数値（上段：目標、 下段：実績）
そ の 他							
合計	0	18,498	0	0	0		
4	事務事業の名称	災害対策事業（内水対策調査事業）					実績・評価
	所 管 課	防災課					
	事 業 概 要	内水発生状況の調査・解析に伴う対策事業の実施					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	0	8,572				評価指標（H25）
	国・県						
	起 債						数値（上段：目標、 下段：実績）
そ の 他							
合計	0	8,572	0	0	0		

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
	施 策	4	災害に強いまちづくり
	主要施策	(1)	防災・減災力の強化
	市の取組	③	地域防災力の向上

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	③ 地域防災力の向上
取組方針	地域の実情を踏まえた防災訓練や講習会を実施するとともに、地域防災マップの作成を支援するなど自主防災組織を育成、強化します。また、引き続き学校と自主防災組織との合同訓練を実施し、学校と地域の防災力向上を支援します。さらに、民間企業も含め関係機関との災害協定締結を進めます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29
自主防災訓練参加人員	平常時から訓練を行うことで被害の軽減が見込めることから。	1,847	2,000	2,100	2,200	2,300

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		1,904	5,338	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	1,904	5,338	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		47.9	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	災害対策事業（総合防災訓練事業）					実績・評価
	所 管 課	防災課					
	事 業 概 要	総合防災訓練の実施					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	0	862				
	国・県						
	起 債						
そ の 他							
合計	0	862	0	0	0		
						評価指標（H25）	
						指標名	
						数値（上段：目標、下段：実績）	
2	事務事業の名称	災害対策事業（地域防災計画等の策定推進）					実績・評価
	所 管 課	防災課					
	事 業 概 要	地域防災計画、水防計画、国民保護計画の見直し、防災会議の開催					震災被害想定拡大に伴う各種計画の見直しを行った。
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	961	188				
	国・県						
	起 債						
そ の 他							
合計	961	188	0	0	0		
						評価指標（H25）	
						指標名	
						数値（上段：目標、下段：実績）	

3	事務事業の名称	災害対策事業（災害時要援護者支援）					実績・評価	
	所管課	防災課					災害時要援護者支援プランを策定し、福祉部局と連携しながら、要援護者へのアンケート実施、要援護者台帳の作成を行った。また、避難時に必要な情報や薬を持ち出すための「命のカプセル」の配布を行った。	
	事業概要	災害時要援護者の把握と支援者の調整						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	943	4,288				評価指標（H25）	
	国・県						指標名	数値（上段：目標、 下段：実績）
	起債							
	その他							
	合計	943	4,288	0	0	0		

■総合分析及び自己評価（1次評価）

【評価、現状・課題認識】	
<p>自主防災組織による防災訓練（1,847名参加）実施の支援、小学校と自主防災組織による合同防災訓練（延べ1,610名参加）の開催などにより、多くの市民の参加を得た。                  訓練のほかにも、市内5地区を対象に洪水被害想定をもとに対象地区内の避難場所や避難経路を検証するワークショップを開催した。                  一方で、これまで災害情報を伝達していた有線放送サービスが平成29年度からe o光サービスに完全移行することが決定したため、新たな災害情報伝達手段を確保する必要がある。</p>	
【改善策】	
<p>防災行政無線を整備し、市内の全世帯に戸別音声受信機を配備し、確実に災害情報を伝達する環境を整備する。</p>	

1次評価	B
------	---

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

【主要施策推進に対する意見】	
【改善すべき点】	

2次評価	
------	--

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.60

政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
施 策	5	防犯体制の強化
主要施策	( 1 )	防犯対策の充実

■主要施策の所管

部等の名称	防災課			
-------	-----	--	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	警察やまちづくり防犯グループなどと連携し、地域ぐるみの防犯活動に取り組み、犯罪のない安全なまちになっています。
---------	---

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	防犯体制を意識する市民の割合（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる自分の住まいなどの防犯体制を意識している市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 65.1	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 70.0	評価
数 値	60.2	/	/	/	/	/	/	—
目標値達成率	/	/	/	/	/	/	/	—
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 2】

指 標	防犯対策の満足度（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる防犯パトロールの実施や安全安心ネットのメール配信について満足と感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 78.4	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 80.0	評価
数 値	76.8	/	/	/	/	/	/	—
目標値達成率	/	/	/	/	/	/	/	—
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 3】

指 標	地域防犯・防災活動に参加する市民の割合（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる地域の防犯・防災活動に参加する市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 46.6	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 50.0	評価
数 値	43.1	/	/	/	/	/	/	—
目標値達成率	/	/	/	/	/	/	/	—
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							



<評価区分> A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
	施 策	5	防犯体制の強化
	主要施策	(1)	防犯対策の充実
	市の取組	①	地域ぐるみの防犯活動の推進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	①	地域ぐるみの防犯活動の推進
取組方針	警察やまちづくり防犯グループと連携した街頭キャンペーンや防犯パトロール、子ども見守り隊など、地域ぐるみの防犯活動に取り組みます。また、防犯灯については、これまでの地域からの要望による整備と省エネ対策としてのLED照明への転換だけでなく、通学路の安全確保の観点から重点的に整備します。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29
防犯灯の設置数	暗がりの解消による犯罪防止効果	4,664	4,800	4,900	5,000	5,100

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		29,352	62,925	0	0	0
財源内訳	一般財源	24,352	57,925	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	その他	5,000	5,000	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		738.2	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

		事務事業の名称					実績・評価	
1	事務事業の名称	防犯施設整備事業					市内の防犯灯のうち、交換可能な3,271灯をLED照明器具に交換した。地区要望のほか、通学路対策として市の直営による防犯灯を含め358灯の防犯灯を新設した。防犯カメラ4台の設置	
	所 管 課	防災課						
	事 業 概 要	通学路を中心とした防犯灯の整備・維持管理、防犯カメラ設置、センサーライト設置補助						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）	
	一般財源	24,352	57,925					
	国・県						指標名	数値（上段：目標、下段：実績）
	起債							
	その他	5,000	5,000				防犯灯の設置数(基)	4,664
合計	29,352	62,925	0	0	0		4,664	

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
	施 策	5	防犯体制の強化
	主要施策	(1)	防犯対策の充実
	市の取組	②	防犯対策の啓発

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	② 防犯対策の啓発
取組方針	講演会や広報紙をはじめCATVや携帯電話を活用し、迅速かつ的確に防犯情報を提供し、市民の防犯意識を高めるとともに、注意を喚起します。また、暴力団排除の取組を進めます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		3,202	3,108	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	3,202	3,108	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		80.5	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

		事務事業の名称					実績・評価	
1	事務事業の名称	防犯対策事業					犯罪発生情報の発信や防犯啓発活動、防犯協会への負担を行った。	
	所 管 課	防災課						
	事 業 概 要	犯罪予防対策（防犯啓発活動、地域防犯活動支援等）						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）	
	一般財源	3,202	3,108					
	国・県						指標名	数値（上段：目標、下段：実績）
	起 債							
そ の 他								
合計		3,202	3,108	0	0	0		

■総合分析及び自己評価（1次評価）

【評価、現状・課題認識】

環境省の補助事業を活用し、リース方式により市内の防犯灯の蛍光灯規格の照明を全てLED照明器具に交換した。  
また、市内の中学生から寄せられた通学路の安全確保対策要望のうち、40%相当の箇所に防犯灯を設置するとともに、市内3か所計4台の防犯カメラを設置した。

【改善策】

1次評価

A

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

【主要施策推進に対する意見】

【改善すべき点】

2次評価

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ

⇒総合計画 P.62

政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
施 策	5	防犯体制の強化
主要施策	( 2 )	消費者擁護と自立の促進

■主要施策の所管

部等の名称	市民安全部			
-------	-------	--	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	消費者教育や自己責任の啓発により、市民が消費生活に関する正しい知識を身に付け、自立した消費者になって、安全で安心に暮らせています。
---------	---

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	消費者の利益保護と相談体制充実の満足度（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる消費者の利益保護と相談体制の充実について満足と感じる市民の割合（※「普通」を除く。）							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	5.8	—	—	13.0	—	—	20.0	
目標値達成率		—	—		—	—		—
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 2】

指 標	消費者被害件数（単位：件）							
指標の考え方	消費者被害の件数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	80	89	124					
目標値達成率		84.3%	56.5%					D
（結果の分析）	インターネットトラブルや健康食品などの送り付け商法などの新たな手口による被害が増えたため。							

【指標 3】

指 標	消費者相談件数（単位：件）							
指標の考え方	消費者相談の件数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	105	97	153					
目標値達成率		89.8%	139.0%					A
（結果の分析）	全国的にもインターネットトラブルや健康食品などの送り付け商法などの被害が増えたこと。また、CATVの啓発番組の放送や広報等で消費生活相談窓口が身近な相談窓口として周知されたことにより、相談件数が増加した。							



＜評価区分＞ A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の政策体系	政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
	施 策	5	防犯体制の強化
	主要施策	(2)	消費者擁護と自立の促進
	市の取組	①	消費者教育・相談体制の充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 消費者教育・相談体制の充実
取組方針	市民が正しい知識や情報に基づいて、自らの的確な判断で購買活動が行えるように、消費生活に関する教育・啓発事業の実施や情報提供により、自立した消費者を育成します。また、消費者被害の救済や未然防止のために、消費生活問題に関する情報の提供や相談体制を充実します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		1,228	1,656	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	1,228	1,656	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		30.9	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	消費者行政推進事業					実績・評価	
	所 管 課	生活課					地域で消費生活に関するトラブルを解消できるよう、くらしの安全・安心推進員による出前講座及びKCVでの寸劇放送を継続する。	
	事 業 概 要	消費生活相談、消費者に対する教育及び啓発事業						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）	
	一般財源	1,228	1,656					
	国・県						指標名	数値（上段：目標、下段：実績）
	起 債						消費者被害の件数(件)	70
そ の 他							124	
合計	1,228	1,656	0	0	0			
2	事務事業の名称	上記同様					実績・評価	
	所 管 課						出前講座7回/年、KCVで寸劇放送3回/年、広報掲載6回/年実施した。高齢者を中心に相談がしやすく、開かれた相談窓口となるよう、犯罪被害防止のための啓発活動を行った結果、相談件数が増えた。	
	事 業 概 要							
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）	
	一般財源							
	国・県						指標名	数値（上段：目標、下段：実績）
	起 債						消費者相談の件数(件)	110
そ の 他							153	
合計	0	0	0	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅱ	『安全』 人と自然が調和した 安全なまち
	施 策	5	防犯体制の強化
	主要施策	(2)	消費者擁護と自立の促進
	市の取組	②	消費者行政の推進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	② 消費者行政の推進
取組方針	生活用品や商品量目など関係法令に基づく立入検査を実施し、消費生活の安全を確保します。また、消費者の啓発活動や暮らしの改善、消費者力向上に取り組む消費者グループなどの自主的な活動を支援します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		360	360	0	0	0
財源内訳	一般財源	360	360	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		9.1	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	消費者団体指導、育成					実績・評価	
	所 管 課	生活課					消費者団体から新たに3人の「くらしの安全・安心推進員」を育成することができた。 今後、地域で消費生活に関するトラブルを解決できるよう団体の指導、育成を図ることが重要である。	
事 業 概 要	消費者協会の活動に対する補助							
(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）		
一般財源	360	360				指標名	数値（上段：目標、下段：実績）	
国・県								
起債								
その他								
合計	360	360	0	0	0			

■総合分析及び自己評価（1次評価）

<b>【評価、現状・課題認識】</b>	
<p>消費者トラブルを未然防止する上で、啓発事業の役割は重要である。特に出前講座をはじめとする各種啓発活動や情報発信については、くらしの安全・安心推進員、消費者生活相談員とともに、様々な手法により情報発信し、広く市民に向け継続的に教育啓発に努めるなど、きめ細やかな事業を実施してきた。</p> <p>特に情報の届きにくい高齢者に対し、地域へ出向く手法の出張・出前講座をきめ細かく実施することや必要な人に確実に情報を提供してきた。</p> <p>消費者被害の防止と救済を図るために、専門の相談員による消費生活に対する問い合わせや苦情・要望など様々な相談を受け付け、問題解決に向けて助言やあっせんを行っている。</p>	
<b>【改善策】</b>	
<p>消費生活に関する様々な相談に適正に対応するため、常に最新情報の収集に努め、知識を深め、相談者の問題解決に取り組む。また、関係機関との連携を深め、消費者被害の防止と救済を図っていく。</p> <p>情報化の進展により複雑・高度化した消費者問題に、消費者の主体性、合理的な行動を促し必要な知識の普及、啓発のため、特に若年層・高齢者を対象とした教育啓発が必要である。</p> <p>消費者啓発事業は、具体的な数値等による成果として捉えにくく、即効性が期待できるものではないことから、継続的な取組の積み重ねが重要である。今後、相談状況の動向を見ながら、対象者を絞って必要な人に必要な情報を提供できるよう、くらしの安全・安心推進員、消費者生活相談員とともに協働で取り組んでいく。</p> <p>近年、子どもから高齢者まで、誰もが消費者トラブルに巻き込まれる危険性が高まっており、市民の安心・安全を守る消費生活相談事業の役割は重要である。また、複雑化・深刻化する相談内容に対応するためには、最新情報の収集や相談員の資質向上が不可欠であり、継続した事業推進を図る。</p>	
1次評価	B

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

<b>【主要施策推進に対する意見】</b>	
<b>【改善すべき点】</b>	
2次評価	

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.64

政 策	Ⅲ 『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
施 策	1 子育て支援の充実
主要施策	( 1 ) 親子の健康づくり

■主要施策の所管

部等の名称	福祉部	市民安全部		
-------	-----	-------	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	健康で安心して子どもを産み育てる環境が整っています。
---------	----------------------------

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	子育て支援の取組に対する満足度（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる地域や家庭での子育て支援の取組について満足と感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 79.3	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 80.0	評価
数 値	78.5							—
目標値達成率								
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 2】

指 標	3歳児健診受診率（単位：％）							
指標の考え方	3歳児健康診査を受けた幼児の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 98.5	H25年度 98.8	H26年度 99.1	H27年度 99.4	H28年度 99.7	H29年度 100.0	評価
数 値	98.2	97.7	97.2					B
目標値達成率		99.2%	98.4%					
（結果の分析）	H23, 24年度に比べ受診率はやや低下しているが、健診未受診者全員への受診勧奨や状況把握に努めている。							

【指標 3】

指 標	育児支援等連絡票による支援件数（単位：件）							
指標の考え方	課題のある妊産婦を早期に把握し、支援した件数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 13	H25年度 14	H26年度 14	H27年度 14	H28年度 15	H29年度 15	評価
数 値	13	14	30					A
目標値達成率		107.7%	214.3%					
（結果の分析）	支援も全数行っており、連絡票の件数は大きく増加した。H25年度は未熟児訪問が権限委譲となり件数は増加した。平成26年度からハイリスク妊婦への支援体制の充実を図る。							

【指標 4】

指 標	朝食の摂取率（単位：％）							
指標の考え方	アンケートによる朝ごはんを食べる5歳児の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 89.0	H25年度 89.8	H26年度 90.6	H27年度 91.4	H28年度 92.2	H29年度 93.0	評価
数 値	88.2	86.9	89.7					B
目標値達成率		97.6%	99.9%					
（結果の分析）	毎日朝食を摂取している割合が増加している。朝食摂取の必要性について引き続き園との連携により啓発を強化する。							

【指標 5】

指 標	定期予防接種の接種率（単位：％）							
指標の考え方	感染症予防の充実							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 85.8	H25年度 86.6	H26年度 87.5	H27年度 88.3	H28年度 89.2	H29年度 90.0	評価
数 値	84.9	60.4	98.6					A
目標値達成率		70.4%	113.9%					
（結果の分析）	平成17年度から平成21年度までは日本脳炎の予防接種が差し控えにより、接種率が低下している。個別通知や広報等で接種勧奨を行い、平成25年度の目標は達成している。引き続き乳幼児健診等で啓発を強化する。							

＜評価区分＞ A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	1	子育て支援の充実
	主要施策	(1)	親子の健康づくり
	市の取組	①	出産・子育て環境の充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	①	出産・子育て環境の充実
取組方針	妊産婦訪問や乳幼児健診により様々な課題がある親子については、関係機関と連携しながら継続して支援するとともに、毎月の子育て何でも相談への参加を勧めたり、専門スタッフによる相談（課題解決）につなげていきます。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		32,538	40,452	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	32,526	40,439	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	その他	12	13	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		818.3	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

	事務事業の名称		実績・評価				
	1	妊産婦支援事業	健康課	長期による他市町への里帰りや出生後短期間での転出により、全戸訪問は達成できず、未訪問児の状況把握により100%を目指す。			
	事業概要	母子・父子健康手帳交付と新生児訪問（未熟児訪問）による出産・育児支援					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）
	一般財源	1,231	1,333				指標名
	国・県						数値（上段：目標、下段：実績）
	起 債						新生児・乳児家庭全戸
	その他						100
	合計	1,231	1,333	0	0	0	訪問実施率（%）
							97
2	乳幼児健診	健康課	個別通知により受診勧奨、未受診児に対しては電話や訪問による状況確認と受診勧奨に努め、100%の確認を目指す。				
	事業概要	4か月児、1歳6か月児、3歳児健診の実施による病気の早期発見と育児支援					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）
	一般財源	3,393	3,937				指標名
	国・県						数値（上段：目標、下段：実績）
	起 債						4ヶ月児健診
	その他						1歳6ヶ月児健診
	合計	3,393	3,937	0	0	0	3歳児健診 受診率（%）
							全て 100
							4ヶ月99.8、1歳6ヶ月98.9、3歳97.2

3	事務事業の名称	育児教室・相談					実績・評価
	所管課	健康課					10か月児相談、2歳児育児教室は全て参加率が増加した。パパママクラスは年4回実施し、合計29組の参加があった。勸奨も行い参加者数の増加を目指す。
	事業概要	パパママクラス、10か月児相談、2歳児育児教室、食育教室、子育て何でも相談等の実施					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	1,780	2,009				<b>評価指標 (H25)</b> <b>指標名</b>   数値 (上段: 目標、下段: 実績) パパママクラスの参加率   パパママ55、 10か月児相談   10か月96、2歳児 2歳児教室参加率 (%)   パパママ48.3、10か 月95.3、2歳児88.5
	国・県						
	起債						
	その他	12	13				
合計	1,792	2,022	0	0	0		
4	事務事業の名称	妊婦健康診査事業					実績・評価
	所管課	健康課					母子健康手帳交付時に定期受診の重要性を説明し、助成を行うことで100%達成、引き続き受診促進を行う。
	事業概要	妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図るための妊婦健康診査費の助成					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	23,630	30,160				<b>評価指標 (H25)</b> <b>指標名</b>   数値 (上段: 目標、下段: 実績) 妊婦健診受診率 (%)   100 100
	国・県						
	起債						
	その他						
合計	23,630	30,160	0	0	0		
5	事務事業の名称	不妊治療助成事業					実績・評価
	所管課	健康課					加東市の体外受精による出生児の割合は、66.7%と県の30% (平成21年1月末兵庫県資料) に比し高く、効果が見られる。引き続き継続していく。
	事業概要	特定不妊治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減するための治療に要する費用の助成					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	2,492	3,000				<b>評価指標 (H25)</b> <b>指標名</b>   数値 (上段: 目標、下段: 実績) 助成者のうち、母子健康手帳交付率 (%)   30 66.7
	国・県						
	起債						
	その他						
合計	2,492	3,000	0	0	0		

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	1	子育て支援の充実
	主要施策	(1)	親子の健康づくり
	市の取組	②	生活習慣の確立と食習慣の形成

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	②	生活習慣の確立と食習慣の形成
取組方針	「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進するとともに、乳幼児から児童・生徒までを対象とした食育や思春期対策を充実し、子どもが健やかに成長できる環境づくりを進めます。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		246	329	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	246	329	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		6.2	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	母子健康づくり事業					実績・評価	
	所 管 課	健康課					平成25年度の参加者は約8割であり、参加率の増を目指すことで、規則正しい生活習慣の確率を促す。	
事 業 概 要	保育園・幼稚園との連携による「早寝・早起き・朝ごはん運動」等の推進							
(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）		
一般財源	246	329				指標名		
国・県						早寝・早起き・朝ごはんの参加率（%）	数値（上段：目標、 下段：実績）	
起 債							85	
そ の 他		0				80.7		
合計	246	329	0	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	1	子育て支援の充実
	主要施策	(1)	親子の健康づくり
	市の取組	③	感染症の予防

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	③	感染症の予防
取組方針	CATVや広報紙を活用し、正しい知識の普及に努めるとともに、定期予防接種の接種率を向上します。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費 (千円)		86,331	122,376	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	86,331	122,376	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト (円)		2,171.2	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口 (3月31日現在) (人)		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	予防接種事業					実績・評価
	所 管 課	健康課					
	事 業 概 要	伝染病のおそれがある疾病の発生、まん延を予防するために予防接種を行う。					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	平成25年度の接種率は、ほぼ目標値を達成している。今後も引き続き、広報紙や個別通知、健診等で啓発を行っていく。  評価指標 (H25) 指標名 数値 (上段:目標、下段:実績) 四種混合、三種混合、不活化ポリオ、麻しん風しん混合等 接種率 (%) 100 92.8
	一般財源	47,781	112,350				
	国・県						
	起 債						
そ の 他							
合計	47,781	112,350	0	0	0		
2	事務事業の名称	ワクチン接種事業					実績・評価
	所 管 課	健康課					
	事 業 概 要	伝染病のおそれがある疾病の発生、まん延を予防するために予防接種を行う。					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	平成25年度の接種率は、ほぼ目標値を達成している。今後も引き続き、広報紙や個別通知、健診等で啓発を行っていく。  評価指標 (H25) 指標名 数値 (上段:目標、下段:実績) ヒブワクチン、小児肺炎球菌、子宮頸がんワクチン 接種率 (%) 100 107.2
	一般財源	38,550	0				
	国・県						
	起 債						
そ の 他							
合計	38,550	0	0	0	0		

3	事務事業の名称	おたふくかぜ予防事業					実績・評価	
	所管課	健康課						
	事業概要	おたふくかぜを予防するために、接種費用を全額助成						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	0	10,026					
	国・県 起債						評価指標 (H25)	
	その他						指標名	数値 (上段: 目標、 下段: 実績)
	合計	0	10,026	0	0	0		

■総合分析及び自己評価（1次評価）

【評価、現状・課題認識】	
<p>妊娠期から切れ目のない支援を通じて安心して子どもを産み、健やかに成長できるよう事業を進めている。出産後早期の乳幼児訪問も全戸訪問を行っている。 乳幼児健診の受診率は約99%であるが、残りの未受診者に対しても確認を行い全数把握を行っている。子どもが病気にかからないための定期予防接種においては99.8%であるが目標値（100%）をめざしている。発達障害児早期支援事業により新たな対象児の発見ができ早期に支援が開始できている。</p>	
【改善策】	
<p>このまま、着実に事業を進めていきたい。</p>	
1次評価	A

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

【主要施策推進に対する意見】	
【改善すべき点】	
2次評価	

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.66

政 策	Ⅲ 『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
施 策	1 子育て支援の充実
主要施策	( 2 ) 子育て支援サービスの充実

■主要施策の所管

部等の名称	福祉部	市民安全部		
-------	-----	-------	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	子どもや子育てに関する悩みや不安を相談できる環境が整い、地域で安心して子育てすることにより、子どもたちがすくすくと成長しています。
---------	---

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	子育て支援に関わった市民の割合（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる市民相互の子育て支援に関わった市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 11.2	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 15.0	評価
数 値	7.4	/	/	/	/	/	/	—
目標値達成率	/	/	/	/	/	/	/	—
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 2】

指 標	子育て支援の取組に協力する市民の割合（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる子育て支援の取組に協力する市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 35.5	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 40.0	評価
数 値	31.0	/	/	/	/	/	/	—
目標値達成率	/	/	/	/	/	/	/	—
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 3】

指 標	認定こども園設置数（単位：園）							
指標の考え方	幼保一元化の推進							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 0	H25年度 0	H26年度 0	H27年度 1	H28年度 1	H29年度 3 (1)	評価
数 値	—	0	0	/	/	/	/	—
目標値達成率	/	/	/	/	/	/	/	—
（結果の分析）	現在は、手続き等について、文科省と厚労省の手続きが必要なため、移行希望園がない。							

【指標 4】

指 標	児童館来館者数（単位：人）							
指標の考え方	子育てで児童館を活用する親子の人数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 65,510	H25年度 66,408	H26年度 67,306	H27年度 68,204	H28年度 69,102	H29年度 70,000	評価
数 値	64,612	63,401	69,064	/	/	/	/	A
目標値達成率	/	96.8%	104.0%	/	/	/	/	/
（結果の分析）	来館者数は増えているが、保育所の入所年齢が低くなってきたため、平日の来館者が減ってきて							

【指標 5】

指 標	ファミリーサポート会員数（単位：人）							
指標の考え方	ファミリーサポート協力会員数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 271	H25年度 291	H26年度 311	H27年度 331	H28年度 351	H29年度 371	評価
数 値	251	273	286	/	/	/	/	B
目標値達成率	/	100.7%	98.3%	/	/	/	/	/
（結果の分析）	健診会場でのチラシ配布や広報掲載等によりPRIにつとめた成果							

＜評価区分＞ A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	1	子育て支援の充実
	主要施策	(2)	子育て支援サービスの充実
	市の取組	①	子育て関係施設の基盤整備

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	①	子育て関係施設の基盤整備
取組方針	保育所やアフタースクール、児童館を、安全かつ快適に利用できる施設として適正に管理運営するとともに、共働き家庭やひとり親の就労を支援するなど、より一層の利便性向上を目指して、機能やサービスを充実していきます。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		932,681	971,770	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	229,632	249,646	0	0	0
	国・県	357,573	381,564	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	345,476	340,560	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		23,457.2	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	放課後児童健全育成事業					実績・評価
	所 管 課	子育て支援課					平成25年度から受け入れを小学校4年生までに拡大し、保護者の就労支援を実施 4年生の月平均利用人数21人
	事 業 概 要	保護者の仕事と子育てを両立するために、放課後に児童を安全に預かる事業の実施					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	11,821	8,701				評価指標（H25）
	国・県	18,597	19,597				
	起 債						指標名
そ の 他	19,911	22,275				数値（上段：目標、 下段：実績）	
合計	50,329	50,573	0	0	0		
2	事務事業の名称	公立保育所運営事業					実績・評価
	所 管 課	子育て支援課					公立4園で、特別保育（延長・一時預かり・障害児保育）、また、保育園で休日保育を実施した。 休日保育利用人数 延べ13人/年
	事 業 概 要	公立4保育所での通常保育及び特別保育の実施					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	15,934	20,819				評価指標（H25）
	国・県	2,273	2,891				
	起 債						指標名
そ の 他	14,886	11,797				数値（上段：目標、 下段：実績）	
合計	33,093	35,507	0	0	0		

3	事務事業の名称	児童館運営事業					実績・評価
	所管課	子育て支援課					広報かとうやかとう子育てねっとを活用し、情報発信に努めた。結果、入館目標値を達成した。
	事業概要	0歳児から就学前の子どもと保護者を対象とした親子活動の実施と児童館の管理運営					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	3,161	6,391				評価指標 (H25)
	国・県	3,787	63				
	起債						来館者数(人)
その他						数値 (上段:目標、 下段:実績)	
合計	6,948	6,454	0	0	0	66,408 69,064	
4	事務事業の名称	保育所運営事業					実績・評価
	所管課	子育て支援課					障害児等保育事業の補助金が年々増加しているため、事業の見直しを行う必要がある。
	事業概要	私立保育所への運営補助と、特別保育への補助等					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	194,641	168,132				評価指標 (H25)
	国・県	328,299	314,735				
	起債						数値 (上段:目標、 下段:実績)
その他	310,679	306,488					
合計	833,619	789,355	0	0	0		
5	事務事業の名称	私立保育所施設整備事業					実績・評価
	所管課	子育て支援課					雨漏り等への対応の為、泉保育園の屋根改修工事を実施した。
	事業概要	安心こども基金における保育所緊急整備事業、市単独補助による私立保育所施設の整備					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	4,075	45,603				評価指標 (H25)
	国・県	4,617	44,278				
	起債						数値 (上段:目標、 下段:実績)
その他							
合計	8,692	89,881	0	0	0		

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	1	子育て支援の充実
	主要施策	(2)	子育て支援サービスの充実
	市の取組	②	多様な子育て支援サービス

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	② 多様な子育て支援サービス
取組方針	児童館でのひろば事業やファミリーサポートセンターによる相互援助活動、家庭での育児・家事の支援、育児不安の解消、子どもの養育困難時の短期施設入所など、子育てに関する様々な支援を実施します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		739,787	797,895	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	133,738	132,067	0	0	0
	国・県	605,963	665,719	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	86	109	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		18,605.8	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	児童福祉事業					実績・評価
	所 管 課	子育て支援課					
	事 業 概 要	家庭児童相談室					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	要保護児童対策地域協議会の運営、構成機関の連携に努めた。
	一般財源	489	1,138				
	国・県						
	起 債						
そ の 他							
合計	489	1,138	0	0	0		
評価指標（H25）	指標名					数値（上段：目標、下段：実績）	
2	事務事業の名称	児童福祉事業					実績・評価
	所 管 課	子育て支援課					
	事 業 概 要	子ども・子育て会議の運営					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	8月開催の次世代育成支援対策地域協議会において「子ども・子育て会議」への移行とスケジュールを示した。子ども・子育て会議は年度内に2回（11月・3月）開催
	一般財源		384				
	国・県						
	起 債						
そ の 他							
合計	0	384	0	0	0		
評価指標（H25）	指標名					数値（上段：目標、下段：実績）	

3	事務事業の名称	児童福祉事業					実績・評価
	所管課	子育て支援課					児童館での事業の紹介・事業報告等を実施したことにより、児童館来館者数の増加に繋がった。
	事業概要	子育て連絡ネットワーク事業					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	789	795				評価指標 (H25)
	国・県						
	起債						指標名
その他						数値 (上段: 目標、 下段: 実績)	
合計	789	795	0	0	0		
4	事務事業の名称	児童福祉事業					実績・評価
	所管課	子育て支援課					年間延べ69日の利用があった。次年度は、さらに事業内容のPRに努め、育児支援に努める。
	事業概要	子育て短期支援事業					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	1,322	1,286				評価指標 (H25)
	国・県	2,019	3,278				
	起債						指標名
その他	0	13				数値 (上段: 目標、 下段: 実績)	
合計	3,341	4,577	0	0	0		
5	事務事業の名称	児童福祉事業 (誕生祝品支給事業)					実績・評価
	所管課	子育て支援課					26年度から実施
	事業概要	出産を奨励し、次代を担う子どもの出産を祝福し、出産祝い品を支給					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	0	1,130				評価指標 (H25)
	国・県						
	起債						指標名
その他						9割に支給	
合計	0	1,130	0	0	0	数値 (上段: 目標、 下段: 実績)	
6	事務事業の名称	ファミリーサポートセンター事業					実績・評価
	所管課	子育て支援課					利用件数 H24年度 1,015件 H25年度 1,096件で利用件数は増加しているが、今後は協力会員の資質向上のための研修を強化する。
	事業概要	育児に支援が必要な者と、支援できる者との相互援助活動の支援					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	3,010	2,127				評価指標 (H25)
	国・県	1,000	1,000				
	起債						指標名
その他						ファミリーサポート会 員数 (人)	
合計	4,010	3,127	0	0	0	291 286	
7	事務事業の名称	児童手当事業					実績・評価
	所管課	子育て支援課					年間で述べ62,337人に児童手当を支給した。
	事業概要	0歳から中学校修了前までの児童を対象にした児童手当の支給					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	112,337	105,971				評価指標 (H25)
	国・県	585,822	589,897				
	起債						指標名
その他						数値 (上段: 目標、 下段: 実績)	
合計	698,159	695,868	0	0	0		

8	事務事業の名称	子育て支援センターホスピタリティ空間創造事業					実績・評価
	所管課	子育て支援課					プラネタリウムの実施（1日5回投影・65名参加） 夏の恒例事業となり、参加者からの評価が高いため、次年度も継続実施予定
	事業概要	親同士の交流や、家族間の交流促進。リラックスした時間を過ごせる空間の創造と提供					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	235	527				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績）
	国・県						
	起債						
その他	86	96					
合計	321	623	0	0	0		
9	事務事業の名称	つどいの広場事業					実績・評価
	所管課	子育て支援課					年間参加者数 述べ8,952人 新規事業として「えいごであそぼう教室」を実施
	事業概要	子育て中の親子に、学習・交流・集いの場の提供を行う					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	14,314	14,929				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績）
	国・県	13,260	13,260				
	起債						
その他							
合計	27,574	28,189	0	0	0		
10	事務事業の名称	保育所運営事業					実績・評価
	所管課	子育て支援課					対象者全員に支給を行った。
	事業概要	多子世帯への保育料補助					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	18					評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績）
	国・県	3,862	3,810				
	起債						
その他							
合計	3,880	3,810	0	0	0		
支給率（%）						100 100	
11	事務事業の名称	子育て世帯臨時特例給付金給付事業					実績・評価
	所管課	子育て支援課					平成26年度事業
	事業概要	消費税率引上げに伴う対象児童を養育する親（世帯）に対して給付金を支給					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	0	0				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績）
	国・県		54,474				
	起債						
その他							
合計	0	54,474	0	0	0		
12	事務事業の名称	子ども・子育て支援事業計画策定事業					実績・評価
	所管課	子育て支援課					平成25年度においてアンケートの単純集計を終了した。 子ども子育て会議2回開催した。
	事業概要	子ども・子育て支援事業計画の策定					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	1,224	3,780				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績）
	国・県						
	起債						
その他							
合計	1,224	3,780	0	0	0		

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	1	子育て支援の充実
	主要施策	(2)	子育て支援サービスの充実
	市の取組	③	就学前教育の充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	③ 就学前教育の充実
取組方針	子育て担当部署や教育委員会、保育所、幼稚園など関係機関が共通認識を持って、幼保一元化を基本とした就学前教育の充実に取り組みます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		0	0	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	0	0	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		0.0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

		事務事業の名称					実績・評価	
1	事務事業の名称	児童福祉事業					私立保育園11園中、8園が移行の意思を表明 子ども・子育て会議の中で就学前教育・保育についての検討部会を立ち上げる方向で調整した。	
	所 管 課	子育て支援課						
	事 業 概 要	就学前教育の充実(認定こども園への移行)						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績）	
	一般財源	0	0					
	国・県							
	起 債							
そ の 他								
合計	0	0	0	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	1	子育て支援の充実
	主要施策	(2)	子育て支援サービスの充実
	市の取組	④	子ども医療の充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	④	子ども医療の充実
取組方針	子どもの医療費の無料化とともに、地域の子ども医療を守る観点から、時間外の緊急性のない安易な医療機関の受診（以下「コンビニ受診」とします。）抑制などを啓蒙します。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		187,434	204,423	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	128,241	146,646	0	0	0
	国・県	59,193	57,777	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		4,714.0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	乳幼児等医療費給付事業					実績・評価
	所 管 課	保険・医療課					乳幼児等に係る医療費の全額助成をすることで、乳幼児の福祉の増進を図った。コンビニ受診及び軽症受診の抑制の啓発を行った。 対象人数 3,441人
	事 業 概 要	乳幼児等に対する医療費の助成					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	77,413	86,505				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績）
	国・県	42,339	40,594				
	起 債						
そ の 他							
合計	119,752	127,099	0	0	0		
2	事務事業の名称	こども医療費給付事業					実績・評価
	所 管 課	保険・医療課					25年1月から全額助成。こどもに係る医療費の全額助成をすることで、こどもの福祉の増進を図った。コンビニ受診及び軽症受診の抑制の啓発を行った。 対象人数 2,087人
	事 業 概 要	こどもに対する医療費の助成					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	41,108	47,138				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績）
	国・県	8,617	9,395				
	起 債						
そ の 他							
合計	49,725	56,533	0	0	0		

3	事務事業の名称		母子家庭等医療費 給付事業				実績・評価	
	所 管 課		保険・医療課				母子家庭、父子家庭及び遺児に係る 医療費の一部を給付することによ り、母子家庭等の自立促進施策の充 実及びその福祉の増進を図った。 対象人数 476人	
	事 業 概 要		母子家庭等に対する医療費の助成					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	9,269	11,377				評価指標 (H25)	
	国・県	6,348	5,088				指標名	
	起 債						数値 (上段：目標、 下段：実績)	
	その他							
合計	15,617	16,465	0	0	0			
4	事務事業の名称		未熟児養育医療事業				実績・評価	
	所 管 課		保険・医療課				25年度からの新規補助事業 国 1/2 県 1/4 市 1/4で実 施 実績 助成未熟児数7人であった。	
	事 業 概 要		入院養育が必要な未熟児にかかる医療費の一 部負担金の全額助成					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	451	1,626				評価指標 (H25)	
	国・県	1,889	2,700				指標名	
	起 債						数値 (上段：目標、 下段：実績)	
	その他							
合計	2,340	4,326	0	0	0			

■総合分析及び自己評価（1次評価）

<b>【評価、現状・課題認識】</b>	
<p>あらゆる子育て支援で、成果を上げてきている。家庭状況、子どもの身体的状況など、それぞれのニーズが異なる中、門戸を広げ、サービスの提供に努めた。</p> <p>また、次代の加東市が必要とする子育てサービスを計画的に推し進めるための会議や計画策定の事務も推し進め、次年度へと引き継いだ。</p> <p>ただ、近年、DVなどによる要保護児童の問題が増え、かつ複雑化し、関係機関との連携はもとより、一つ一つの事例に奥深くまで向き合わないといけない事象も増えてきており、専門的に扱う人材の確保、育成が必要になってきていると感じている。</p>	
<b>【改善策】</b>	
<p>都市化とともに、子どもに関わる問題も増加・複雑化し、DV防止対策を含め、早期の動き出し、対応が重要と考えている。</p>	

1次評価	A
------	---

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

<b>【主要施策推進に対する意見】</b>	
<b>【改善すべき点】</b>	

2次評価	
------	--

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.68

政 策	Ⅲ 『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
施 策	1 子育て支援の充実
主要施策	( 3 ) 要支援児童対策の充実

■主要施策の所管

部等の名称	福祉部	市民安全部		
-------	-----	-------	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	子ども一人ひとりに対して適切に関わり、支援できる環境を整えることにより、全ての子どもが健やかでいきいきと成長しています。
---------	--

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	保育所で問題行動のある児童の割合（単位：％）							
指標の考え方	障害児等保育事業を強化・充実し、問題行動を改善することによる対象児童数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 3.03	H25年度 4.14	H26年度 4.14	H27年度 4.14	H28年度 4.14	H29年度 4.14 (3.03)	評価
数 値	3.03	4.14	7.30					D
目標値達成率		73.2%	56.7%					
（結果の分析）	対象児童が24年度に比べ17名増加したことによる。							

【指標 2】

指 標	要支援児童のサポートファイルの作成数（単位：件）							
指標の考え方	何らかの支援が必要な児に対して幼児期から必要な支援を継続して実施するためのサポートファイルの作成実績							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 175	H25年度 191	H26年度 208	H27年度 225	H28年度 241	H29年度 258	評価
数 値	158	198	208					A
目標値達成率		113.1%	108.9%					
（結果の分析）	保育園の登録者が増員したのと、保護者の理解と関係機関の協力もあり増となっている。							

【指標 3】

指 標	乳幼児発達相談利用者数（単位：人）							
指標の考え方	乳幼児発達相談の利用者数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 229	H25年度 229	H26年度 230	H27年度 230	H28年度 230	H29年度 230	評価
数 値	229	226	221					B
目標値達成率		98.7%	96.5%					
（結果の分析）	発達相談利用数はH23年度とほぼ同等であり、医師等により専門の相談を行っている。今後も必要とする対象者が利用しやすいよう丁寧に支援をしていく。							

【指標 4】

指 標	要保護児童数（単位：人）							
指標の考え方	児童虐待防止啓発・要保護児童対策地域協議会の活動による要保護児童数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 246	H25年度 246	H26年度 246	H27年度 246	H28年度 246	H29年度 246	評価
数 値	246	264	229					B
目標値達成率		107.3%	93.1%					
（結果の分析）	虐待や虐待の疑いのあるものの相談件数は増加しているが、育児相談も含めた子育て支援全般の相談が減ったため減少している。							


＜評価区分＞ A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 -：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	1	子育て支援の充実
	主要施策	(3)	要支援児童対策の充実
	市の取組	①	障害の発見、早期支援

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 障害の発見、早期支援
取組方針	発達に課題のある子どもと保護者に対し、育児の不安や困難感を軽減できるよう相談支援するほか、療育事業により小集団を通して子ども自身が持つ成長の芽を引き出します。また、3歳児健診以降も発達障害児早期支援事業を通して保健、医療、福祉、保育、教育が連携し、切れ目なく支援します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		2,141	2,241	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	2,131	2,227	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	10	14	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		53.8	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	発達支援事業					実績・評価			
	所 管 課	健康課					発達障害の早期発見及び早期支援について、発達相談を通して支援の充実を図っている。			
事 業 概 要	精神・運動面等の発達に遅れがみられる幼児について専門家による診察、相談、療育教室の実施									
(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）				
一般財源	1,842	1,889				指標名			数値（上段：目標、下段：実績）	
国・県						発達相談受診数（人）			229	
起 債							221			
そ の 他	10	14								
合計	1,852	1,903	0	0	0					
2	事務事業の名称	発達障害児早期支援事業					実績・評価			
	所 管 課	健康課					平成25年度のアンケート実施者は375人中369人（98.4%）であった。未回収6人については状況確認に努め全数への支援を行った。			
	事 業 概 要	5歳児を対象に、発達に課題のある幼児が就学期へスムーズに移行できるよう支援								
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			評価指標（H25）	
	一般財源	289	338						指標名	数値（上段：目標、下段：実績）
	国・県								発達相談のアンケート回収率（%）	100
	起 債							98.4		
そ の 他										
合計	289	338	0	0	0					

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	1	子育て支援の充実
	主要施策	(3)	要支援児童対策の充実
	市の取組	②	要支援児童施策の充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	②	要支援児童施策の充実
取組方針	サポートファイルを活用し、子ども発達支援連絡会などを通じた関係機関との連携により、幼児期から必要な支援を継続して実施します。また、兵庫教育大学との連携により全ての保育所で特別支援保育コーディネーターを育成し、保育士の技能と保育環境を向上し、全ての園児に対応していきます。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		210	0	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	151	0	0	0	0
	国・県	59	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		5.3	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称		実績・評価				
		保育所運営事業					
	所 管 課	子育て支援課	市内保育所に特別支援保育コーディネーターを養成。年2回の保育所巡回を実施。障害児等保育研修4回、スキルアップ研修3回、保育関係職員研修3回、コーディネーター連絡会1回を実施。今後も、主任保育士会が中心になり、取り組んでいく。				
	事 業 概 要	障害児等保育					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	151	0				
	国・県	59	0				
	起 債						
	そ の 他						
	合計	210	0	0	0	0	
		評価指標（H25）					
		指標名					数値（上段：目標、下段：実績）

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	1	子育て支援の充実
	主要施策	(3)	要支援児童対策の充実
	市の取組	③	児童虐待の防止

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	③ 児童虐待の防止
取組方針	要保護児童対策地域協議会により医療、保健、福祉、教育、警察、民間団体等の関係機関が連携し、虐待の可能性がある児童への対応や適切な保護・支援について協議・実践することで、児童を守ります。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		2,661	2,294	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	2,661	701	0	0	0
	国・県	0	1,593	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		66.9	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	児童虐待予防事業					実績・評価
	所 管 課	子育て支援課					生後4か月までの赤ちゃんの状況確認(健康課と当課で100%)。主任児童委員の同行訪問により、地域での見守りに繋げている。児童虐待キャンペーン4回実施、講演会を3回開催
	事 業 概 要	こんにちは赤ちゃん事業などによる支援の必要な家庭の早期発見、児童虐待の未然防止					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	914	698				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 状況確認率（%） 100 100
	国・県						
	起 債						
そ の 他							
合計	914	698	0	0	0		

  

2	事務事業の名称	児童虐待予防事業					実績・評価
	所 管 課	子育て支援課					参加者10名全員が、プログラムを終了。参加率97%。
	事 業 概 要	MY TREEペアレンツ・プログラム事業の実践による児童虐待の防止					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	1,372	3				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績）
	国・県		1,593				
	起 債						
そ の 他							
合計	1,372	1,596	0	0	0		

3	事務事業の名称	子育てメッセージ集作成事業					実績・評価
	所管課	子育て支援課					子育てメッセージ集2を2,000部作製。56作品収納。希望者に配布。神戸県立図書館にも収蔵された。
	事業概要	子育て中の思いや家庭を応援するメッセージを集め文集を作成し児童虐待防止の啓発に活用					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	375	0				評価指標 (H25)
	国・県						
	起債						数値 (上段: 目標、 下段: 実績)
	その他						
	合計	375	0	0	0	0	

■総合分析及び自己評価（1次評価）

<b>【評価、現状・課題認識】</b>	
<p>全ての子どもが、健やかに生きいきと育つ環境を整えていこうと、一つ一つの事業を丁寧に実施してきた。しかし、特に幼児・児童虐待は、早期発見が難しく、かつ改善するのにも、保護者という一人の成人を自分の意志で改善思考に向かわせるには、相当な努力と根気が必要であり、専門的知識も欠かせない。要保護児童対策地域協議会の機能強化と庁内各部署（健康課や保育所、幼稚園、学校、病院など）との連携をさらに強めていかなければならない。また、発達障害児早期支援事業により新たな対象児の発見ができ、早期に支援が開始できている。</p>	
<b>【改善策】</b>	
<p>課題にあげた関係機関との連携であるが、そこには近所の住民協力も欠かせない。福祉のどの分野もそうであるように、地域の理解、協力が欠かせないので、広報紙や有線テレビなどにより、積極的な啓発活動を行い、虐待予防に努めていきたい。</p>	
<b>1次評価</b>	B

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

<b>【主要施策推進に対する意見】</b>	
<b>【改善すべき点】</b>	
<b>2次評価</b>	

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.70

政 策	Ⅲ 『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
施 策	2 健康づくりの充実
主要施策	( 1 ) 健康増進の推進

■主要施策の所管

部等の名称	市民安全部		
-------	-------	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	市民一人ひとりが健康への意識を高め、生涯を通して主体的に健康づくりに取り組み、明るく元気に暮らしています。
---------	---

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	健康増進の推進などの取組に対する満足度（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる健康増進の推進や生活習慣病予防の充実について満足と感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	84.6	—	—	84.8	—	—	85.0	—
目標値達成率								—
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 2】

指 標	生活習慣に気をつける市民の割合（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる健康のために生活習慣に気をつける（意識している）市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	82.1	—	—	83.5	—	—	85.0	—
目標値達成率								—
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 3】

指 標	歯周疾患検診及び歯科相談件数（単位：件）							
指標の考え方	歯周疾患検診及び歯科相談の件数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	402	468	535	601	667	734	800	A
目標値達成率		152.6%	106.5%					
（結果の分析）	H25年度は歯周疾患検診受診件数が減少した。子どもを含め親子の受診の機会を提供し、今後も広報紙、市ホームページ、文字放送等を利用し受診の勧奨を行う。							

【指標 4】

指 標	20歳以上の特定基本健康診査受診者数（単位：人）							
指標の考え方	20歳以上の特定基本健康診査の受診者数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	4,002	4,035	4,068	4,101	4,134	4,167	4,200	B
目標値達成率		95.4%	92.9%					
（結果の分析）	受診者数がやや減少した。広報紙、市ホームページ、文字放送等を利用し受診の勧奨を行うと共に、ファミリーデーの開催等により受診しやすい環境を整えるように努める。							

【指標 5】

指 標	サンサンチャレンジ達成率（単位：％）							
指標の考え方	サンサンチャレンジ初回参加者の3か月で3kg減量の達成率							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	24.8	26.5	28.2	29.9	31.6	33.3	35.0	B
目標値達成率		65.3%	85.5%					
（結果の分析）	体重の維持が目的で参加している方もあり達成率は減少しているが、参加することによる健康への意識の波及効果は期待できる。今後は参加者の継続を促すと共に、初回参加者を増やすための啓発に努める。							

＜評価区分＞ A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	2	健康づくりの充実
	主要施策	(1)	健康増進の推進
	市の取組	①	体の健康づくりの推進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 体の健康づくりの推進
取組方針	健康づくりについて気軽に学び、実践できる機会を設けるなど、市民一人ひとりの主体的な健康づくりを応援します。また、健康で豊かな生活の実現には食習慣や歯の健康づくりが大切であることから、「食」に関する知識や健康的な食生活、正しい口腔ケアなどについての普及・啓発を充実します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		1,145	1,348	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	1,145	1,348	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		28.8	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

		事務事業の名称					実績・評価	
1	事務事業の名称	保健衛生事務					健康増進計画の後継計画（H27～H31）策定のため平成25年度にアンケートを実施し、評価を行った。平成26年度には行動計画目標を立て完成する。	
	所 管 課	健康課						
	事 業 概 要	健康増進計画の後継計画（H27～H31）の策定						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25） 指標名 計画アンケートの実施、評価の達成率（%）	
	一般財源	1,145	1,348					
	国・県							
	起 債							
	そ の 他							
合計	1,145	1,348	0	0	0	100		
						100		

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	2	健康づくりの充実
	主要施策	(1)	健康増進の推進
	市の取組	②	心の健康づくりの推進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	②	心の健康づくりの推進
取組方針	こころの健康づくりネットワーク会議などにより各種団体との連携を強化し、心の健康づくりに関する啓発や気軽に相談できる体制整備など、ライフステージに応じた支援を充実します。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		763	983	0	0	0
財源内訳	一般財源	63	283	0	0	0
	国・県	700	700	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		19.2	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	自殺予防対策事業					実績・評価	
	所 管 課	健康課					平成22～24年度の自殺率は、兵庫県下で5番目に高い。中でも壮年期男性の自殺率が高い事が課題であり、対策の強化を行う事が重要である。	
事業概要	こころの健康講演会やこころの体温計等による心の健康づくりの推進					評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 自殺率（3年毎）（%） 27 29.9		
(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			
一般財源	63	283						
国・県	700	700						
起債								
その他								
合計	763	983	0	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	2	健康づくりの充実
	主要施策	(1)	健康増進の推進
	市の取組	③	感染症の予防

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	③ 感染症の予防
取組方針	CATVや広報紙を活用し、正しい知識を普及するとともに、各種の予防接種の接種率を向上し、感染症を予防します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		21,772	43,986	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	21,752	41,791	0	0	0
	国・県	0	2,075	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	20	120	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		547.6	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	高齢者インフルエンザ事業					実績・評価
	所 管 課	健康課					インフルエンザ接種率、県平均約55%に比し、64.7%となっている。平成25年度は前年度より微増となった。今後も引き続き広報紙や文字放送等を通じて啓発を行っていく。
	事 業 概 要	高齢者の季節性インフルエンザの予防のための接種費用の全額助成					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	21,709	23,836				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） インフルエンザ接種率（%） 65 / 64.7
	国・県						
	起 債						
そ の 他							
合計	21,709	23,836	0	0	0		
2	事務事業の名称	肺炎球菌予防事業					実績・評価
	所 管 課	健康課					平成25年度は接種率が17.8%とやや減少した。今後は対象者拡大により個別通知等を通じて啓発を行っていく。
	事 業 概 要	内部障害の身体障害者手帳保持者の全年齢及び65歳以上5歳刻みの者に接種費用を全額助成					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	43	12,561				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 肺炎球菌接種率（%） 25 / 17.8
	国・県						
	起 債						
そ の 他	20	120					
合計	63	12,681	0	0	0		

3	事務事業の名称	パンデミック対策事業					実績・評価	
	所管課	健康課						
	事業概要	新型インフルエンザ予防対策及び風しん予防のために、接種費用を一部助成						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	0	5,394					
	国・県		2,075				評価指標 (H25)	
	起債						指標名	数値 (上段: 目標、 下段: 実績)
	その他							
	合計	0	7,469	0	0	0		

後期基本計画の政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	2	健康づくりの充実
	主要施策	(1)	健康増進の推進
	市の取組	④	健康診査の充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	④ 健康診査の充実
取組方針	特定健診受診者の健診費用の軽減や、各種無料クーポン検診により個人負担を軽減します。また、個別健診の実施により健診機会を充実し、受診者の満足度を高めていきます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		44,229	56,241	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	32,964	42,337	0	0	0
	国・県	7,092	8,216	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	4,173	5,688	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		1,112.4	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	基本健診・総合管理					実績・評価
	所 管 課	健康課					特定基本健診の受診率は前年に比べやや減少した。今後受診しやすい環境づくりに努め、啓発を強化する。
	事 業 概 要	特定（基本）健康診査、慢性腎臓病予防の検査と貧血検査の追加実施など					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	6,967	8,641				<b>評価指標（H25）</b> 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 特定基本健診受診数（人） 4,068 / 3,781
	国・県	22	22				
	起 債						
そ の 他	1,132	1,364					
合計	8,121	10,027	0	0	0		
2	事務事業の名称	健康診査事業					実績・評価
	所 管 課	健康課					肝炎ウイルス検診は、特定年齢へのクーポン券発行により受診者が増加。歯周疾患、骨粗しょう症検診はやや減少している。啓発を強化する。
	事 業 概 要	肝炎ウイルス検診・歯周疾患検診・骨粗しょう症検診の実施					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	3,430	5,072				<b>評価指標（H25）</b> 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 肝炎ウイルス検診・歯周疾患検診・骨粗しょう症検診受診者数（人） 肝炎1,180、歯周病600、骨粗310 肝炎1,154、歯周病570、骨粗291
	国・県	4,362	4,029				
	起 債						
そ の 他	181	224					
合計	7,973	9,325	0	0	0		

3	事務事業の名称	がん検診事業					実績・評価		
	所管課	健康課					各がん検診とも、県平均より高い推移で受診率は上回っているものの、まだまだ低いため啓発を強化することが必要である。		
	事業概要	胃がん・肺がん・大腸がん・前立腺がんの集団検診の実施							
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			
	一般財源	11,731	15,889				<b>評価指標 (H25)</b> <b>指標名</b> 数値 (上段: 目標、下段: 実績) 胃がん・肺がん・大腸がん・前立腺がん受診数 (人) <table border="1"> <tr> <td>胃1,500、肺3,620、大腸2,450、前立腺970</td> </tr> <tr> <td>胃1,473、肺3,589、大腸2,421、前立腺943</td> </tr> </table>	胃1,500、肺3,620、大腸2,450、前立腺970	胃1,473、肺3,589、大腸2,421、前立腺943
	胃1,500、肺3,620、大腸2,450、前立腺970								
	胃1,473、肺3,589、大腸2,421、前立腺943								
国・県									
起債									
その他	1,212	1,420							
合計	12,943	17,309	0	0	0				
4	事務事業の名称	女性のがん検診事業					実績・評価		
	所管課	健康課					受診率は県平均を上回っており、今後も更なる受診率向上に努める。		
	事業概要	乳がん(40歳以上)及び子宮頸がん検診(20歳以上)を集団と個別で実施							
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			
	一般財源	5,714	8,489				<b>評価指標 (H25)</b> <b>指標名</b> 数値 (上段: 目標、下段: 実績) 乳がん・子宮頸がん検診受診数 (人) <table border="1"> <tr> <td>乳560、子宮560</td> </tr> <tr> <td>乳530、子宮533</td> </tr> </table>	乳560、子宮560	乳530、子宮533
	乳560、子宮560								
	乳530、子宮533								
国・県									
起債									
その他	1,648	2,680							
合計	7,362	11,169	0	0	0				
5	事務事業の名称	がん検診推進事業					実績・評価		
	所管課	健康課					無料クーポン券の配布により受診数が増加している。今後も国の指針に基づき受診率向上に努める。		
	事業概要	特定年齢を対象に乳がん、子宮頸がん、大腸がん検診の無料クーポン券と検診手帳の配布							
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			
	一般財源	5,122	4,246				<b>評価指標 (H25)</b> <b>指標名</b> 数値 (上段: 目標、下段: 実績) 乳がん・子宮頸がん・大腸がん検診受診数 (人) <table border="1"> <tr> <td>乳390、子宮300、大腸500</td> </tr> <tr> <td>乳408、子宮341、大腸482</td> </tr> </table>	乳390、子宮300、大腸500	乳408、子宮341、大腸482
	乳390、子宮300、大腸500								
	乳408、子宮341、大腸482								
国・県	2,708	4,165							
起債									
その他									
合計	7,830	8,411	0	0	0				

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	2	健康づくりの充実
	主要施策	(1)	健康増進の推進
	市の取組	⑤	生活習慣病予防の推進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	⑤	生活習慣病予防の推進
取組方針	数多くの参加者を得て、集団で生活習慣病予防に取り組める機会を充実するとともに、健康づくりを推進するリーダーを育成し、予防の相乗効果を創出します。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		1,438	1,427	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	1,040	968	0	0	0
	国・県	383	429	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	15	30	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		36.2	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

		事務事業の名称					実績・評価	
1	事務事業の名称	サンサンチャレンジ事業					達成率はやや減少傾向。サンサン協賛店数は微増。健康への後押しをする身近なサンサンサポーターと行政の協働により健康づくりの輪を地域に広げる。	
	所 管 課	健康課						
	事 業 概 要	生活習慣病予防と健康増進を目指した3か月で3kgやせる市民運動の実施						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25） 指標名 新規参加者達成率（%）、サンサン協賛店数（店） 数値（上段：目標、下段：実績） 達成率28.2、協賛店数69 達成率24.1、協賛店数69	
	一般財源	1,040	968					
	国・県	383	429					
	起 債							
	そ の 他	15	30					
合計	1,438	1,427	0	0	0			

■総合分析及び自己評価（1次評価）

<b>【評価、現状・課題認識】</b>	
<p>健康増進計画（H27～H31）策定中である。                  体の健康づくり、心の健康づくり、感染症の予防、健康診査の充実（受診率アップ）、生活習慣病の予防など、様々な機会を通じて推進している。                  各種の教室や健診については、市民の参加を得ながら工夫をこらした内容で事業を進めているところであるが、急激な改善とはなっていない。なかなか事業推進の特効薬は見つからない。</p>	
<b>【改善策】</b>	
<p>このような事業は短期に成果が表れるものではなく、これからも地道な努力で市民の健康増進を図っていきたい。</p>	
<b>1次評価</b>	A

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

<b>【主要施策推進に対する意見】</b>	
<b>【改善すべき点】</b>	
<b>2次評価</b>	

<評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.72

政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がられあう やさしいまち
施 策	3	高齢者保健福祉の充実
主要施策	(1)	高齢者の介護予防と生きがいづくりの推進

■主要施策の所管

部等の名称	福祉部	市民安全部		
-------	-----	-------	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	高齢者が、これまでに培った豊かな経験や知識を活かして、住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らしています。
---------	--

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標1】

指 標	介護予防を心がける市民の割合（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる自身や家族の介護予防を心がけている（意識している）市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 71.8	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 75.0	評価
数 値	68.6	/	/	/	/	/	/	—
目標値達成率	/	/	/	/	/	/	/	—
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標2】

指 標	在宅介護の取組に対する満足度（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる高齢者が自宅などで安心して暮らせる取組について満足と感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 76.4	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 80.0	評価
数 値	72.9	/	/	/	/	/	/	—
目標値達成率	/	/	/	/	/	/	/	—
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標3】

指 標	一次予防事業参加者数（単位：人）							
指標の考え方	生活機能を維持・向上する事業への参加延人数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 657	H25年度 685	H26年度 714	H27年度 743	H28年度 771	H29年度 800	評価
数 値	628	833	1,166	/	/	/	/	A
目標値達成率	/	126.8%	170.2%	/	/	/	/	/
（結果の分析）	平成25年度、これまで健康課で行っていた介護予防事業を高齡介護課実施としたため事業を見直し、対象事業を「いきいきサロン」、「シニア料理教室」から「サポーター養成講座」、「地域への出前講座」などに移して実施し、多くの参加を得た。							

【指標4】

指 標	二次予防事業参加率（単位：％）							
指標の考え方	要介護状態になるおそれのある高齢者の事業への参加率							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 17.7	H25年度 18.1	H26年度 18.6	H27年度 19.1	H28年度 19.6	H29年度 20.0	評価
数 値	17.2	13.5	37.5	/	/	/	/	A
目標値達成率	/	76.3%	207.2%	/	/	/	/	/
（結果の分析）	平成25年度は、まちぐるみ健診受診による二次予防対象者把握を廃止。事業及び計画のニーズ調査等からの把握としたため、参加率が上がった。対象者数が減少したことと、事業参加者数が増加したことが要因							

【指標5】

指 標	高齢者の介護予防意識の醸成と筋力低下の予防状況（単位：グループ）							
指標の考え方	まちかど体操教室に取り組む地域のグループ数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 20	H26年度 40	H27年度 60	H28年度 80	H29年度 100	評価
数 値	—	—	20	/	/	/	/	A
目標値達成率	/	/	100.0%	/	/	/	/	/
（結果の分析）	平成25年度から新たに取り組む、目標を達成した。							

<評価区分> A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	3	高齢者保健福祉の充実
	主要施策	(1)	高齢者の介護予防と生きがいづくりの推進
	市の取組	①	介護予防事業の充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 介護予防事業の充実
取組方針	CATVや広報紙などあらゆる機会を通じて介護予防事業をPRするとともに、地域や民生児童委員などと連携し、介護予防事業への多くの参加を得て、高齢者の身体機能（生活機能）の低下を防止します。また、介護予防を普及・啓発する地域リーダーの活動を支援します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		6,146	8,263	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	1,291	1,719	0	0	0
	国・県	2,305	3,072	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	2,551	3,472	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		154.6	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	かとうまちかど体操教室					実績・評価	
	所 管 課	高齢介護課					20グループを達成し、実人数457人参加。二次予防対象者(48人)のうち、運動機能の項目（基本チェックリスト）で改善 25.0%・維持70.8%となり、介護予防の効果があった。	
	事 業 概 要	「かとうまちかど体操教室」を実施するグループの募集や体操指導者、看護師等の派遣						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）	
	一般財源	459	829					
	国・県	820	1,470				指標名	数値（上段：目標、下段：実績）
	起 債						教室実施グループ数	20
	そ の 他	908	1,657				(グループ)	20
合計	2,187	3,956	0	0	0			
2	事務事業の名称	生活支援サポーター活動支援事業					実績・評価	
	所 管 課	高齢介護課					ボランティアを活用した協力会員と依頼会員で高齢者の生活支援に努めた。	
	事 業 概 要	協力会員と依頼会員を募集し、相互援助活動を実施						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）	
	一般財源	684	717					
	国・県	1,222	1,275				指標名	数値（上段：目標、下段：実績）
	起 債						依頼会員・協力会員数	15・36
	そ の 他	1,352	1,437				(人)	53・39
合計	3,258	3,429	0	0	0			

3	事務事業の名称		地域介護予防活動支援事業				実績・評価	
	所 管 課		高齢介護課				介護ファミリーサポートセンターの協力員の生活支援サポーター及びまちかど体操教室の支援をする介護予防サポーターの養成に努めた。	
	事 業 概 要		生活支援サポーター及び介護予防サポーターの養成					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	147	173				評価指標 (H25)	
	国・県	263	327				指標名	
	起 債						生活支援サポーター	数値 (上段: 目標、 下段: 実績)
	そ の 他	291	378				介護予防サポーター	50
	合計	701	878	0	0	0	(人)	47 (重複あり)

後期基本計画の政策体系	政策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施策	3	高齢者保健福祉の充実
	主要施策	(1)	高齢者の介護予防と生きがいづくりの推進
	市の取組	②	高齢者の生活や活動への支援

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	② 高齢者の生活や活動への支援
取組方針	高齢者による高齢者支援活動（見守り、話し相手など）や地域を豊かにする社会活動、世代間交流活動の機会の充実などに社会福祉協議会と連携し、取り組めます。また、住み慣れた地域で、長く元気に暮らせるように、住宅改造への助成や外出支援を目的に福祉タクシー助成事業を継続して実施します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総事業費（千円）		64,225	70,633	0	0	0
財源内訳	一般財源	49,358	53,905	0	0	0
	国・県	11,099	11,876	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	その他	3,768	4,852	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		1,615.3	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	福祉タクシー事業					実績・評価
	所管課	高齢介護課					
	事業概要	高齢者や障害者等の社会参加を促進するためのタクシー料金の一部助成					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	当初予算（目標）を上回る利用率
	一般財源	21,168	22,251				
	国・県						評価指標（H25）
	起債						
その他							
合計	21,168	22,251	0	0	0	指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 利用枚数（枚） 46,800 41,964	
2	事務事業の名称	人生80年いきいき住宅助成事業					実績・評価
	所管課	高齢介護課					
	事業概要	高齢者や障害者への住環境整備に係る経費の一部助成					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	住み慣れた家で、住み続けるための住宅改造に係る経費の一部を助成した。
	一般財源	4,460	4,543				
	国・県	4,460	4,542				評価指標（H25）
	起債						
その他							
合計	8,920	9,085	0	0	0	指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 利用件数（件） 30 32	

3	事務事業の名称	老人クラブ活動助成事業					実績・評価
	所管課	高齢介護課					老人クラブ離れが進み、会員が減少 (H24 5,713人⇒H25 5,557人)
	事業概要	老後の生きがいや健康づくりへの助成					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	5,356	5,469				評価指標 (H25)
	国・県	6,639	6,778				
	起債						数値 (上段:目標、 下段:実績)
	その他						5,713
合計	11,995	12,247	0	0	0	会員数 (人)	
						5,557	
4	事務事業の名称	老人措置					実績・評価
	所管課	高齢介護課					環境上、経済的理由で居宅で養護で できない者等を入所させ支援できた。
	事業概要	養護老人ホームへの入所措置					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	18,374	21,328				評価指標 (H25)
	国・県						
	起債						数値 (上段:目標、 下段:実績)
	その他	3,768	4,060				11
合計	22,142	25,388	0	0	0	入所者数 (人)	
						11	
5	事務事業の名称	元気応援通所事業					実績・評価
	所管課	高齢介護課					平成26年度から実施
	事業概要	要支援認定者等の閉じこもり予防のため、機 能訓練や趣味活動など各種サービスの提供					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	0	314				評価指標 (H25)
	国・県		556				
	起債						数値 (上段:目標、 下段:実績)
	その他		792				
合計	0	1,662	0	0	0		

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	3	高齢者保健福祉の充実
	主要施策	(1)	高齢者の介護予防と生きがいづくりの推進
	市の取組	③	敬老事業の実施

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	③	敬老事業の実施
取組方針	より多くの高齢者が参加できる敬老会とするために、小・中学校区単位のまちづくり協議会による身近な地域での敬老会実施を支援します。また、金婚式などの敬老事業も実施し、高齢者の生きがい醸成とともに、市民の敬老意識をも高めます。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		8,726	9,236	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	8,726	9,236	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		219.5	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	長寿祝金支給事業					実績・評価	
	所 管 課	高齢介護課					77歳・88歳・99歳の節目の年に長寿を祝い、生きがいを与えた。	
	事 業 概 要	高齢者への敬愛と長寿を祝福する祝金の支給						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	4,120	4,479				評価指標（H25）	
	国・県							指標名
	起 債						対象者数（人）	609
そ の 他							609	
合計	4,120	4,479	0	0	0			
2	事務事業の名称	長寿を祝う会実施助成事業					実績・評価	
	所 管 課	高齢介護課					まちづくり協議会による実施により、参加率を向上できた。（H24 30.0% ⇒ H25 35.5%）	
	事 業 概 要	各まちづくり協議会の敬老会事業開催に対する助成						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	4,606	4,757				評価指標（H25）	
	国・県							指標名
	起 債						参加率（%）	36
そ の 他							35.5	
合計	4,606	4,757	0	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	3	高齢者保健福祉の充実
	主要施策	(1)	高齢者の介護予防と生きがいづくりの推進
	市の取組	④	介護する家族などへの支援

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	④ 介護する家族などへの支援
取組方針	家族介護用品の支給とともに、認知症を抱える家族間の交流の場の提供や介護教室を充実し、家族の負担軽減に努めます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		4,635	4,999	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	973	1,017	0	0	0
	国・県	2,746	2,958	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	915	1,024	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		116.6	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

		事務事業の名称					実績・評価	
1	事務事業の名称	家族介護用品支給事業					重度の要介護高齢者を在宅で介護している介護者の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るため、介護用品を支給した。	
	所 管 課	高齢介護課						
	事 業 概 要	在宅で要介護4又は5の方を介護されている方にパット等介護用品を支給						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）	指標名
	一般財源	824	855					
	国・県	2,324	2,485				介護用品支給件数（件）	160
	起 債							168
そ の 他	775	860						
合計	3,922	4,200	0	0	0			
2	事務事業の名称	認知症高齢者家族介護者教室					アクティビティケア、介護者教室等を行うことで、認知症高齢者を介護する家族の身体的、精神的負担を軽減した。	
	所 管 課	高齢介護課						
	事 業 概 要							
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）	指標名
	一般財源	150	162					
	国・県	422	473				教室参加者数（人）	170
	起 債							84
そ の 他	141	164						
合計	713	799	0	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	3	高齢者保健福祉の充実
	主要施策	(1)	高齢者の介護予防と生きがいづくりの推進
	市の取組	⑤	高齢者医療の充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	⑤ 高齢者医療の充実
取組方針	国が定める新たな高齢者医療制度及び兵庫県の福祉医療制度（老人医療費助成制度、高齢重度障害者医療費助成制度）に基づき、高齢者が安心して受診できる環境を整えます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		47,777	55,182	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	19,032	19,918	0	0	0
	国・県	20,986	27,564	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	7,759	7,700	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		1,201.6	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	老人医療費助成事業					実績・評価
	所 管 課	保険・医療課					65歳から69歳の低所得者に係る医療費の一部を助成することにより、経済的負担を軽減し、福祉の向上を図った。
	事 業 概 要	65歳～69歳の低所得高齢者に対する医療費の助成					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	対象人数 168人
	一般財源	4,620	5,701				
	国・県	4,739	5,683				
	起 債						
そ の 他							
合計	9,359	11,384	0	0	0		
評価指標（H25）							
指標名						数値（上段：目標、下段：実績）	
2	事務事業の名称	高齢重度障害者医療費助成事業					実績・評価
	所 管 課	保険・医療課					高齢の重度障害者に係る医療費の一部を助成することにより、重度障害者の経済的負担を軽減し、福祉の向上を図った。
	事 業 概 要	後期高齢者医療保険の被保険者のうち重度障害者等に対する医療費の助成					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	対象人数 331人
	一般財源	14,412	14,217				
	国・県	16,247	21,881				
	起 債						
そ の 他	7,759	7,700					
合計	38,418	43,798	0	0	0		
評価指標（H25）							
指標名						数値（上段：目標、下段：実績）	

■総合分析及び自己評価（1次評価）

<b>【評価、現状・課題認識】</b>	
<p>新庁舎移転を前に、健康課との連携事務の一部見直しにより事業の改変を行ったため、指標3や4では大きな伸びとなった。また、以外の事項においてもそれぞれに事業成果を得ている。</p> <p>介護予防と生きがいづくりの重要性を訴え、地域で自主的な取組ができる「まちかど体操教室」等の普及にも努めた。今後、全地域にこの教室が広まり、高齢者の介護予防や居場所づくり、交流の場として定着させること、また、教室以外で介護予防を取り組める人材の育成や団体やNPOの創設が課題である。</p>	
<b>【改善策】</b>	
<p>対象者が多く、全ての方の顔が見えない。事業を知らない方々がいらっしゃるかもしれない。介護予防事業、高齢者の生活支援事業、敬老事業など、一層の理解に向かって啓発、広報に努めていかなければならない。</p> <p>また、介護予防事業では、地域の自主的な取り組みの場として「まちかど体操教室」を実施。さらに多くの方の参加をめざし、老人クラブや地域の方に、啓発、広報に努めていかなければならない。</p>	
1次評価	A

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

<b>【主要施策推進に対する意見】</b>	
<b>【改善すべき点】</b>	
2次評価	

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.74

政 策	Ⅲ 『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
施 策	3 高齢者保健福祉の充実
主要施策	( 2 ) 介護サービスの充実

■主要施策の所管

部等の名称	福祉部	加東市民病院（病院事業部）	
-------	-----	---------------	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	介護を必要とする高齢者の方などが、地域、行政、関係機関のネットワークの中で必要十分なケアや支援を受けられるまちになっています。
---------	---

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	高齢者福祉サービスの取組に対する満足度（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる高齢者福祉サービスについて満足と感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 78.5	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 80.0	評価
数 値	76.8	/	/	/	/	/	/	—
目標値達成率	/	/	/	/	/	/	/	/
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 2】

指 標	ケアホームかとうの利用率（単位：％）							
指標の考え方	ケアホームかとうの長期及び短期入所の入所利用率							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 86.0	H25年度 93.5	H26年度 94.0	H27年度 94.5	H28年度 95.0	H29年度 96.0	評価
数 値	84.0	93.3	91.4	/	/	/	/	B
目標値達成率	/	108.5%	97.8%	/	/	/	/	/
（結果の分析）	平成25年度は加東市民病院や入所希望者からの調整を積極的に行ったが、春と秋に利用が落ち込み利用率が平成24年度より減少した。今後は更に詳細な調整に努め、目標値を目指す。							

【指標 3】

指 標	要介護認定率（単位：％）							
指標の考え方	65歳以上に占める要介護認定者の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 19.0	H25年度 19.0	H26年度 19.0	H27年度 19.0	H28年度 19.0	H29年度 19.0	評価
数 値	19.0	18.6	17.2	/	/	/	/	A
目標値達成率	/	102.2%	110.5%	/	/	/	/	/
（結果の分析）	介護認定の初期相談や介護予防事業の実施により、認定者を抑えることができた。							

【指標 4】

指 標	介護給付費割合（単位：％）							
指標の考え方	介護給付費の計画値に対する実績値の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 108.3	H25年度 106.7	H26年度 105.0	H27年度 103.3	H28年度 101.7	H29年度 100.0	評価
数 値	110.0	100.5	97.4	/	/	/	/	A
目標値達成率	/	107.8%	109.5%	/	/	/	/	/
（結果の分析）	認定者が少なくなったことにより、給付費が計画値を下回った。							

指 標								
指標の考え方								
下段数値は、年度別目標値 →								
数 値	/	/	/	/	/	/	/	/
目標値達成率	/	/	/	/	/	/	/	/
（結果の分析）								

<評価区分> A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	3	高齢者保健福祉の充実
	主要施策	(2)	介護サービスの充実
	市の取組	①	介護保険制度の円滑な運営

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 介護保険制度の円滑な運営
取組方針	要支援・要介護状態になっても安心して日常生活が営めるように、介護保険制度の安定運営に努め、各種介護サービスの適切な質と量を確保していきます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		2,724,463	2,999,854	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	534,603	568,526	0	0	0
	国・県	1,040,135	1,138,095	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	1,149,725	1,293,233	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		68,521.0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	居宅介護サービス給付事業					実績・評価
	所 管 課	高齢介護課					訪問介護や訪問看護等の訪問系サービスが計画値を上回ったが、通所系サービスが計画値を下回り、結果として、認定率給付費を抑えることができた。
	事 業 概 要	要介護認定者が利用する通所介護、短期入所生活介護等の在宅サービスに係る保険給付					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	239,656	247,204				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 居宅介護サービス給付費（千円） 1,225,767 1,206,728
	国・県	466,280	494,992				
	起 債						
そ の 他	500,792	543,484					
合計	1,206,728	1,285,680	0	0	0		
2	事務事業の名称	地域密着型サービス給付事業					実績・評価
	所 管 課	高齢介護課					地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護が新たに出来たこともあり、計画値を上回った。（施設サービスからの変更）
	事 業 概 要	要介護認定者が利用する地域密着型介護サービスに係る保険給付					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	47,833	60,825				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 地域密着型サービス給付費（千円） 229,276 240,851
	国・県	93,065	121,737				
	起 債						
そ の 他	99,953	133,638					
合計	240,851	316,200	0	0	0		

3	事務事業の名称	施設介護サービス給付事業					実績・評価	
	所管課	高齢介護課					整備計画していた介護老人福祉施設が地域密着型サービスに変更されたため計画値を下回った。	
	事業概要	介護老人福祉施設、介護老人保健施設等の施設サービスに係る保険給付						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	191,812	203,181					
	国・県	373,193	406,652				評価指標 (H25)	
	起債							指標名
	その他	400,816	446,407				施設介護サービス給付費 (千円)	1,025,365
合計	965,821	1,056,240	0	0	0		965,821	
4	事務事業の名称	居宅介護予防サービス給付事業					実績・評価	
	所管課	高齢介護課					軽度認定者の減少に伴い、介護予防訪問介護などを抑えることができたことにより、介護給付費が計画値を下回った。	
	事業概要	通所介護、短期入所生活介護等の在宅予防サービスに係る保険給付						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	16,556	16,689					
	国・県	32,212	33,403				評価指標 (H25)	
	起債							指標名
	その他	34,596	36,668				居宅介護予防サービス給付費 (千円)	91,620
合計	83,365	86,760	0	0	0		83,365	
5	事務事業の名称	地域密着型介護予防サービス給付事業					実績・評価	
	所管課	高齢介護課					軽度認定者の利用が見込みを下回ったため、給付費を抑制できた。	
	事業概要	地域密着型介護予防サービスに係る保険給付						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	82	808					
	国・県	160	1,617				評価指標 (H25)	
	起債							指標名
	その他	171	1,775				地域密着型介護予防給付費 (千円)	5,788
合計	413	4,200	0	0	0		413	
6	事務事業の名称	高額介護サービス費等給付事業					実績・評価	
	所管課	高齢介護課					ひとりで、サービスを利用する方が増え、計画値を上回った。	
	事業概要	在宅及び施設サービスの利用料月額が自己負担の上限額を超えた場合に係る保険給付						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	9,306	10,249					
	国・県	18,105	20,512				評価指標 (H25)	
	起債							指標名
	その他	19,445	22,519				高額介護サービス給付費 (千円)	41,730
合計	46,856	53,280	0	0	0		46,856	
7	事務事業の名称	高額医療合算介護サービス費等給付事業					実績・評価	
	所管課	高齢介護課					医療保険と介護保険の自己負担の年間合計額が限度額を超えた場合に係る保険給付	
	事業概要	医療保険と介護保険の自己負担の年間合計額が限度額を超えた場合に係る保険給付						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	1,547	1,385					
	国・県	3,009	2,772				評価指標 (H25)	
	起債							指標名
	その他	3,232	3,043				高額医療合算介護サービス給付費 (千円)	6,300
合計	7,788	7,200	0	0	0		7,788	

8	事務事業の名称	特定入所者介護サービス費等給付事業					実績・評価	
	所 管 課	高齢介護課					世帯分離をする方が増え、負担限度額認定者が、計画値を上回った。	
	事 業 概 要	要介護者のうち負担限度額認定者の施設、短期入所サービスに係る保険給付						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	27,812	28,185				評価指標 (H25)	
	国・県	54,111	56,410					指標名
	起 債						特定入所者介護サービス給付費(千円)	数値(上段:目標、下段:実績) 128,400
	その他	58,116	61,925					140,038
合計	140,038	146,520	0	0	0			
9	事務事業の名称	訪問看護一般管理事業					実績・評価	
	所 管 課	ケアホームかとう					専門職員不足が問題である現状で、訪問看護師の職員育成や次年度への緊急時訪問看護加算など取得できるよう体制づくりを行った。	
	事 業 概 要	疾病又は負傷等ある要介護者等の家庭における継続した療養生活を支援						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源						評価指標 (H25)	
	国・県							指標名
	起 債						訪問看護一般管理事業費(千円)	数値(上段:目標、下段:実績) 36,422
	その他	32,603	43,774					32,603
合計	32,603	43,774	0	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	3	高齢者保健福祉の充実
	主要施策	(2)	介護サービスの充実
	市の取組	②	地域包括ケアの推進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	②	地域包括ケアの推進
取組方針	地域包括支援センターを拠点とし、高齢者の総合的な相談支援や介護・認知症予防、虐待防止、権利擁護など、高齢者が心身の状況に応じて必要な支援を適切に受けられるように取り組めます。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		44,297	51,496	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	0	0	0	0	0
	国・県	2,645	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	41,652	51,496	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		1,114.1	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	介護予防ケアマネジメント事業					実績・評価	
	所 管 課	高齢介護課					介護予防サービス計画を作成し、介護予防事業や介護予防サービスの利用調整や評価を実施	
	事 業 概 要	ケアマネジメント及び要支援高齢者の新予防給付に関する介護予防支援計画業務						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源						評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 予防マネジメント件数（件） 3,000 2,795	
	国・県							
	起 債							
そ の 他	13,769	12,954						
合計	13,769	12,954	0	0	0			
2	事務事業の名称	総合相談事業					実績・評価	
	所 管 課	高齢介護課					高齢者の生活や介護などの初期相談や地域生活困難事例などを対応（物忘れ相談プログラム活用件数 H24年度実績を下回った。）	
	事 業 概 要	高齢者の総合相談と必要な各種サービスの調整						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源						評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 物忘れ相談プログラム活用件数（件） 1,244 1,086	
	国・県							
	起 債							
そ の 他	13,571	19,287						
合計	13,571	19,287	0	0	0			

3	事務事業の名称	権利擁護事業					実績・評価	
	所 管 課	高齢介護課					権利擁護研修会を実施し、虐待事例への対応(虐待受理件数 H24年度 6件で、H25年度 8件)	
	事 業 概 要	高齢者虐待の早期発見・防止、成年後見制度の利用促進など高齢者の権利擁護						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源							
	国・県						評価指標 (H25)	
	起 債						指標名	数値 (上段: 目標、下段: 実績)
	そ の 他	4,865	6,209				高齢者虐待対応件数 (件)	6
合計	4,865	6,209	0	0	0		8	
4	事務事業の名称	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業					実績・評価	
	所 管 課	高齢介護課					認知症施策総合推進事業に取り組み、認知症高齢者等に対する支援や介護支援専門員への個別支援を実施	
	事 業 概 要	包括的かつ継続的なサービスを提供するためのケアマネジメント体制の構築支援						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源							
	国・県	2,645					評価指標 (H25)	
	起 債						指標名	数値 (上段: 目標、下段: 実績)
	そ の 他	9,447	13,046				茶話会及び物忘れ予防カフェ(回)	10
合計	12,092	13,046	0	0	0		12	

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	3	高齢者保健福祉の充実
	主要施策	(2)	介護サービスの充実
	市の取組	③	介護保険制度の基盤整備

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	③ 介護保険制度の基盤整備
取組方針	介護保険事業計画に基づき地域密着型サービス施設を整備するとともに、施設利用の周知に努めます。また、特別養護老人ホームの増床など、必要量（需要量）に応じた供給量を確保します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		80,800	0	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	0	0	0	0	0
	国・県	80,800	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		2,032.1	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

		事務事業の名称						実績・評価
1	事務事業の名称	地域介護・福祉空間整備事業					介護保険計画及び利用状況を考慮し整備（小規模 2箇所・認知症デイ2箇所を計画していたが、認知症デイは1箇所）	
	所 管 課	高齢介護課						
	事 業 概 要	地域密着型サービスを開始する事業者に施設整備費等を助成する。						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 地域密着型施設整備数（箇所） 4 3	
	一般財源							
	国・県	80,800						
	起 債							
	そ の 他							
合計	80,800	0	0	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	3	高齢者保健福祉の充実
	主要施策	(2)	介護サービスの充実
	市の取組	④	ケアホームかとうの運営

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	④ ケアホームかとうの運営
取組方針	利用者や家族が安心して生活できるよう質の高いサービスを提供します。一方で、施設の運営については、加東市民病院との連携を密にし、施設の利用率向上に取り組むとともに、計画的にサービス環境を改善します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		268,102	289,643	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	202	3	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	267,900	289,640	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		6,742.8	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	ケアホームかとう一般管理事業					実績・評価	
	所 管 課	ケアホームかとう					市内の事業所などが増加した影響もあり、春・秋の入所者が利用者の都合で変更となり、最終的には利用率は、91.4%で、昨年度93.3%をやや下回った。	
事 業 概 要	介護老人保健施設入所（長期・短期）、通所リハビリテーションサービス業務							
(決算額)		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）	
一般財源		202	3				指標名	数値（上段：目標、下段：実績）
国・県								
起 債							ケアホームかとう利用	93.5
そ の 他		267,900	289,640				率（%）	91.4
合計		268,102	289,643	0	0	0		

■総合分析及び自己評価（1次評価）

【評価、現状・課題認識】	
<p>平成25年度、第5期計画の計画に基づき、市内の特別養護老人ホーム（1箇所 地域密着型介護老人福祉施設）1施設でそれぞれ20床ずつ、計60床を増床。また、小規模多機能施設は、新たに2施設を開設。そして、ショートステイの短期入所施設も29床増床した。</p> <p>特養の整備が計画通り遂行できたことにより、特養の長期待機者の一部解消になった。特養の待機者調査において、入所の必要性が高い方が平成25年度では、64人であったのが、平成26年度には32人に減り、そのうち、在宅の待機者は平成25年度で36人で、平成26年度では15人となり、在宅で緊急性の高い人は21人減少した。</p> <p>近年ニーズの高い小規模多機能居宅介護については、新たに2施設整備したことにより、各生活圏域ごとに1施設ずつ整備できたため、ほぼ計画どおりの整備が行われ、在宅にて介護を要する方が今後も地域で継続して生活できることにつながっている。</p> <p>しかしながら、特養については、増え続ける待機者を全て解消することは難しく、その他の施設整備も同様に、今後新たな施設の整備を行うことは、給付費の増加に直結するため、どの時期に新たな整備計画に踏み切るかが今後の課題である。</p> <p>訪問看護ステーションを持つケアホームかとうは、平成25年度に訪問看護師の退職により緊急時訪問看護に対応できなくなり市民病院と一体的に運営することで同年9月に看護師の2名増員配置で人材育成に取り組んだ。平成26年4月に市民病院へ事業所を移し、更に看護師を2名増員し地域支援フロアで医療と介護と在宅支援の連携を図るため事業推進している。看護師が訪問看護師になるには最低でも半年はかかる。今後、人材育成を考慮しながら事業運営面で新規利用者を増やし利用率の向上を図ることが重要課題である。</p>	
【改善策】	
<p>特養の入所については、今後入所する対象者が概ね介護3以上に重点化されるとされており、既存サービスを適切に組み合わせることにより、できる限り在宅でケアできるよう支援していく。</p> <p>また、地域密着型サービスの整備計画についても、現存のサービスの利用状況や新たなサービスのニーズを把握しながら長期的に計画していく必要がある。</p> <p>また、適切なケアプランの作成や指導によって、行き過ぎたサービスがないかチェックしていく一方で、誤った給付がないように給付適正化に力を入れる必要がある。</p> <p>ケアホームかとうについて、入退所調整会で空き室の調整を行い、入所された方の状態把握や検査情報の把握を行うとともに、地域医療連携室との調整も十分に行う。また、空き室については、短期利用者に効率的に提供するとともに、次に利用していただく方の確保に努める。</p> <p>通所リハについては、生活・身体機能向上を目指した内容であるリハの特色や空き情報などを近隣の居宅介護支援事業所に周知するなど、利用者の新規確保に努める。</p> <p>訪問看護ステーションについては、ケアマネ会議、地域ケア会議、開業医などに訪問看護・訪問リハビリの周知や利用のお願いをするなど、事業所規模に応じた利用率を目指し新規利用者の確保に努める。</p>	
1次評価	A

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

【主要施策推進に対する意見】	
【改善すべき点】	
2次評価	

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.76

政 策	Ⅲ 『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
施 策	4 障害者・要援護者福祉の充実
主要施策	( 1 ) 障害者福祉の充実

■主要施策の所管

部等の名称	福祉部	市民安全部		
-------	-----	-------	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	障害者一人ひとりの心身の状況や個々のニーズに応じた福祉サービスや支援を受けながら、社会活動への参加や就労機会が確保され、社会的、経済的に自立しています。
---------	--

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	障害者に対する取組の満足度（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる障害者などの自立支援や社会参加の促進について満足と感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 77.6	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 80.0	評価
数 値	75.3	/	/	/	/	/	/	—
目標値達成率	/	/	/	/	/	/	/	—
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 2】

指 標	障害者に対しても分け隔てなく接する市民の割合（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる障害者に対しても分け隔てなく接する市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 78.1	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 80.0	評価
数 値	76.1	/	/	/	/	/	/	—
目標値達成率	/	/	/	/	/	/	/	—
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 3】

指 標	障害者の相談件数（単位：件）							
指標の考え方	障害者生活支援センターの利用件数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 3,846	H25年度 3,877	H26年度 3,907	H27年度 3,938	H28年度 3,969	H29年度 4,000	評価
数 値	3,815	3,261	4,065	/	/	/	/	A
目標値達成率	/	84.8%	104.8%	/	/	/	/	/
（結果の分析）	年度によってばらつきがある。H25は計画相談の影響により増となった。							

【指標 4】

指 標	障害者の一般就労に結びついた人数（単位：人）							
指標の考え方	障害者が相談等を通じて就労した人数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 4	H25年度 4	H26年度 4	H27年度 4	H28年度 4	H29年度 4	評価
数 値	4	5	0	/	/	/	/	D
目標値達成率	/	125.0%	0.0%	/	/	/	/	/
（結果の分析）	特別支援学校卒業生の一般就労がなかったのが、大きな要因							


<評価区分> A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	4	障害者・要援護者福祉の充実
	主要施策	(1)	障害者福祉の充実
	市の取組	①	障害者の社会参加の促進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 障害者の社会参加の促進
取組方針	障害者が、心身の状況に応じて多様な社会活動に継続して参加できるように、きめ細かなサービスを提供するとともに、障害者団体の活動を支援します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		34,581	42,968	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	25,646	29,937	0	0	0
	国・県	8,935	13,031	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		869.7	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

		事務事業の名称					実績・評価	
1	事務事業の名称	地域活動支援センター等運営補助事業					障害者に創作活動、生産活動の機会を提供する地域活動支援センターへの運営補助を行った。（市内5事業所、市外2事業所）	
	所 管 課	社会福祉課						
	事 業 概 要	障害者等が創作活動、生産活動等を行う地域活動支援センターへの運営補助						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 地域活動支援センター運営補助件数（件） 6 7	
	一般財源	24,894	28,701					
	国・県	8,197	11,454					
	起 債							
そ の 他								
合計	33,091	40,155	0	0	0			
2	事務事業の名称	意思疎通支援・支援者派遣事業					聴覚障害者の支援者である手話通訳者・要約筆記者の派遣を行った。（延べ106回）	
	所 管 課	社会福祉課						
	事 業 概 要	手話通訳者・要約筆記者の派遣、視聴覚障害者等の意思疎通支援者を育成する講座の開催						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 手話通訳者、要約筆記者の派遣回数（回） 132 106	
	一般財源	752	967					
	国・県	738	1,577					
	起 債							
そ の 他								
合計	1,490	2,544	0	0	0			

3	事務事業の名称		障害者計画等策定事業				実績・評価	
	所 管 課		社会福祉課					
	事 業 概 要		第4期障害福祉計画の策定					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	0	269				評価指標 (H25)	
	国・県						指標名	数値 (上段：目標、 下段：実績)
	起 債							
	そ の 他							
	合計	0	269	0	0	0		

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	4	障害者・要援護者福祉の充実
	主要施策	(1)	障害者福祉の充実
	市の取組	②	障害者の生活支援の強化

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	② 障害者の生活支援の強化
取組方針	障害者がいきいきと健康的に生活できるように、虐待防止と「障害者福祉のしおり」による情報提供、さらに居宅介護や生活介護、日常生活用具の給付などの福祉サービスを充実します。また、兵庫県の福祉医療制度（重度障害者医療費助成制度）に基づき安心できる環境を整えます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		524,559	562,068	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	165,181	169,415	0	0	0
	国・県	337,091	368,788	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	22,287	23,865	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		13,192.8	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	障害者福祉年金給付事業					実績・評価
	所 管 課	社会福祉課					身体障害者手帳1～6級、療育手帳A、B1、B2、精神障害者保健福祉手帳の1～3級に福祉年金として支給した。
	事 業 概 要	身体・知的・精神障害者への年金支給					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	21,135	20,915				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 福祉年金支給件数（件） 1,885 1,929
	国・県						
	起 債						
そ の 他	578	504					
合計	21,713	21,419	0	0	0		
2	事務事業の名称	特別障害者手当等給付事業					実績・評価
	所 管 課	社会福祉課					精神又は身体に重度の障害を有するため、日常生活に特別の介護を必要とする状態にある在宅者に、手当を支給した。
	事 業 概 要	常時介護を必要とする在宅重度障害者（児）への手当の支給					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	3,000	3,416				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 特別障害者手当等給付件数（件） 54 46
	国・県	9,000	10,247				
	起 債						
そ の 他							
合計	12,000	13,663	0	0	0		

3	事務事業の名称	自立支援医療費等給付事業					実績・評価
	所管課	社会福祉課					日常生活能力向上、社会生活能力等回復目的のため医療費助成の実施。
	事業概要	日常生活能力・社会生活能力等を回復・向上させる目的での医療費助成					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	483	1,807				評価指標 (H25)
	国・県	1,440	5,347				
	起債						数値 (上段: 目標、下段: 実績)
その他						自立支援医療等給付件数 (件)	
合計	1,923	7,154	0	0	0	8	
4	事務事業の名称	自立支援サービス等給付事業					実績・評価
	所管課	社会福祉課					障害者が日常生活を送れるよう在宅や施設サービスを実施
	事業概要	在宅・施設入所障害者への福祉サービス給付					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	92,776	96,976				評価指標 (H25)
	国・県	277,228	289,950				
	起債						数値 (上段: 目標、下段: 実績)
その他						自立支援サービス等給付実績金額 (千円)	
合計	370,004	386,926	0	0	0	379,937	
5	事務事業の名称	身体障害者補装具給付(修理)事業					実績・評価
	所管課	社会福祉課					失った機能を補完又は代替する用具の購入を補助(障害者41件、障害児22件)
	事業概要	失った身体機能を補完又は代替する用具購入費(修理費)の給付					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	1,496	1,186				評価指標 (H25)
	国・県	4,486	3,558				
	起債						数値 (上段: 目標、下段: 実績)
その他						身体障害者補装具給付、修理の実施件数 (件)	
合計	5,982	4,744	0	0	0	68	
6	事務事業の名称	障害児(者)発達・相談支援センター運営事業					実績・評価
	所管課	社会福祉課					・身体、知的、精神障害者相談支援を実施(相談4,065件) ・発達障害療育療育支援を実施(相談18件、検査20件)
	事業概要	発達障害児・3障害の相談・情報提供支援					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	6,427	3,152				評価指標 (H25)
	国・県	5,755	9,364				
	起債						数値 (上段: 目標、下段: 実績)
その他						障害者等支援センターの運営実施 合計相談件数 (件)	
合計	12,182	12,516	0	0	0	3,307	
7	事務事業の名称	重度心身障害者(児)日常生活用具給付事業					実績・評価
	所管課	社会福祉課					重度心身障害者(児)の日常生活用具購入費助成、介護用品の給付(障害者566件、障害児71件、介護用品給付3人)
	事業概要	重度心身障害者(児)の日常生活用具購入費助成、介護用品の給付					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	3,446	2,139				評価指標 (H25)
	国・県	3,238	5,519				
	起債						数値 (上段: 目標、下段: 実績)
その他						日常生活用具購入補助、介護用品給付 額 (千円)	
合計	6,684	7,658	0	0	0	7,392	
						6,684	

8	事務事業の名称	障害児タイムケア事業					実績・評価	
	所管課	社会福祉課					心身等に障害のある中高生の下校後の居場所確保や社会適応の指導。保護者の就労支援の実施	
	事業概要	障害をもつ中学生・高校生を対象とした下校後等の活動場所の確保						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	5,420	3,158					
	国・県	6,259	9,474				評価指標 (H25)	
	起債						指標名	数値 (上段: 目標、 下段: 実績)
	その他	960	951				障害児タイムケアの実施登録者: 平常時、夏休(人)	9人: 12人 11人: 16人
合計	12,639	13,583	0	0	0			
9	事務事業の名称	地域生活支援事業					実績・評価	
	所管課	社会福祉課					在宅障害者への地域生活支援の実施(訪問入浴サービス130回、訪問看護助成848回)	
	事業概要	在宅障害者(児)への地域生活支援						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	3,131	3,056					
	国・県	899	1,755				評価指標 (H25)	
	起債						指標名	数値 (上段: 目標、 下段: 実績)
	その他	80	222				在宅障害者等地域生活支援回数(入浴: 看護)(回)	109: 820 130: 848
合計	4,110	5,033	0	0	0			
10	事務事業の名称	重度障害者医療費助成事業					実績・評価	
	所管課	保険・医療課					後期高齢者医療保険の被保険者でない高齢重度障害者に係る医療費の一部を助成することにより、重度障害者の経済的負担を軽減し、福祉の向上を図った。 対象人数 314人	
	事業概要	後期高齢者医療保険の被保険者でない重度障害者等に対する医療費の助成						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	27,867	33,610					
	国・県	28,786	33,574				評価指標 (H25)	
	起債						指標名	数値 (上段: 目標、 下段: 実績)
	その他							
合計	56,653	67,184	0	0	0			
11	事務事業の名称	訪問介護一般管理事業					実績・評価	
	所管課	社会福祉課					障害者総合支援法に基づき訪問介護サービスの実施(延べ利用者275人、延べ訪問回数2,157回)	
	事業概要	障害者(児)を主とし、介護認定を受けた者等への訪問ヘルプサービス及び移動支援						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源							
	国・県						評価指標 (H25)	
	起債						指標名	数値 (上段: 目標、 下段: 実績)
	その他	20,669	22,188				訪問ヘルプサービスの実施回数(利用者: 訪問)(回)	288: 1886 275: 2157
合計	20,669	22,188	0	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	4	障害者・要援護者福祉の充実
	主要施策	(1)	障害者福祉の充実
	市の取組	③	雇用・就労への支援

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	③ 雇用・就労への支援
取組方針	福祉作業所などの福祉的就労の場の拡充だけでなく、北播磨障害者就業・生活支援センターなどと連携し、一般就労に向けた支援に取り組んでいきます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		543	656	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	543	656	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		13.7	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称		H25年度 H26年度 H27年度 H28年度 H29年度					実績・評価	
		障害者就労支援事業						障害者に対して就労する機会提供の支援。相談等はあるがなかなか結果に結びつかないのが現状である。特別支援学校からの就労の機会は実施している。	
	所 管 課	社会福祉課					評価指標（H25）		
	事 業 概 要	障害者に対して就労機会を提供する事業の実施							
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	指標名		
	一般財源	543	656				数値（上段：目標、下段：実績）		
	国・県						障害者就労支援（賃金支払）（千円）		
	起 債						600		
	そ の 他						543		
	合計	543	656	0	0	0			

■総合分析及び自己評価（1次評価）

<b>【評価、現状・課題認識】</b>	
<p>障害者がいきいきと健康的に、安心して日々の生活が送れるように、あらゆる福祉サービスのきめ細かな提供を行うとともに、障害者団体の活動を支援した。</p> <p>また、25年度では、障害者優先調達推進法に基づく、「加東市における障害者就労施設等からの物品調達方針」を取りまとめ、26年度からの市が行う物品や役務の調達を優先的に障害者就労施設等から調達する基本的事項を定めた。</p>	
<b>【改善策】</b>	
<p>これからもサービスの拡充に努めるとともに、過度にならない、自立を目指した適正なサービスの提供に努める。</p>	
<b>1次評価</b>	A

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

<b>【主要施策推進に対する意見】</b>	
<b>【改善すべき点】</b>	
<b>2次評価</b>	

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.78

政 策	Ⅲ 『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
施 策	4 障害者・要援護者福祉の充実
主要施策	( 2 ) 要援護者に対する支援

■主要施策の所管

部等の名称	福祉部	教育委員会		
-------	-----	-------	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	生活困窮者が、必要な支援を適正に受けて、安定した生活を営みながら、自立更正に取り組んでいます。 また、ひとり親家庭が、経済的に自立し、安心して暮らしています。
---------	--

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	社会保障の取組に対する満足度（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる社会保障に関する取組について満足と感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 67.0	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 70.0	評価
数 値	63.9	/	/	/	/	/	/	—
目標値達成率	/	/	/	/	/	/	/	—
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 2】

指 標	児童扶養手当受給者の自立数（単位：件）							
指標の考え方	児童扶養手当受給者の就労支援件数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 12	H25年度 15	H26年度 16	H27年度 17	H28年度 18	H29年度 20	評価
数 値	10	15	13	/	/	/	/	B
目標値達成率	/	125.0%	86.7%	/	/	/	/	/
（結果の分析）	就労支援室、ハローワークとの連携強化により取組を進めたが、目標には至らなかった。							

【指標 3】

指 標	生活保護からの自立世帯数（単位：件）							
指標の考え方	就労による保護の廃止件数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 2	H25年度 2	H26年度 3	H27年度 4	H28年度 4	H29年度 5	評価
数 値	1	8	4	/	/	/	/	A
目標値達成率	/	400.0%	200.0%	/	/	/	/	/
（結果の分析）	就労支援員を中心とした支援活動の成果が表れている。							

【指標 4】

指 標	生活保護の適正運用（漏救・濫救防止）の取組数（単位：件）							
指標の考え方	生活保護世帯の訪問件数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 793	H25年度 815	H26年度 836	H27年度 857	H28年度 879	H29年度 900	評価
数 値	772	776	707	/	/	/	/	B
目標値達成率	/	97.9%	86.7%	/	/	/	/	/
（結果の分析）	定期的な訪問も適切に行ってきたが、若干の減少となった。年度内の開始や廃止は多くあったが年度当初と年度末での世帯が△1世帯であったことも一因							

【指標 5】

指 標	住宅喪失者の就労（単位：％）							
指標の考え方	住宅手当受給者のうち就労した人の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 81.5	H25年度 85.2	H26年度 88.9	H27年度 92.6	H28年度 96.3	H29年度 100.0	評価
数 値	77.8	25.0	60.0	/	/	/	/	C
目標値達成率	/	30.7%	70.4%	/	/	/	/	/
（結果の分析）	就職活動が規定通りにできない対象者もあったが、継続した支援活動で過半数の対象者が就労できた。							

＜評価区分＞ A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	4	障害者・要援護者福祉の充実
	主要施策	(2)	要援護者に対する支援
	市の取組	①	生活困窮者などへの自立支援

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	①	生活困窮者などへの自立支援
取組方針	生活困窮者、行旅病人死亡人、成年後見制度利用者及び離職に伴う住宅喪失者に対して法に基づいて適正に対応し、対象者の自立に向けて支援します。また、生活保護においては、漏救・濫救を防ぐよう体制を強化します。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		318,248	477,804	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	35,287	89,117	0	0	0
	国・県	282,677	388,687	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	284	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		8,004.0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	臨時福祉給付金給付事業					実績・評価
	所 管 課	社会福祉課					
	事 業 概 要	消費税率引上げに伴う低所得者への負担軽減のための給付金の支給					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績）
	一般財源	0	0				
	国・県	0	119,587				
	起 債						
そ の 他							
合計	0	119,587	0	0	0		
2	事務事業の名称	生活保護安定運営対策事業					実績・評価
	所 管 課	社会福祉課					
	事 業 概 要	診療報酬明細書点検、職員研修・啓発、扶養義務調査等					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績）
	一般財源	275	1,100				
	国・県	4,755	3,793				
	起 債						
そ の 他							
合計	5,030	4,893	0	0	0		
						生活保護安定運営対策費用（千円） 4,151 5,030	

3	事務事業の名称	セーフティネット支援対策事業					実績・評価
	所管課	社会福祉課					離職者への住宅手当支給及び就労支援の実施。就職活動を規定通りにできない対象者あり。
	事業概要	求職中の貧困・困窮者に対し生活、就労、住宅支援の実施					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	-34	42				評価指標 (H25)
	国・県	2,720	3,676				
	起債						セーフティネット支援対策 支援数 (件)
その他						36	
合計	2,686	3,718	0	0	0	14	
4	事務事業の名称	生活保護支給事業					実績・評価
	所管課	社会福祉課					生活困窮者に対し、扶助費の支給を実施 (123世帯、144人)
	事業概要	生活保護者への生活・医療等の扶助費支給					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	9,191	55,535				評価指標 (H25)
	国・県	275,196	261,619				
	起債						扶助費支給 (世帯 : 人員)
その他	284					130 : 143	
合計	284,671	317,154	0	0	0	123 : 144	
5	事務事業の名称	小学校就学援助事務事業					実績・評価
	所管課	教育総務課					経済的に就学困難な児童の保護者へ学用品・給食費等の就学援助費を支給した。認定者数239名
	事業概要	経済的な理由によって就学困難な児童生徒へ学校で必要な費用の一部を援助					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	13,260	16,063				評価指標 (H25)
	国・県	0	6				
	起債						
その他							
合計	13,260	16,069	0	0	0		
6	事務事業の名称	中学校就学援助事務事業					実績・評価
	所管課	教育総務課					経済的に就学困難な児童の保護者へ学用品・給食費等の就学援助費を支給した。認定者数151名
	事業概要	経済的な理由によって就学困難な児童生徒へ学校で必要な費用の一部を援助					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	12,595	16,377				評価指標 (H25)
	国・県	6	6				
	起債						
その他							
合計	12,601	16,383	0	0	0		

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	4	障害者・要援護者福祉の充実
	主要施策	(2)	要援護者に対する支援
	市の取組	②	ひとり親などへの支援

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	②	ひとり親などへの支援
取組方針	ひとり親家庭などの自立と生活の安定のために、母子自立支援員などの相談体制を整備・充実し、日常生活や就労について支援します。また、兵庫県の福祉医療制度（母子家庭等医療費助成制度）に基づき安心して受診できる環境を整えます。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		132,743	135,518	0	0	0
財源内訳	一般財源	89,053	90,208	0	0	0
	国・県	43,690	45,310	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		3,338.5	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	ひとり親等福祉事業					実績・評価
	所 管 課	子育て支援課					対象者がなかったが、今後は、就労支援と並行して推進する。
	事 業 概 要	自立のための資格取得に向けた自立支援教育訓練費及び高等技能訓練促進費の給付					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、
	一般財源	127	354				
	国・県	0	1,010				
	起債						
その他							
合計	127	1,364	0	0	0		
2	事務事業の名称	ひとり親等福祉事業（児童扶養手当事業）					実績・評価
	所 管 課	子育て支援課					支給対象者 月平均292人 今後は、相談業務の充実に努める。
	事 業 概 要	対象者への児童扶養手当の支給					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、
	一般財源	88,926	89,854				
	国・県	43,690	44,300				
	起債						
その他							
合計	132,616	134,154	0	0	0		

■総合分析及び自己評価（1次評価）

<b>【評価、現状・課題認識】</b>	
<p>生活困窮者が、今の生活を取り巻く多くの課題を乗り越え、自立した生活へと移行できるよう、各事例一つ一つに丁寧に支援が図れた。また、それぞれに適正な給付事業も行い、自立や子育ての支援も図れた。                  個人個人の生活環境や生活状況に応じた支援や自立に向けた就労支援を行っているが、なかなか就労に繋がらなかったり、就職に至っても長続きしないケースが多い。</p>	
<b>【改善策】</b>	
<p>不適切な受給者がいないか、サービス、支援を行いつつ、厳しいチェックも必要と考えている。                  長期的な就労支援を目標にする。</p>	
<b>1次評価</b>	A

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

<b>【主要施策推進に対する意見】</b>	
<b>【改善すべき点】</b>	
<b>2次評価</b>	

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.80

政 策	Ⅲ 『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
施 策	5 医療の充実
主要施策	( 1 ) 地域医療サービスの充実

■主要施策の所管

部等の名称	加東市民病院(病院事業部)		
-------	---------------	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	加東市民病院と地域の各医療機関が、機能分担による連携を強化し、市民や地域のニーズに合った医療サービスが、効率的かつ効果的に提供されています。
---------	--

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	医療体制の満足度（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる医療体制の整備・充実について満足と感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	57.6	—	—	61.3	—	—	65.0	
目標値達成率		—	—		—	—		—
(結果の分析)	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 2】

指 標	かかりつけ医を持つ家庭の割合（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによるかかりつけ医を持っている世帯の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	69.3	—	—	74.6	—	—	80.0	
目標値達成率		—	—		—	—		—
(結果の分析)	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 3】

指 標	加東市民病院の紹介率（単位：％）							
指標の考え方	紹介率による加東市民病院と地域医療機関との連携状況							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	28.5	29.4	30.3	31.3	32.2	33.1	34.0	
目標値達成率		94.2%	120.1%					A
(結果の分析)	地域医療連携室を中心とした認知症疾患医療センター関係等の患者の照会が多かった。							

【指標 4】

指 標	加東市民病院の逆紹介率（単位：％）							
指標の考え方	逆紹介率による加東市民病院と地域医療機関との連携状況							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	25.1	26.6	28.1	29.5	31.0	32.5	34.0	
目標値達成率		98.5%	127.8%					A
(結果の分析)	地域医療連携室を中心とした認知症疾患医療センター関係等の患者の逆照会が多かった。							

【指標 5】

指 標	加東市民病院の人間ドック利用者数（単位：人）							
指標の考え方	加東市民病院の人間ドック利用状況							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	1,372	1,500	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	
目標値達成率		85.1%	71.9%					C
(結果の分析)	人間ドックを担当する常勤外科医師の退職に伴い、実施日を週5日から週4日に縮小したため。							

＜評価区分＞ A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	5	医療の充実
	主要施策	(1)	地域医療サービスの充実
	市の取組	①	地域医療の確保

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 地域医療の確保
取組方針	救急医療などの状況に対応できるように、医療機関の連携体制をさらに構築、強化するとともに、周産期医療をはじめとした市内で不足する医療の確保について、近隣公立病院や医師会と連携しながら取り組んでいきます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		31,265	47,292	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	31,265	47,292	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		783.2	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,922				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

		事務事業の名称		実績・評価				
1	事務事業の名称	医療の確保					複数の疾病のある高齢者等患者へのワンストップでの医療提供体制の維持に努めた。	
	所 管 課	病院管理課						
	事 業 概 要	近隣病院との連携による応援医師等の確保						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績） 診療科数（科） 16 16	
	一般財源	31,265	47,292					
	国・県							
	起 債							
そ の 他								
合計	31,265	47,292	0	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	5	医療の充実
	主要施策	(1)	地域医療サービスの充実
	市の取組	②	加東市民病院の充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	② 加東市民病院の充実
取組方針	加東市民病院は、市内の医療機関と連携し、地域の中核病院としての役割を果たしていきます。また、北播磨総合医療センターの開設など北播磨地域での医療環境の変化の中で、患者や市民の視点に立って今後の地域における加東市民病院の役割と位置付けを明確にしています。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		39,899	74,586	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	199	86	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	39,700	74,500	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		999.4	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,922				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

		事務事業の名称					実績・評価	
1	事務事業の名称	病院施設整備					2階病棟トイレ改修工事、1・2期建物空調設備改修工事を実施することにより、患者様の安全・快適な療養環境を提供できる。	
	所 管 課	病院管理課						
	事 業 概 要	病院施設の修繕等						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績）	
	一般財源	199	86					
	国・県							
	起 債	39,700	74,500					
	そ の 他							
合計	39,899	74,586	0	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	5	医療の充実
	主要施策	(1)	地域医療サービスの充実
	市の取組	③	高齢化社会への対応

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	③ 高齢化社会への対応
取組方針	<p>加東市民病院内に開設した「兵庫県認知症疾患医療センター」を中心に、保健・医療・介護分野との連携を強化し、高齢化社会に対応していきます。</p> <p>加東市民病院「認知症相談室」、「もの忘れ外来」を中心に、「兵庫県認知症疾患医療センター」、他の医療機関、福祉等関係機関をはじめとする保健・医療・介護分野との連携を強化し、高齢化社会に対応していきます。</p>

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		0	0	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	0	0	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		0.0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,922				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	地域支援フロア					実績・評価	
	所 管 課	病院事業部					政策Ⅲ「安心」、施策6「地域保健・地域福祉の推進」、主要施策（1）「保健・福祉・福祉連携のネットワークづくり」、市の取組①「保健・医療・福祉の連携強化」と同じ。	
事 業 概 要	医療・介護の連携拠点として、訪問看護ステーション、（包括支援センター相談窓口、）認知症相談、地域医療連携を集約し、サービスのワンストップ化を図る。							
(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）		
一般財源						指標名	数値（上段：目標、下段：実績）	
国・県								
起 債								
そ の 他								
合計	0	0	0	0	0			

■総合分析及び自己評価（1次評価）

<b>【評価、現状・課題認識】</b>	
<p>紹介率、逆紹介率の数値は、地域の医療機関との連携の指標といわれており、これらの指標が高い医療機関は、各患者様の病状に応じた医療の提供に貢献していると考えられています。</p> <p>本院は、特に急性期医療を中心とした病院ではないこともあり、近隣の西脇市立病院（紹介率61.9%、逆紹介率51.8%）、市立加西病院（紹介率47.4%、逆紹介率36.1%）、北播磨総合医療センター（平成25年10月以降：紹介率64.3%、逆紹介率49.8%）と比較すると低い数値となる。</p> <p>また、人間ドックについては、現在の医師数の状況から、受け入れの件数に自ずから限度がある状況となっている。</p>	
<b>【改善策】</b>	
<p>医師を中心に、地域医療連携室による近隣病院、診療所との連携をより密にして、患者様の転院等をスムーズに行う一方で、退院後の在宅療養のフォローにも努めていく。</p> <p>また、医師の確保に努める一方で、地域医療機関との応援協定等を推進し、応援医師の派遣など医療体制の確保に努める。</p>	
1次評価	B

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

<b>【主要施策推進に対する意見】</b>	
<b>【改善すべき点】</b>	
2次評価	

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ →総合計画 P.82

政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
施 策	5	医療の充実
主要施策	(2)	医療保険・社会保障制度の確立と充実

■主要施策の所管

部等の名称	市民安全部		
-------	-------	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	国民健康保険などの医療保険制度により、誰もが安心して医療を受けられるまちになっています。
---------	--

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標1】

指 標	国民健康保険の特定健診受診率（単位：％）							
指標の考え方	国民健康保険被保険者の特定健診受診率							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 34.0	H25年度 35.0	H26年度 37.0	H27年度 38.0	H28年度 39.0	H29年度 40.0	評価
数 値	32.3	32.7	34.7					B
目標値達成率		96.2%	99.1%					
(結果の分析)	集団健診(まちぐるみ健診)、個別健診ともに受診者数が増加、受診率も2.0%の増となったが、目標値には0.3%及ばなかった。(前年度比 集団：+60人、個別+105人)							

【指標2】

指 標	国民健康保険の特定保健指導実施率（単位：％）							
指標の考え方	国民健康保険被保険者の特定保健指導実施率							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 45.0	H25年度 46.0	H26年度 47.0	H27年度 48.0	H28年度 49.0	H29年度 50.0	評価
数 値	43.6	43.5	45.9					B
目標値達成率		96.7%	99.8%					
(結果の分析)	対象者281人中133人に特定保健指導を行ったが、完了者が129人となったため、わずかに目標値に届かなかった。※数値については11月に確定							

【指標3】

指 標	国民健康保険税収納率（単位：％）							
指標の考え方	国民健康保険税全体の収納率							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 72.8	H25年度 73.0	H26年度 73.3	H27年度 73.5	H28年度 73.8	H29年度 74.0	評価
数 値	72.5	72.5	73.8					A
目標値達成率		99.6%	101.1%					
(結果の分析)	収納率は、現年度分、滞納繰越分ともに前年度を上回った。最終年度の目標値に向け、税務課と連携し収納率を維持、向上させていく。(前年度比 現年度：+0.7%、滞納繰越：+1.7%、全体：+1.3%)							



＜評価区分＞ A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
D：年度別目標値の達成率が60%未満 -：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の政策体系	政策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施策	5	医療の充実
	主要施策	(2)	医療保険・社会保障制度の確立と充実
	市の取組	①	国民健康保険制度の適切な運用

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 国民健康保険制度の適切な運用
取組方針	国民健康保険制度について周知し、被保険者資格の適用適正化や適正受診の意識を啓発するなど、制度を適切に運用するとともに、滞納防止・収納対策を強化します。また、健診の充実による疾病の予防やレセプト点検の徹底などにより、医療費を適正化します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総事業費（千円）		1,107,541	1,290,093	0	0	0
財源内訳	一般財源	151,199	361,409	0	0	0
	国・県	323,479	332,998	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	その他	632,863	595,686	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		27,855.0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	出産育児一時金給付事業					実績・評価
	所管課	保険・医療課					給付申請に対し、適切に給付を行った。 @390,000円×4件 @420,000円×43件
	事業概要	出産育児一時金の給付					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	6,540	7,000				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績）
	国・県						
	起債						
その他	13,080	14,000					
合計	19,620	21,000	0	0	0		
2	事務事業の名称	葬祭費給付事業					実績・評価
	所管課	保険・医療課					給付申請に対し、適切に給付を行った。 @50,000円×50件
	事業概要	被保険者の死亡に伴う葬儀の執行者に対する葬祭費の給付					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	2,500	3,500				評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績）
	国・県						
	起債						
その他							
合計	2,500	3,500	0	0	0		

3	事務事業の名称	後期高齢者支援金事業					実績・評価
	所管課	保険・医療課					後期高齢者医療制度への現役世代(国保分)の負担を支援金として、社会保険診療報酬支払基金へ拠出金を納付した。
	事業概要	後期高齢者医療制度の運営のための支援金					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	89,956	224,453				評価指標 (H25)
	国・県	184,062	199,017				
	起債						数値 (上段:目標、下段:実績)
	その他	187,347	206,500				
合計	461,365	629,970	0	0	0		
4	事務事業の名称	介護納付金事業					実績・評価
	所管課	保険・医療課					介護保険制度を支援するため、国民健康保険会計から社会保険診療報酬支払基金へ拠出金を納付した。
	事業概要	国保加入者のうち、介護保険第2号被保険者(40歳~64歳)の人数に応じて納付					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	49,171	110,574				評価指標 (H25)
	国・県	98,992	90,467				
	起債						数値 (上段:目標、下段:実績)
	その他	62,631					
合計	210,794	201,041	0	0	0		
5	事務事業の名称	高額医療費拠出金事業					実績・評価
	所管課	保険・医療課					高額医療費に係る財政調整のため、兵庫県国民健康保険連合会へ拠出金を納付した。
	事業概要	1件80万円以上の高額な医療費の支給のための拠出金					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源						評価指標 (H25)
	国・県	30,771	35,882				
	起債						数値 (上段:目標、下段:実績)
	その他	30,414	35,883				
合計	61,185	71,765	0	0	0		
6	事務事業の名称	保険財政共同安定化事業					実績・評価
	所管課	保険・医療課					高額医療費に係る財政調整のため、兵庫県国民健康保険連合会へ拠出金を納付した。
	事業概要	1件30万円以上の高額な医療費の支給のための拠出金					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源		9,807				評価指標 (H25)
	国・県						
	起債						数値 (上段:目標、下段:実績)
	その他	332,571	327,181				
合計	332,571	336,988	0	0	0		
7	あなる	特定健康診査等事業費					実績・評価
	所管課	保険・医療課					目標数値には達成できなかったが、集団健診(まちぐるみ健診)、個別健診ともに受診者数が増加。受診率もアップし、健康に対する意識が向上した。集団健診受診者数 1,874人(+60人) 個別健診受診者数 222人(+105人)
	事業概要	将来の医療費抑制のため、生活習慣病に着目した健診・保健指導の実施					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	0					評価指標 (H25)
	国・県	6,704	7,632				
	起債						数値 (上段:目標、下段:実績)
	その他	6,820	12,122				
合計	13,524	19,754	0	0	0	特定健診受診率 (%)	
						35	
						34.7	

8	事務事業の名称		医療費適正化				実績・評価			
	所管課		保険・医療課				医療費適正化のため、各種の施策を実施。平成25年度から後発医薬品差額通知、ジェネリック医薬品希望ソールの希望者への配付などの新規事業にも取り組んだ。 保険給付費は、25年度は1.1%の増にとどまった。			
	事業概要		医療費通知、後発医薬品差額通知、40歳以上被保険者の胃がん・大腸がん検診の無料化							
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度				
	一般財源	3,032	6,075				評価指標 (H25)			
	国・県	2,950								
	起債								指標名	数値 (上段: 目標、 下段: 実績)
	その他									
	合計	5,982	6,075	0	0	0				

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	5	医療の充実
	主要施策	(2)	医療保険・社会保障制度の確立と充実
	市の取組	②	後期高齢者医療制度の適切な運用

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	②	後期高齢者医療制度の適切な運用
取組方針	後期高齢者医療制度が適切に運用され、対象者がスムーズにサービスを受けられるように、制度を周知するとともに、窓口事務を充実します。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		801,544	843,845	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	337,768	342,663	0	0	0
	国・県	63,750	75,000	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	400,026	426,182	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		20,159.1	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	後期高齢者医療特定検診事業					実績・評価
	所 管 課	保険・医療課					まちぐるみ総合健診の基本健康診査を無料で実施。健康診査への関心を促進した。 受診者数 627人
	事 業 概 要	後期高齢者医療被保険者を対象とした基本健診の実施					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績）
	一般財源	50	307				
	国・県						
	起 債						
そ の 他	3,165	3,320					
合計	3,215	3,627	0	0	0		
2	事務事業の名称	後期高齢者医療事業					実績・評価
	所 管 課	保険・医療課					75歳以上（一定の障害がある人は65歳以上）を対象に経済的負担を軽減し、高齢者福祉の充実を図った。
	事 業 概 要	後期高齢者医療制度に係る市事務費、県広域連合負担金（事務費及び療養給付費）					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25） 指標名 数値（上段：目標、下段：実績）
	一般財源	337,718	342,356				
	国・県	63,750	75,000				
	起 債						
そ の 他	60	60					
合計	401,528	417,416	0	0	0		

3	事務事業の名称	後期高齢者医療広域連合納付事業					実績・評価
	所 管 課	保険・医療課					徴収率 99.11%と前年度より 0.42%向上した。
	事 業 概 要	後期高齢者医療制度にかかる保険料を市が徴収し広域連合へ納付					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源						
	国・県 起 債						評価指標 (H25)
	そ の 他	396,801	422,802				指標名
合計	396,801	422,802	0	0	0	数値 (上段: 目標、 下段: 実績)	

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	5	医療の充実
	主要施策	(2)	医療保険・社会保障制度の確立と充実
	市の取組	③	国民年金制度の適切な運用

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	③ 国民年金制度の適切な運用
取組方針	広報かとうなどにより、未加入者や未納者の解消に向けて、市民の国民年金制度への理解を深めるとともに、定期的に年金相談を実施します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		1,146	1,756	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	109	65	0	0	0
	国・県	1,037	1,691	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		28.8	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称		国民年金事務					実績・評価	
		所 管 課	保険・医療課					国民年金制度の周知及び適用促進を行った。	
	事 業 概 要		国民年金事務の執行					加入制度の、来訪相談 736件 電話相談 1,441件	
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標（H25）		
	一般財源	109	65				指標名		
	国・県	1,037	1,691				数値（上段：目標、 下段：実績）		
	起 債								
	そ の 他								
	合計	1,146	1,756	0	0	0			

■総合分析及び自己評価（1次評価）

<b>【評価、現状・課題認識】</b>	
<p>国民健康保険制度全般についての理解を深めるための広報を行っている。                  被保険者に対して資格の適用適正化や適正受診の意識を啓発するなど、制度を適切に運用するための情報提供や指導を行っている。                  税等の滞納防止・収納対策を強化した。                  また、健診の充実による疾病の予防やレセプト点検の徹底などにより、医療費の適正化を進めた。</p>	
<b>【改善策】</b>	
<p>地道な努力を継続しながら、制度の適正運用を図る。</p>	

1次評価	A
------	---

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

<b>【主要施策推進に対する意見】</b>	
<b>【改善すべき点】</b>	

2次評価	
------	--

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.84

政 策	Ⅲ 『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
施 策	6 地域保健・地域福祉の推進
主要施策	( 1 ) 保健・医療・福祉連携のネットワークづくり

■主要施策の所管

部等の名称	市民安全部	福祉部	加東市民病院（病院事業部）	教育委員会
-------	-------	-----	---------------	-------

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	保健・医療・福祉が連携し連続性をもつことにより、市民一人ひとりのライフステージに的確に対応しています。
---------	---

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績






<評価区分> A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 -：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	6	地域保健・地域福祉の推進
	主要施策	(1)	保健・医療・福祉連携のネットワークづくり
	市の取組	①	保健・医療・福祉の連携強化

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	①	保健・医療・福祉の連携強化
取組方針	保健・医療・福祉の連携を強化した総合的な健康づくりや介護予防を推進します。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		0	407	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	0	0	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	407	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		0.0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	地域包括支援センター サブセンター設置					実績・評価
	所 管 課	高齢介護課					平成26年4月、加東市民病院にサブセンターを開設 (ネットワークの整備は平成26年度)
	事 業 概 要	加東市民病院内に、サブセンターを設置し医療との連携を図る。					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源						評価指標 (H25)
	国・県						
	起 債						数値 (上段: 目標、 下段: 実績)
そ の 他		407				サブセンター数 (箇所)	
合計	0	407	0	0	0	1 1	
2	事務事業の名称	地域支援フロア					実績・評価
	所 管 課	病院事業部					平成26年4月、加東市民病院3階に「地域支援フロア」を開設
	事 業 概 要	医療・介護の連携拠点として、訪問看護ステーション、(包括支援センター相談窓口、)認知症相談、地域医療連携を集約し、サービスのワンストップ化を図る。					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源						評価指標 (H25)
	国・県						
	起 債						数値 (上段: 目標、 下段: 実績)
そ の 他							
合計	0	0	0	0	0		

■総合分析及び自己評価（1次評価）

<b>【評価、現状・課題認識】</b>	
<p>平成26年4月1日に、加東市民病院内に地域支援フロアを設け、その中に地域包括支援センターのサブセンターを開設することにより、訪問看護ステーション、地域医療連携室、認知症相談と当サブセンターが同居し、介護と医療のワンストップサービス体制を構築する。平成26年度中に、ネットワークシステムの整備を行い、庁舎にある包括支援センターとネット上で結びつくことが出来るように進めている。また、平成26年7月には、滝野と東条の地域にブランチ（介護相談窓口）を設け、少しでも長く、いつまでも身近な地域で安心して暮らし続けられるように体制を整える。</p>	
<b>【改善策】</b>	
<p>成果はこれからとなるが、本部とサブセンター、ブランチとの連携はもとより、医療分野とも連携を密にし、この体制が最大限に機能するように努める。</p>	
<b>1次評価</b>	A

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

<b>【主要施策推進に対する意見】</b>	
<b>【改善すべき点】</b>	
<b>2次評価</b>	

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.86

政 策	Ⅲ 『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
施 策	6 地域保健・地域福祉の推進
主要施策	( 2 ) 地域福祉活動の促進

■主要施策の所管

部等の名称	福祉部			
-------	-----	--	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	誰もが住み慣れた地域で暮らし続けるために、地域で支え合い助け合っています。
---------	---------------------------------------

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	地域福祉活動に参加した市民の割合（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる地域の福祉活動にボランティアとして参加した市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 45.2	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 50.0	評価
数 値	40.4							—
目標値達成率								
（結果の分析）	市民アンケート結果に基づく指標であり、次回アンケートの実施は平成26年度及び平成29年度の予定のため、本年度の結果はありません。							

【指標 2】

指 標	地域への出張啓発活動数（単位：回）							
指標の考え方	「かとう福祉学校」などへの市職員の講師派遣や地域活動回数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 4	H25年度 5	H26年度 7	H27年度 8	H28年度 9	H29年度 10	評価
数 値	3	21	33					A
目標値達成率		525.0%	660.0%					
（結果の分析）	各地区へのホットミーティング（17回）・介護ミーティング（15回）、ヘルパー養成講座（伽の里2回）、桃李園（1回）に職員を派遣した。派遣職員延べ数33回。							

【指標 3】

指 標	福祉ボランティア登録数（単位：人）							
指標の考え方	社会福祉協議会に登録されているボランティア数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 1,077	H25年度 1,101	H26年度 1,126	H27年度 1,151	H28年度 1,175	H29年度 1,200	評価
数 値	1,052	1,035	1,112					A
目標値達成率		96.1%	101.0%					
（結果の分析）	PRIに努め、目標値を達成した。							

【指標 4】

指 標	ボランティア活動の場の提供数（単位：回）							
指標の考え方	福祉関連事業におけるボランティア活動の場の提供数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 1	H25年度 2	H26年度 2	H27年度 2	H28年度 3	H29年度 3	評価
数 値	1	1	3					A
目標値達成率		100.0%	150.0%					
（結果の分析）	パラリンピック・わかあゆ園と東条デイサービスセンターの夏祭りにボランティアを募り、場を提供した。							


＜評価区分＞ A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成  
D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	6	地域保健・地域福祉の推進
	主要施策	(2)	地域福祉活動の促進
	市の取組	①	地域福祉活動の促進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 地域福祉活動の促進
取組方針	社会福祉協議会の活動を支援するとともに、地域、民生児童委員、ボランティア、学校との連携や、支え合い活動のネットワークづくりに取り組みます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		41,650	50,569	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	35,417	44,435	0	0	0
	国・県	6,233	6,134	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		1,047.5	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	民生委員活動					実績・評価
	所 管 課	社会福祉課					
	事 業 概 要	民生児童委員・協力委員の活動研修					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	民生児童委員の活動を支援（民生児童委員103人、協力委員192人）
	一般財源	2,358	2,235				
	国・県	6,233	6,134				
	起 債						
	そ の 他						
合計	8,591	8,369	0	0	0		
評価指標（H25）							
指標名						数値（上段：目標、下段：実績）	
2	事務事業の名称	社会福祉協議会助成事業					実績・評価
	所 管 課	社会福祉課					
	事 業 概 要	社会福祉協議会への活動助成					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	適正かつ効果的な社会福祉協議会の活動が図れるよう注視し、事務局運営事業、給食サービス事業、移送サービス事業、ボランティア研修事業、心配事相談事業実施のための支援を行った。
	一般財源	33,059	39,052				
	国・県						
	起 債						
	そ の 他						
合計	33,059	39,052	0	0	0		
評価指標（H25）							
指標名						数値（上段：目標、下段：実績）	

3	事務事業の名称	地域福祉計画策定事業					実績・評価	
	所管課	社会福祉課						
	事業概要	地域福祉計画の策定						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	0	456				評価指標 (H25)	
	国・県							指標名
	起債							
	その他							
合計	0	456	0	0	0			
4	事務事業の名称	障害者計画等策定事業					実績・評価	
	所管課	社会福祉課						
	事業概要	第4期障害福祉計画の策定						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	0	2,692				評価指標 (H25)	
	国・県							指標名
	起債							
	その他							
合計	0	2,692	0	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	6	地域保健・地域福祉の推進
	主要施策	(2)	地域福祉活動の促進
	市の取組	②	地域福祉活動の担い手の充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	②	地域福祉活動の担い手の充実
取組方針	かとう福祉学校への市職員の講師派遣などを通じて社会福祉協議会と協力し、市民ボランティアの発掘と活動機会の提供（マッチング）を行います。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		0	0	0	0	0
財源内訳	一般財源	0	0	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		0.0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761				

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	ボランティア活動推進事業					実績・評価	
	所 管 課	社会福祉課					地区や施設等に職員を延べ数33回派遣するなど、ボランティアの啓発に努め、社協登録のボランティア数を伸ばした。ボランティアの場の提供も3箇所を増やせた。	
事業概要	福祉事業におけるボランティア活動の場の提供					評価指標（H25）		
(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	指標名	数値（上段：目標、下段：実績）	
一般財源						ボランティアの場の提供数（箇所）	2	
国・県							3	
起債								
その他								
合計	0	0	0	0	0			

■総合分析及び自己評価（1次評価）

<b>【評価、現状・課題認識】</b>			
<p>社会福祉協議会への支援や民生児童委員と協調した活動を通し、地域福祉の向上を図った。また、社会福祉協議会の登録ボランティア数も伸ばし、積極的な活動を行った。ただ、同じ人たちのボランティア活動になりつつあるので、新規のボランティア養成にも努めていきたい。</p>			
<b>【改善策】</b>			
<p>年度当初からの、調整で確実に計画通りに進めていくほか、新たなボランティア事業の開拓にも注意していきたい。</p>			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #90EE90; text-align: center;">1次評価</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	1次評価	A
1次評価	A		

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

<b>【主要施策推進に対する意見】</b>			
<b>【改善すべき点】</b>			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #90EE90; text-align: center;">2次評価</td> <td></td> </tr> </table>	2次評価	
2次評価			

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。  
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。  
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。